安田女子大学『2026履修の手引』2026年度入学生用　＜訂正・追加＞

2026/5/29
教務課

以下のとおり、訂正と追加箇所についてお知らせします。『履修の手引』と併せて保管してください。 なお、訂正内容は“まほろばポータル”及び“教務課カウンター”で確認できます。

No.	対象		ページ	項目	訂正前	訂正後	備考	連絡日
	入学年度	学部・学科						
1	2026	全学共通	3	[6]災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱い	-	[新たな防災気象情報の運用開始に伴う変更] 変更後の災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱いについては、 まほろばポータル＞キャビネット＞020 履修・時間割・試験等 授業関係＞024 その他＞授業全般 の「災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱いについて」を参照		2026/5/29

【新たな防災気象情報の運用開始に伴う変更（2026 年 5 月 29 日から）】

災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱い

重大な災害等の危険性が著しく高まっている非常時において、学生の安全を確保することを目的として、授業（試験を含む。以下同じ。）の取扱いに関し、必要な事項を次のとおり定めます。

なお、以下の定めによらず、居住区域等に防災気象情報や避難情報が発表・発令され、登学に危険が伴う場合は、自身の安全確保を最優先としてください。授業欠席等の取扱いにおいて不利益が生じないよう配慮します。

１　防災気象情報の発表、避難情報の発令

次のいずれかに該当する場合は、当日の授業を休講とします。ただし、下記の「３　授業実施の基準」に該当する場合は、授業を実施します。

- 広島市安佐南区に特別警報（種類を問わない）が発表
- 広島市安佐南区に警報（暴風）が発表
- 広島市安佐南区（小学校区：安東）に「警戒レベル４　避難指示」以上が発令

２　交通機関の運行休止

天候不良等を理由に、次のいずれかの交通機関が運行休止となった場合は、当日の授業を休講とします。ただし、下記の「３　授業実施の基準」に該当する場合は、授業を実施します。

- アストラムライン　全線
- ＪＲ山陽本線のうち「新白島駅」を含む区間

なお、当該交通機関での事故等による一部列車の運行停止（減便）は対象外とします。

３　授業実施の基準

防災気象情報や避難情報等の解除時刻又は交通機関の運行再開時刻を基準として、授業を実施します。

（１）午前７時 00 分までに上記「１」と「２」のすべてが解消された場合
　　⇒１時限目の授業から実施します。

（２）午前 11 時 00 分までに上記「１」と「２」のすべてが解消された場合
　　⇒３時限目の授業から実施します。

４　不測の事態等の発生時

不測の事態等の発生により、授業の実施が困難であると大学が判断した場合は、授業を休講又は中止とすることがあります。授業を休講又は中止とする場合は、学内放送及びまほろばポータル等により周知します。

※災害等非常時及び交通機関の運行休止によって授業を休講とする場合は、「まほろばポータル（ログイン前画面）」に休講情報を掲載します。（通常どおり授業を実施する場合は掲載しません。）

※広島市安佐南区（小学校区：安東）への「警戒レベル４　避難指示」等の発令状況については、「広島市防災ポータル」（https://www.bousai.city.hiroshima.lg.jp）で確認してください。

避難情報等
（広島市防災ポータル）

警報・注意報
（気象庁 HP）

2026

履修の手引

安田女子大学

Yasuda Women's University

2026
履修の手引

・「まほろばポータル」を毎日必ず確認しましょう

学生の皆さんへの通知や連絡は「まほろばポータル」や掲示板により行います。
毎日、必ず、確認してください。
確認を怠ったために、思いがけない不利益を被る場合もありますので、十分注意してください。

・学籍番号について

大学学部

【学籍番号】… “26　1　1　1　1　01”

「入学年度」（西暦下2桁）　「学校種」　「学　部」　「学　科」　「クラス」　「出席番号」

（例読）2026年度入学　大学　文学部　日本文学科　1組　1番

入学年度（西暦下2桁）	学校種	学部	学科	クラス	出席番号
21 22 23 24 25 26	大学-1	文学部-1	日本文学科-1	1 2 3	01 02 03 04 ～
			書道学科-6		
			英語英米文学科-2		
		教育学部-5	児童教育学科-1		
			幼児教育学科-2		
		心理学部-6	現代心理学科-2		
			ビジネス心理学科-3		
		現代ビジネス学部-2	現代ビジネス学科-1		
			国際観光ビジネス学科-2		
			公共経営学科-3		
		家政学部-3	生活デザイン学科-1		
			管理栄養学科-2		
			造形デザイン学科-3		
		薬学部-4	薬学科-1		
		看護学部-7	看護学科-1		
		理工学部-8	生物科学科-1		
			情報科学科-2		
			建築学科-3		

※学籍番号は卒業するまで変更しません。（転学部・転学科した場合を除く）
※編入学生の学籍番号は編入学する学年に準じます。
※学科名称は本文において次のように省略することがあります。

［文学部］
日本文学科……日文
英語英米文学科……英文
書道学科……書道

［教育学部］
児童教育学科……児教
幼児教育学科……幼教

［心理学部］
現代心理学科……現心
ビジネス心理学科……ビ心

［現代ビジネス学部］
現代ビジネス学科……現ビ
公共経営学科……公共
国際観光ビジネス学科……観光

［家政学部］
生活デザイン学科……生デ
造形デザイン学科……造形
管理栄養学科……管理

［薬学部］
薬学科……薬

［看護学部］
看護学科……看護

［理工学部］
生物科学科……生物
建築学科……建築
情報科学科……情報

大学院

【学籍番号】… “26　3　11　1　01”

「入学年度」（西暦下2桁）　「学校種」　「専　攻」　「課　程」　「出席番号」

（例読）2026年度入学　大学院　文学研究科日本語学日本文学専攻　博士前期課程　1番

入学年度（西暦下2桁）	学校種	専攻	課程	出席番号
23 24 25 26	大学院-3	文学研究科日本語学日本文学専攻-11	博士前期課程-1 博士後期課程-2	01 02 ～
		文学研究科英語学英米文学専攻-12		
		文学研究科教育学専攻-13		
		家政学研究科健康生活学専攻-21	修士課程-3	
		薬学研究科薬学専攻-31	博士課程-4	
		看護学研究科看護学専攻-41	博士前期課程-1 博士後期課程-2	

目　　次

Ⅰ．履修の手引

『履修の手引』とは …… 1

1．安田学園の概要 …… 2
学園の沿革と特色 …… 2
学園訓「柔しく剛く」 …… 2

2．授　業 …… 2
［1］学期区分と授業日 …… 2
［2］授業時間帯 …… 2
［3］休講 …… 2
［4］補講 …… 3
［5］授業の欠席 …… 3
［6］災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱い …… 3

3．単　位 …… 4
［1］単位 …… 4
［2］単位の基準 …… 4
［3］単位修得の要件 …… 4
［4］入学前の既修得単位の認定 …… 4

4．卒業要件 …… 5
［1］授業科目の構成 …… 5
［2］卒業するためには …… 5
［3］編入学生が卒業するためには …… 7

5．進級要件（薬学部薬学科） …… 7
［1］２年次から３年次への進級要件 …… 7
［2］４年次から５年次への進級要件 …… 8
［3］進級判定時期および進級時期 …… 8

6．臨地実習履修要件（看護学部看護学科） …… 8
［1］臨地実習の履修要件 …… 8

7．保健師、助産師養成課程（看護学部看護学科） …… 9
［1］保健師、助産師養成課程について …… 9
［2］保健師、助産師養成課程への選考要件 …… 9

8．CAP（キャップ）制 …… 9
［1］CAP制について …… 9
［2］履修制限について …… 9
［3］学科別CAP制対象外科目について …… 10

9．履　修 …… 11
［1］履修登録と履修の禁止 …… 11
［2］履修登録の手順 …… 11
［3］履修登録の流れ …… 13
［4］指定された時間割以外の授業科目の履修 …… 14
［5］他学科科目の履修 …… 14
［6］免許・資格科目の履修 …… 15
［7］編入学生の履修 …… 15
［8］単位互換制度 …… 15

10. 試　験 …… 16
［1］小テスト …… 16
［2］通常の試験 …… 16
［3］追試験 …… 18
［4］再試験 …… 18
［5］レポートその他提出物 …… 19
［6］試験の流れ …… 21

11. 成績と単位認定 …… 22
［1］成績評価 …… 22
［2］GPA（グレード・ポイント・アベレージ） …… 22
［3］成績の確認 …… 23
［4］成績の問合せ …… 24
［5］単位の認定 …… 24
［6］科目の読替え …… 24

12. 教育課程表の見方 …… 25

13. 授業計画（シラバス） …… 28
［1］「授業計画（シラバス）」について …… 28
［2］活用方法 …… 28
［3］閲覧方法 …… 28

教育課程表 …… 30
特別科目「まほろば教養ゼミ」 …… 31
特別科目「まほろば教養ゼミ」について …… 31
特別科目「まほろば教養ゼミ」の科目名称、位置づけ、および授業計画 …… 31
文学部・教育学部・心理学部・現代ビジネス学部・家政学部・薬学部・看護学部・理工学部（2026年度入学生用） …… 32

共通教育科目 …… 34
共通教育科目について …… 35
共通教育科目の構成と開設科目 …… 35
履修登録方法 …… 36
文学部・教育学部・心理学部・現代ビジネス学部・家政学部・薬学部・看護学部・理工学部（2026年度入学生用） …… 37

文学部　日本文学科 …… 40
2026年度入学生用 …… 41

文学部　書道学科 …… 44
2026年度入学生用 …… 45

文学部　英語英米文学科 …… 48
2026年度入学生用 …… 49

教育学部　児童教育学科 …… 52
2026年度入学生用 …… 53

教育学部　幼児教育学科 …… 56
2026年度入学生用 …… 57

心理学部　現代心理学科 …… 60
2026年度入学生用 …… 61

心理学部　ビジネス心理学科 …… 64
2026年度入学生用 …… 65

現代ビジネス学部　現代ビジネス学科 …… 68
2026年度入学生用 …… 69

現代ビジネス学部　国際観光ビジネス学科 …… 72
2026年度入学生用 …… 73

現代ビジネス学部　公共経営学科 …… 76
2026年度入学生用 …… 77

家政学部　生活デザイン学科 …… 80
2026年度入学生用 …… 81

家政学部　管理栄養学科 …… 84
2026年度入学生用 …… 85

家政学部　造形デザイン学科 …… 88
2026年度入学生用 …… 89

薬学部　薬学科 …… 92
2026年度入学生用 …… 93

看護学部　看護学科 …… 96
2026年度入学生用 …… 97

理工学部　生物科学科 …… 100
2026年度入学生用 …… 101

理工学部　情報科学科 …… 104
2026年度入学生用 …… 105

理工学部　建築学科 …… 108
2026年度入学生用 …… 109

教育職員免許状に関する科目 …… 112

資格に関する科目 …… 116
（１）学校図書館司書教諭に関する科目（2026年度入学生用）…… 117
（２）司書に関する科目（2026年度入学生用）…… 117
（３）学芸員に関する科目（2026年度入学生用）…… 118
（４）日本語教員に関する科目（2026年度入学生用）…… 119
（５）社会調査士に関する科目（2026年度入学生用）…… 120
（６）准学校心理士に関する科目（2026年度入学生用）…… 120

Ⅱ．免許・資格の手引

免許・資格の取得を考えている学生のみなさんへ …… 123
取得可能な免許・資格一覧 …… 124

❶　教育職員免許状の取得について …… 125

1．教育職員免許状について …… 125

2．基礎資格ならびに最低修得単位数 …… 125

3．編入学生の免許状取得について …… 125

4．介護等体験 …… 126

5. 教育実習 …… 128
［1］教育実習・養護実習履修の手続 …… 128
［2］教育実習要綱 …… 130
［3］養護実習要綱 …… 131

6. 学校等支援活動 …… 132

7. 教育職員免許状申請 …… 134
［1］一括申請 …… 134
［2］個人申請 …… 135
［3］その他 …… 135

8. 開設授業科目 …… 136
［1］文学部　日本文学科 …… 136
［2］文学部　書道学科 …… 138
［3］文学部　英語英米文学科 …… 140
［4］教育学部　児童教育学科 …… 142
［5］教育学部　幼児教育学科 …… 145
［6］心理学部　現代心理学科 …… 147
［7］家政学部　生活デザイン学科 …… 149
［8］家政学部　管理栄養学科 …… 152

9.「教職実践演習」及び「教職履修カルテ」について …… 156

10. 専修免許状の取得について …… 157

❷ 各種免許・資格の取得について …… 158

1. 免許・資格の取得 …… 158
［1］学校図書館司書教諭 …… 158
［2］司書 …… 159
［3］学芸員 …… 163
［4］日本語教員 …… 167
［5］保育士 …… 168
［6］准学校心理士 …… 170
［7］日本心理学会認定心理士 …… 171
［8］認定心理士（心理調査） …… 172
［9］社会調査士 …… 173
［10］公認心理師（国家試験受験資格） …… 174
［11］上級ビジネス実務士 …… 175
［12］社会福祉主事（任用資格） …… 176
［13］一級建築士（国家試験受験資格） …… 177
［14］二級建築士（国家試験受験資格）・木造建築士（国家試験受験資格） …… 179
［15］インテリアプランナー（登録資格） …… 181
［16］フードスペシャリスト（受験資格）
専門フードスペシャリスト［食品開発］（受験資格）
専門フードスペシャリスト［食品流通・サービス］（受験資格） …… 183
［17］栄養士 …… 184
［18］管理栄養士（国家試験受験資格） …… 185
［19］食品衛生管理者（任用資格）・食品衛生監視員（任用資格） …… 187
［20］ウェブデザイン実務士 …… 189
［21］薬剤師（国家試験受験資格） …… 190
［22］看護師（国家試験受験資格） …… 193
［23］保健師（国家試験受験資格） …… 195
［24］助産師（国家試験受験資格） …… 197

2026 Yasuda Women's University

Ⅰ. 履修の手引

2026年度入学生用

『履修の手引』とは

この『履修の手引』は、４年間（薬学部においては６年間）の学習の計画を立て、卒業までの条件を揃えていくための、様々な規則やルールを学則や履修規程に基づいて説明するものです。

履修登録、授業、試験、単位の修得等、学修上の重要な説明や、各種免許・資格の取得方法が記載されていますので、理解していなかったことによる不利益が生じないように熟読し、それぞれの学修が計画的に進められるようにしてください。もし、内容によくわからないところがあれば、チューターの先生、教務委員の先生や教務課窓口に相談してください。

また、授業科目を履修する上で必要なものとして、この『履修の手引』の他に、「授業時間割表」、「授業計画（シラバス）」があります。これらは、履修する科目がどのような授業内容で、その授業はどのように進められるのかを確認するためのものです。科目選択や履修登録の際に参考にしてください。

この『履修の手引』は、入学時にのみ配付されます。卒業まで使用しますので、大切に保管してください。『履修の手引』の内容に変更が生じる場合は、「まほろばポータル」でお知らせします。その際には変更内容を転記するなどして、間違いのないようにしてください。

1.　安田学園の概要

学園の沿革と特色

学校法人安田学園は、1915（大正４）年１月21日、初代学園長安田リヨウによって創立されました。それ以来堅実な女性の育成に努めるとともに、多くの優秀な人材を社会の第一線に送り出し、顕著な成果を挙げてきました。創立111年を迎えた今日まで安田学園の歴史的伝統に基づいた教育方針を堅持しています。現在は、幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学、および大学院までを包括する中国地方唯一の総合学園として、時代の要請に応えています。

学園訓「柔（やさ）しく剛（つよ）く」

人格の完成を目指して、学術や技能を磨き、徳性を身につけ、いかなる境遇にあっても、女性らしい柔しさと、剛い意志をもって、社会に貢献できる心身ともに健全な教養ある女性となるよう、日々たゆみなく励むという意味です。

2.　授　業

［１］学期区分と授業日

学年を前期と後期の２学期に分け、１学期の授業日を15週以上とします。前期および後期の期間は、次のとおりです。

・前期（４月１日から９月19日まで）
・後期（９月20日から３月31日まで）

休業日は、次のとおりです。

・国民の祝日に関する法律に規定する休日、日曜日
・夏季休業
・冬季休業
・学年末休業

年間スケジュールで確認してください。

なお、休業日を臨時に変更することがあります。その他、災害等非常時に臨時休業することがあります。

［２］授業時間帯

１　時　限	９:00 ～ 10:30
２　時　限	10:40 ～ 12:10
３　時　限	13:00 ～ 14:30
４　時　限	14:40 ～ 16:10
５　時　限	16:20 ～ 17:50
６　時　限	18:00 ～ 19:30

※予鈴８:55、12:55

［３］休講

特別な事情により、授業が休講になることがあります。休講は、「まほろばポータル」や１号館２階電子掲示板で連絡します。

［4］補講

授業が休講になった場合や授業回数が不足している場合は、補講が行われます。補講日程等は「まほろばポータル」や１号館２階電子掲示板で連絡します。補講が試験・補講期間に行われる場合は、試験・補講時間割にてお知らせします。

［5］授業の欠席

授業の欠席届は、２種類あります。

欠　席　届：授業を欠席する場合（した場合）、授業担当教員に提出してください。
「欠席届」は、１号館２階アカデミックサポートエリア内のレターケースにあります。

特別欠席届：学校保健安全法に係る感染症（インフルエンザ、百日咳、麻しん、風しん等）に罹患して授業を欠席した場合、原則として再登学から１週間以内に診断書や治癒証明書（加療期間が記載されたもの）を教務課に提出してください。手続を経て、特別欠席届が発行されますので授業担当教員へ提出してください。詳しくは教務課に問い合わせてください。

［6］災害等非常時及び交通機関の運行休止における授業・試験の取扱い

重大な災害等の危険性が著しく高まっている非常時において、学生の安全を確保することを目的として、授業（試験を含む。以下同じ。）の取扱いに関し、必要な事項を次のとおり定めます。

なお、以下の定めによらず、居住区域等に気象の警報、避難情報等が発令されており、登学に危険が伴う場合は、自身の安全確保を最優先としてください。授業欠席等の取扱いにおいて不利益が生じないよう配慮します。

１　気象の警報、避難情報等の発令

次のいずれかに該当する場合は、当日の授業を休講とします。ただし、下記の「３ 授業実施の基準」に該当する場合は、授業を実施します。

・広島市安佐南区に特別警報（種類を問わない。）が発令
・広島市安佐南区に暴風警報（大雨警報等を除く。）が発令
・広島市安佐南区（小学校区：安東）に避難指示（警戒レベル４以上）が発令

２　交通機関の運行休止

天候不良等を理由に、次のいずれかの交通機関が全線運行休止となった場合は、当日の授業を休講とします。ただし、下記の「３ 授業実施の基準」に該当する場合は、授業を実施します。

・アストラムライン
・ＪＲ山陽本線のうち、「新白島駅」を含む区間

なお、当該交通機関での事故等による一部列車の運行停止（減便）は対象外とします。

３　授業実施の基準

気象の警報、避難情報発令等の解除又は交通機関の運行再開時刻により、授業を実施します。

（１）**午前７時00分**までに上記「１」と「２」のすべてが解消された場合
⇒１時限目の授業から実施します。

（２）**午前11時00分**までに上記「１」と「２」のすべてが解消された場合
⇒３時限目の授業から実施します。

４　不測の事態等の発生時

不測の事態等の発生により、授業の実施が困難であると大学が判断した場合は、授業を休講又は中止とすることがあります。授業を休講又は中止とする場合は、学内放送及びまほろばポータル等により周知します。

※災害等非常時及び交通機関の運行休止によって授業を休講とする場合は、「まほろばポータル（ログイン前画面）」に休講情報を掲載します。（通常どおり授業を実施する場合は掲載しません。）

※広島市安佐南区（小学校区：安東）への避難指示の発令状況については、「広島市防災ポータル」（https://www.bousai.city.hiroshima.lg.jp）で確認してください。

避難情報等
（広島市防災ポータル）

警報・注意報
（気象庁HP）

3. 単　位

[1] 単位

授業科目ごとに単位が定められています。

学科および入学年度で卒業や免許・資格に必要な単位が定められています。その条件を満たさない場合は、卒業や免許・資格の取得ができませんので十分注意してください。

[2] 単位の基準

1単位の授業科目に必要な学修時間を45時間（予習・復習・課題等の授業時間外の学修を含む。）としています。ただし、授業の方法や授業時間以外の学修時間および教育効果を考慮し、次のとおりとします。

科目の種類

講　義　科　目	授業15時間をもって1単位とします。
演　習　科　目	授業15時間または30時間をもって1単位とします。
実験・実習科目	授業30時間または45時間をもって1単位とします。

※単位計算上の「1時間」は、日常生活時間の「45分間」です。時間割の1時限（90分）は、「2時間」の授業とみなして計算します。

※卒業論文、卒業研究等については、単位数や授業時間が異なる場合があります。

※「講義、演習、実験、実習又は実技」については、大学が定める時間をもって1単位とします。

授業形態の種類

種　類	授　業　方　法	教育課程表の時間数表記
通　常　開　講	週1回の授業を15週または8週にわたって行います。	例：　2
クオーター開講	週2回の授業を8週にわたって行います。	【　】　例：【4】
集　中　開　講	一定の期間を定めて集中的に授業を行います。	［　］　例：［30］
変　則　開　講	長期の実習等に対応して変則的に授業を行います。	＜　＞　例：<30>

[3] 単位修得の要件

単位を修得するには、次の要件を満たさなければなりません。

1）学期ごとに（通年科目は前期と後期を通して）全授業回数の3分の2以上（看護学臨地実習においては5分の4以上）出席することが必要です。

2）当該授業科目の試験に合格することを原則とします。なお、試験に代えて論文・レポートその他を課すことがあります。

3）通年科目は、原則として開講の順序（通常は前期・後期の順）に従い、2期にわたって履修することが必要です。前期または後期のみ履修しただけでは、単位は認められません。

[4] 入学前の既修得単位の認定

本学1年次に入学する前に大学または短期大学等において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本人の申請に基づき、本学において修得した単位として認定することができます。

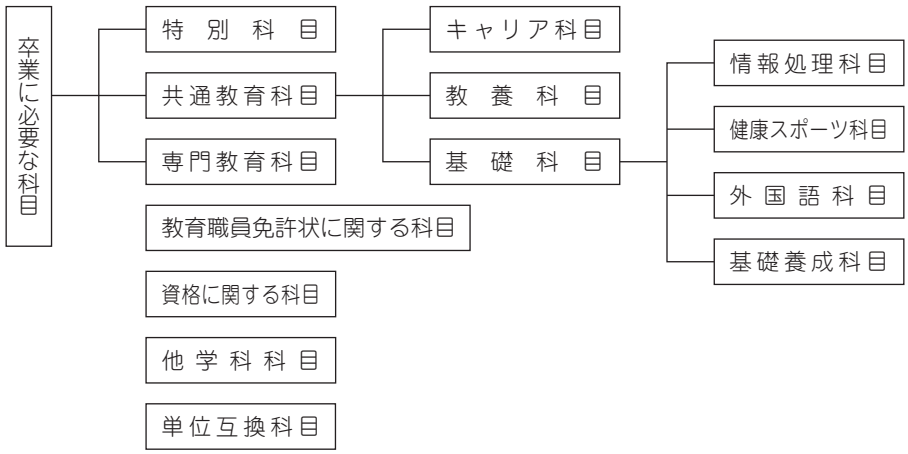
既修得単位の認定を受けようとする者は、安田女子大学学則第9条の2※および安田女子大学既修得単位認定内規※により手続を行ってください。※「まほろばポータル」＞キャビネットに掲載

申請期限	入学した年度の4月30日
申請書類	既修得単位認定願（チューターまたは教務委員から配付）、 成績証明書および申請する授業科目のシラバス
申請先	学長（チューターを通して教務課に提出）
認定単位の上限	30単位
結果の通知	当該学生に通知

4. 卒業要件

［1］授業科目の構成

授業科目は、以下のとおり構成されています。［教育職員免許状に関する科目］および［資格に関する科目］等の卒業単位への算入の可否は、入学年度や学科により異なります。次の「**［2］卒業するためには**」の表を確認してください。



［2］卒業するためには

本学を卒業するためには、４年以上６年以下（薬学部は６年以上９年以下）在学し、次の表にある所定の単位を修得しなければなりません。卒業に必要な単位の修得方法については、教育課程表に示しています。所属学部・学科の表をよく確認して、修得単位は自己の責任において管理してください。

■2026年度入学生用（文学部・教育学部）

科目区分		文学部								教育学部							
		日本文学科				書道学科				英語英米文学科				児童教育学科				幼児教育学科			
特別科目		4				4				4				4				4			
共通教育科目	キャリア科目	合計32単位以上 注4）				合計32単位以上 注4）				合計32単位以上 注4）				合計32単位以上 注4）				合計32単位以上 注4）			
	教養科目																				
	基礎科目	情報処理科目	4			情報処理科目	4			情報処理科目	4			情報処理科目	4			情報処理科目	4		
		健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目			
		外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6			外国語科目 注3）	6			外国語科目 注2）	6			外国語科目 注2）	6		
		基礎養成科目 注3）				基礎養成科目 注3）				基礎養成科目 注3）				基礎養成科目 注3）				基礎養成科目 注3）			
専門教育科目		基本科目・卒業研究	31	合計72単位以上	合計92単位以上	基本科目・卒業研究	35	合計72単位以上	合計92単位以上	基本科目・卒業研究	33	合計72単位以上	合計92単位以上	基本科目・卒業研究	24	合計72単位以上	合計92単位以上	基本科目・卒業研究	30	合計72単位以上	合計92単位以上
		領域科目	41			展開科目	37			領域科目	39			領域科目	45			領域科目	16		
						関連科目								関連科目				幼児教育発展科目	9		
																		教育実習・保育実習			
		自由科目 注5）				自由科目 注5）				自由科目 注5）				自由科目 注5）				自由科目 注5）			
合計		128単位以上				128単位以上				128単位以上				128単位以上				128単位以上			

注１）英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から４単位以上修得し、外国語科目全体（欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く）で合計６単位以上修得すること。
ただし、日本文学科および書道学科については、上記４単位に中国語コミュニケーションⅠ～Ⅳの単位を算入することができる。
注２）英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から４単位以上修得し、外国語科目全体（欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く）で合計６単位以上修得すること。
注３）４単位を上限として共通教育科目32単位に算入することができる。
注４）単位互換科目の単位数は、共通教育科目の卒業要件に算入することができる。
注５）自由科目として卒業要件に算入できる科目
自学科の専門教育科目に加えて、教育職員免許状に関する科目、資格に関する科目、他学科科目

■2026年度入学生用（心理学部・現代ビジネス学部）

科目区分		心理学部								現代ビジネス学部											
		現代心理学科				ビジネス心理学科				現代ビジネス学科				国際観光ビジネス学科				公共経営学科			
特別科目		4				4				4				4				4			
共通教育科目	キャリア科目																				
	教養科目																				
	基礎科目	情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）	
		健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目			
		外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6		
		基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）			
専門教育科目		基本科目・卒業研究	36	合計72単位以上	合計92単位以上	学科基礎	12	合計72単位以上	合計92単位以上	専門基礎科目	23	合計72単位以上	合計92単位以上	専門基礎科目	35	合計72単位以上	合計92単位以上	専門基礎科目	11	合計72単位以上	合計92単位以上
		展開科目	36			心理学基礎	14			専門基幹科目	18			専門基幹科目	9			専門基幹科目	28		
						心理学応用	4			専門関連科目				専門演習・卒業研究	6			専門関連科目	10		
						心理学展開Ⅰ				専門演習								専門演習・卒業研究 注6）	9		
						心理学展開Ⅱ	6			卒業研究	6			自由科目 注5）				自由科目 注5）			
						その他実践科目				自由科目 注5）											
		自由科目 注4）				自由科目 注5）															
合計		128単位以上				128単位以上				128単位以上				128単位以上				128単位以上			

■2026年度入学生用（家政学部・薬学部・看護学部）

科目区分		家政学部											薬学部			看護学部			
		生活デザイン学科				管理栄養学科				造形デザイン学科			薬学科			看護学科			
特別科目		4				4				4			4（4年次までに履修）			4			
共通教育科目	キャリア科目																		
	教養科目																		
	基礎科目	情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）		情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）	情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）	情報処理科目	4	合計32単位以上 注3）	
		健康スポーツ科目				健康スポーツ科目				健康スポーツ科目			健康スポーツ科目			健康スポーツ科目			
		外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6			外国語科目 注1）	6		外国語科目 注1）	6		外国語科目 注1）	6		
		基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）				基礎養成科目 注2）			基礎養成科目 注2）			基礎養成科目 注2）			
専門教育科目		基本科目・卒業研究	22	合計72単位以上	合計92単位以上	専門基礎科目	6	合計72単位以上	合計92単位以上	専門基礎科目	24	合計72単位以上	合計92単位以上	基礎薬学科目	58	注7）合計161単位以上		専門基礎分野	23	注8）合計92単位以上	
		展開科目	50			基幹科目	10			基幹科目	11			医療薬学科目	89			専門分野	66		
						展開科目	6			展開科目	12										
						卒業研究	8			卒業研究	6			薬学演習・卒業研究	9						
		自由科目 注4）				自由科目 注4）				自由科目 注5）											
合計		128単位以上				128単位以上				128単位以上			197単位以上			128単位以上			

注１）英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から４単位以上修得し、外国語科目全体（欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く）で合計６単位以上修得すること。
注２）４単位を上限として共通教育科目32単位に算入することができる。
注３）単位互換科目の単位数は、共通教育科目の卒業要件に算入することができる。
注４）自由科目として卒業要件に算入できる科目
自学科の専門教育科目に加えて、教育職員免許状に関する科目、資格に関する科目、他学科科目
注５）自由科目として卒業要件に算入できる科目
自学科の専門教育科目に加えて、資格に関する科目、他学科科目
注６）必修科目６単位の他、指定された選択必修科目から３単位以上修得すること。
注７）必修科目156単位の他、指定された選択必修科目から５単位以上修得すること。
注８）必修科目89単位の他、指定された選択必修科目から３単位以上修得すること。

■2026年度入学生用（理工学部）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">科目区分</th><th colspan="9">理工学部</th></tr>
<tr><th colspan="3">生物科学科</th><th colspan="3">情報科学科</th><th colspan="3">建築学科</th></tr>
<tr><td colspan="2">特　別　科　目</td><td colspan="3">4</td><td colspan="3">4</td><td colspan="3">4</td></tr>
<tr><td rowspan="6">共通教育科目</td><td>キャリア科目</td><td colspan="3" rowspan="6">合計32単位以上 注3）</td><td colspan="3" rowspan="6">合計32単位以上 注3）</td><td colspan="3" rowspan="6">合計32単位以上 注3）</td></tr>
<tr><td>教　養　科　目</td></tr>
<tr><td rowspan="4">基　礎　科　目</td><td>情報処理科　目</td><td>4</td></tr>
<tr><td>健康スポーツ科　目</td></tr>
<tr><td>外　国　語科目 注1）</td><td>6</td></tr>
<tr><td>基礎養成科目 注2）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">専門教育科目</td><td>理工学部共通科目</td><td>4</td><td rowspan="7">合計72単位以上</td><td rowspan="8">合計92単位以上</td><td>理工学部共通科目</td><td>4</td><td rowspan="7">合計72単位以上</td><td rowspan="8">合計92単位以上</td><td>理工学部共通科目</td><td>4</td><td rowspan="7">合計72単位以上</td><td rowspan="8">合計92単位以上</td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td>28</td><td rowspan="2">基礎科目・卒業研究</td><td rowspan="2">16</td><td rowspan="2">基幹科目・卒業研究</td><td rowspan="2">31</td></tr>
<tr><td>実験実習科　目</td><td>8</td></tr>
<tr><td>基幹科目</td><td>4</td><td>基幹科目</td><td>12</td></tr>
<tr><td>展開科目</td><td rowspan="2">展開科目</td><td rowspan="2">30</td><td rowspan="2">展開科目</td><td rowspan="2">22</td></tr>
<tr><td>専門演習・卒業研究</td><td>9</td></tr>
<tr><td>自由科目 注4）</td><td>自由科目 注4）</td><td>自由科目 注4）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td colspan="3">128単位以上</td><td colspan="3">128単位以上</td><td colspan="3">128単位以上</td></tr>
</table>

注１）英語リーディングⅠ・Ⅱ、英語ライティングⅠ・Ⅱ、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの中から４単位以上修得し、
　　外国語科目全体（欧米文化語学演習、中国文化語学演習を除く）で合計６単位以上修得すること。
注２）４単位を上限として共通教育科目32単位に算入することができる。
注３）単位互換科目の単位数は、共通教育科目の卒業要件に算入することができる。
注４）自由科目として卒業要件に算入できる科目
　　自学科の専門教育科目に加えて、資格に関する科目、他学科科目

［３］編入学生が卒業するためには

編入学した学生が本学を卒業するためには、２年以上（薬学部については、第３年次編入生は４年以上、第４年次編入生は３年以上）在学し、所定の単位を修得しなければなりません。

卒業に必要な単位の修得方法については、教育課程表により別に定めます。

5.　進級要件（薬学部薬学科）

薬学部の学生が、３年次及び５年次に進級するためには、２年次及び４年次終了時までにそれぞれ以下の要件を満たしていなければなりません。

※編入生の進級要件は、別途定める。

［１］２年次から３年次への進級要件

１）特別科目を２単位修得していること。

２）共通教育科目

・情報処理科目：４単位以上修得していること。

・外国語科目：「英語リーディングⅠ・Ⅱ」、「英語ライティングⅠ・Ⅱ」、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」から４単位以上修得し、外国語科目全体（「欧米文化語学演習」、「中国文化語学演習」を除く）で合計６単位以上修得していること。

３）専門教育科目のうち、２年次までに開講される必修科目56単位を修得していること。

４）上記１）～３）の条件をすべて満たさなければ３年次に進級することができません。

※進級できない場合は、２年次に留年して必要な単位を修得してください。

［２］４年次から５年次への進級要件

１）特別科目を４単位修得していること。

２）共通教育科目を32単位以上修得していること。

３）専門教育科目のうち、４年次までに開講される必修科目123単位を修得していること。

４）薬学共用試験に合格していること。

５）上記１）～４）の条件をすべて満たさなければ５年次に進級することができません。

※進級できない場合は、４年次に留年して必要な単位を修得するとともに共用試験に合格してください。

［３］進級判定時期および進級時期

進級の判定は２年次後期末及び４年次後期末に行い、進級は学年初め（４月）に限ります。

6.　臨地実習履修要件（看護学部看護学科）

［１］臨地実習の履修要件

２年次以降の臨地実習を履修するに当たり、次の要件を満たしていることを必要とする。

１）２年次の臨地実習履修要件

⑴　特別科目を１単位修得していること。

⑵　共通教育科目のうち、所定の授業科目の履修を含めて所定の単位を修得していること。

⑶　「基礎看護学臨地実習Ⅰ」の単位を修得していること。

２）３年次の臨地実習履修要件

⑴　特別科目を２単位修得していること。

⑵　共通教育科目のうち、所定の授業科目の履修を含めて所定の単位を修得していること。

⑶　３年前期までの専門教育科目（必修科目）の単位を修得していること。

３）４年次の「看護の統合と実践臨地実習」の履修要件

⑴　特別科目を３単位修得していること。

⑵　３年後期までの臨地実習の単位を修得し、「看護管理学」の履修を終えていること。

7. 保健師、助産師養成課程（看護学部看護学科）

［1］保健師、助産師養成課程について

保健師、助産師養成課程は、選択制で行います。

［2］保健師、助産師養成課程への選考要件

保健師、助産師養成課程への選考要件は、別に定めます。

8. CAP（キャップ）制

［1］CAP制について

1）CAP制とは、各学期に履修登録をする単位数の上限を定めた制度です。

2）単位制度を実質化（1単位当たり必要な45時間の学修時間（授業時間を含む）を確保）し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く身に付け、各学期にわたって適切に授業科目を履修してもらうための制度です。

［2］履修制限について

1）1学期に履修できる単位数の上限は、24単位です。ただし、1年次後期以降、直前の学期において成績が優れた学生（GPA※3.00以上）については、例外措置として履修制限を設けません。

2）休学後、復学した場合の1学期に履修できる単位数の上限は、24単位です。

3）英語英米文学科と国際観光ビジネス学科の海外研修プログラム参加後の履修制限は、海外研修プログラム参加前の学期のGPAを適用します。※GPA･･･（P.22［2］参照）

4）転学部・転学科、編入学した場合の1学期に履修できる単位数の上限は、24単位とします。ただし、初年次後期以降、直前の学期において成績が優れた学生（GPA 3.00以上）については、例外措置として履修制限を設けません。

5）単位互換科目もCAP制の対象となります。単位互換科目を履修する場合は、単位数を確認し、手続を行ってください。

［3］学科別CAP制対象外科目について

学科ごとに、CAP制の対象とならない科目があります。下表の科目は、24単位の上限を超えて履修することができます。教育課程表のCAP欄でも確認することができます。

<table>
<tr><th rowspan="2">学科</th><th colspan="2">CAP制対象外科目</th></tr>
<tr><th>学科別</th><th>全学共通</th></tr>
<tr><td>日本文学科</td><td>教育職員免許状に関する科目
学校図書館司書教諭に関する科目
司書に関する科目
学芸員に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）
日本語教員養成に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td><td rowspan="22">特別科目（「まほろば教養ゼミ」）

全学共通の国際交流プログラム科目（「欧米文化語学演習」、「中国文化語学演習」）

集中講義（共通教育科目「野外活動」「インターンシップ」）</td></tr>
<tr><td>書道学科</td><td>教育職員免許状に関する科目
学校図書館司書教諭に関する科目
司書に関する科目
学芸員に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>英語英米文学科</td><td>教育職員免許状に関する科目
学校図書館司書教諭に関する科目
日本語教員養成に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>児童教育学科</td><td>学科独自の国際交流プログラム科目（「海外教育語学研修事前演習」「海外教育語学研修」）
実習関連科目（「教育実習指導」「教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「教職キャリアデザイン」「介護体験指導」「学校等支援活動」「野外活動演習」）
学校図書館司書教諭に関する科目</td></tr>
<tr><td>幼児教育学科</td><td>学科独自の国際交流プログラム科目（「海外教育語学研修事前演習」「海外教育語学研修」）
実習関連科目（「教育実習指導Ⅰ・Ⅱ」「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「教育実習（幼稚園Ⅰ・Ⅱ）」「保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「野外活動演習」「学校等支援活動」）</td></tr>
<tr><td>現代心理学科</td><td>教育職員免許状に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）
社会調査士に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>ビジネス心理学科</td><td>－</td></tr>
<tr><td>現代ビジネス学科</td><td>学科独自の国際交流プログラム科目（「海外研修事前演習」「海外語学ビジネス研修」）
社会調査士に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>国際観光ビジネス学科</td><td>学科独自の国際交流プログラム科目（「実用英語Ⅰ・Ⅱ」「ビジネス英語基礎」「アメリカの文化Ⅰ・Ⅱ」「国際ビジネスⅠ・Ⅱ」「観光と文化Ⅰ・Ⅱ」「海外インターンシップⅠ・Ⅱ」）
社会調査士に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>公共経営学科</td><td>社会調査士に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>生活デザイン学科</td><td>教育職員免許状に関する科目
学校図書館司書教諭に関する科目
学芸員に関する科目（※ただし学科の専門教育科目を除く）</td></tr>
<tr><td>管理栄養学科</td><td>教育職員免許状に関する科目（「学校栄養指導論Ⅰ・Ⅱ」を含む）
実習関連科目（「臨床栄養学臨地実習Ⅰ」「臨床栄養学臨地実習Ⅱ」「臨床栄養学臨地実習Ⅲ」「給食経営管理臨地実習」「公衆栄養学臨地実習」「ボランティア活動」）</td></tr>
<tr><td>造形デザイン学科</td><td>－</td></tr>
<tr><td>薬学科</td><td>実習関連科目（「薬品物理化学実習」「薬品分析化学実習」「薬品有機化学実習」「天然物化学実習」「解剖･生理学実習」「生化学実習」「衛生･環境科学実習」「微生物学免疫学実習」「薬理学実習Ⅰ・Ⅱ」「薬剤学実習」「臨床薬剤学実習Ⅰ～Ⅲ」「病院実務実習」「薬局実務実習」）</td></tr>
<tr><td>看護学科</td><td>実習関連科目（「基礎看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ」「地域・在宅看護学臨地実習」「成人看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）」「成人看護学臨地実習Ⅱ（急性期）」「成人看護学臨地実習Ⅲ（高度急性期）」「高齢者看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）」「高齢者看護学臨地実習Ⅱ（回復・リハビリ期）」「小児看護学臨地実習」「母性看護学臨地実習」「精神看護学臨地実習」「看護の統合と実践臨地実習」「公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ」「助産学実習Ⅰ～Ⅲ」）
学科独自の国際交流プログラム科目（「国際交流・実践」）</td></tr>
<tr><td>生物科学科</td><td>－</td></tr>
<tr><td>情報科学科</td><td>－</td></tr>
<tr><td>建築学科</td><td>学科独自の海外研修プログラム科目（「海外建築研修」）</td></tr>
</table>

9. 履　修

［1］履修登録と履修の禁止

1）履修登録とは、その学期に学ぼうとする授業科目の履修を申し込む意思表示です。

2）履修登録はすべてを本人の意思で行い、登録内容に間違いがあった場合は本人が責任を負うことになります。

3）履修登録していない授業科目は、単位認定できません。

4）履修登録確定後は、追加・取消は原則としてできません。履修登録は、慎重に計画を立てて行ってください。

5）既に単位を修得している授業科目は、再度履修することはできません。

6）同一時限に２科目以上の履修はできません（一部例外科目あり）。また、上級学年に配当されている授業科目についても履修はできません。ただし、他学科科目については、上級学年に配当されている科目を履修できる場合があります。（P.14［5］参照）

［2］履修登録の手順

1）事前準備

履修登録に必要な資料を参照し、履修計画を立て、履修登録下書用紙に記入してください。

※履修登録下書用紙は、履修登録ガイドの最終頁にあります。

■履修登録参考資料とその配付時期

資料名	資料内容	配付・掲載時期等
『履修の手引』（本冊子）	卒業要件、教育課程表、履修方法、教育職員免許状・各種資格の内容、取得方法等	入学時
授業計画（シラバス）	授業の概要、授業の目標、到達目標、授業計画、評価の方法等	各学期初めにWebで公開（P.28参照）
授業時間割表	授業科目の開講曜日・時限・教室・担当教員等	各学期初めにまほろばポータルに掲載
履修登録ガイド	履修登録スケジュール、履修登録上の注意点、共通教育科目の履修登録方法等	各学期初めにまほろばポータルに掲載

2）履修登録期間と方法

履修登録期間は、各学期初めに一定期間設定されます（履修登録ガイドで確認してください）。

※履修登録期間中は、一部の授業科目を除き、履修登録内容の追加・取消ができます。

※授業科目によっては、履修登録方法が異なるものがありますので注意してください。

■履修登録方法

<table>
<tr><th colspan="2">授業科目の種類</th><th>履修登録方法</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別科目</td><td rowspan="3">Web履修登録（所定の期間にパソコンで登録。）
①履修計画を立て、履修登録下書用紙に記入します。
②履修登録下書用紙をもとにWeb履修登録を行います。
③履修登録内容の確認を行ってください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">共通教育科目</td><td>キャリア科目</td></tr>
<tr><td>教養科目</td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td>授業科目によって履修登録の手順が異なります。
詳細は履修登録ガイドを参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門教育科目</td><td rowspan="3">Web履修登録（所定の期間にパソコンで登録。）
①履修計画を立て、履修登録下書用紙に記入します。
②履修登録下書用紙をもとにWeb履修登録を行います。
③履修登録内容の確認を行ってください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育職員免許状に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">資格に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位互換科目
＊P. 15［8］参照</td><td>所定の期間に出願票を提出してください。
詳細は単位互換履修生募集要項（教務課で配付）を参照してください。</td></tr>
</table>

※「指定外授業」や「他学科科目」を履修する手続方法もあります。（P. 14［4］［5］参照）

3）履修登録確認期間（履修登録ガイドで確認してください。）

各自が登録した授業科目と大学が一括登録した授業科目がすべて正しく登録されているかを、履修登録確認期間にWeb時間割参照画面等で確認してください。

※Web時間割参照画面には、履修登録方法に関わらず、すべての登録科目が表示されます。

※履修登録確認期間中は、一部の授業科目を除き、登録内容の追加・取消ができます。

※履修登録確認期間終了後は、登録内容の追加・取消は原則として認められませんので、慎重に確認してください。

4）履修登録・確認期間終了後の個人時間割確認方法

①「まほろばポータル」のホーム画面から指定リンク「CampusPlan」を選択してログインしてください。

②「Web時間割参照」を選択し、「時間割参照（学生）」をクリックしてください。

履修登録の流れ

Step1：将来の進路について考える（将来の目標を設定することが大事です）。
例）就職のために○○の免許・資格を取りたい。自分自身のためにこの知識を身に付けたい。

Step2：年間の履修計画を立てる（計画的に学習していくための基本です）。
教育課程表と授業時間割表を確認し、授業計画（シラバス）を参照し、免許・資格取得等を考慮して履修する科目を決めましょう。

Step3：「履修登録下書用紙*」に下書きする。
授業科目名・履修科目コード・代表者名を記入してください。
（*各学期初めにまほろばポータルに掲載される履修登録ガイドの最終頁）

共通教育科目の履修登録について
詳細は、履修登録ガイドを確認しましょう。
※授業科目別に登録方法、手続日程が定められているので注意してください。

Step4：Web履修登録する。
履修登録期間にパソコンで登録してください。
※「履修登録下書用紙」を活用しましょう。

Web画面で登録できない科目がある場合は、教務課に問い合わせてください。

Step5：登録内容を確認する。（履修登録期間）
履修申請確認表を印刷し、科目名や履修科目コード（特に下２桁）等を確認してください。
※集中講義、実習、免許・資格科目の登録もれがないか注意しましょう。
※「履修登録下書用紙」に記入した科目数と登録した科目数を確認しましょう。

注意！
Web画面に表示される科目が選択可能な科目とは限りません。
※指定クラスは、授業時間割表の対象クラス欄で確認してください。

Step6：履修登録確認期間に確認する。
履修登録確認期間にパソコンで時間割確認表をPDF保存し、登録に間違いがないか確認してください。
※Web 履修登録以外の科目（大学が一括登録した科目）も登録されているか確認しましょう。
やむを得ず変更が必要な場合は、この期間に訂正してください。訂正方法は履修登録ガイドを参照してください。

注意！
履修登録確認期間を過ぎてからの追加・取消はできません。
慎重に確認してください。

Step7：履修登録確定後に最終確認する。
「Web 時間割参照」で確定した時間割を確認しましょう。

［4］指定された時間割以外の授業科目の履修

1）指定された教育課程表以外の授業科目や指定されたクラス以外の授業科目を履修する場合は、「履修登録ガイド」に従い、指定外授業の履修手続を行ってください。

2）指定された配当年次で単位修得できなかった授業科目（下級学年に開講されている授業科目）を履修する場合（過年次履修）は、通常の授業科目と同様にWeb履修登録を行ってください。

※過年次履修する際の留意点

・下級学年の教育課程表で開講学期・配当年次を確認してください。

・できる限り指定された配当年次の翌年度に履修してください。

［5］他学科科目の履修

1）専門教育科目の教育課程表の中で、他学科欄に○がついている授業科目は、当該学科以外の学生も履修することができます。

2）自学科で開講している科目と同名の他学科科目がある場合は、自学科開講の科目を履修してください（原則、同名の他学科科目は履修できません）。

3）他学科科目を履修する場合は、その学科の教育課程表で指定されている履修年次を問いません。

4）他学科科目の履修により修得した単位の卒業要件への算入方法は、学部・学科別の卒業要件（P. 5～7）を確認してください。

5）他学科科目の履修希望者は、次の要領で手続を行ってください。

①履修を希望している他学科科目が、自分の所属学科の卒業必修科目や免許・資格取得に必要な科目の開講曜日・時限と重なっていないことを確認してください。

②「履修登録ガイド」に従い、他学科履修の手続を行ってください。

※履修人数等の関係で「他学科科目」の履修手続後でも履修が許可されない場合があります。

［6］免許・資格科目の履修

1）取得したい免許・資格を決めます。（P. 124～197参照）

2）履修負担と優先順位を考えて、自分の時間割を作ります。基本的に、卒業に必要な科目（共通教育科目、専門教育科目など）の履修を優先してください。免許・資格科目の単位は、卒業単位に算入されるものとされないものがあります。学部・学科別の卒業要件（P. 5～7）を参照してください。

3）2つ以上の免許・資格を取得しようとする場合は、優先順位を念頭において履修科目を決めてください。時間割によって、複数の免許・資格に必要な単位を所定修業年限内に修得できないことがあります。その場合、卒業後に必要な科目を科目等履修生（規程は「まほろばポータル」ーキャビネット掲載）として履修する方法があります。ただし、資格証書の発行はできません。証明書の申込により単位修得証明書を発行します。

4）免許・資格科目の集中講義開講時期が、他の授業や行事（海外研修等）と重なることがありますので、いつの年次にどの科目を履修するかを毎学期見直してください。

5）実習科目の履修が必要な免許・資格があります。実習中は、他の授業を受けられません。実習に参加する前に、欠席する授業の授業担当教員に申し出て、履修方法等を相談し、その指示に従ってください。実習参加を理由に、欠席が出席扱いになることはありません。

6）「学校等支援活動」の履修に関しては、P. 132～133でよく確認してください。なお、この科目は教育課程表に記載されていますが、授業時間割表には記載されません（Web履修登録は不要です）。

［7］編入学生の履修

編入学生は、編入先の学年において開講済みの科目は、下級学年の授業時間割表で曜日・時限を確認して履修してください。

［8］単位互換制度

単位互換協定を締結した大学・短期大学に所属する学生が、他大学の授業を受講して修得した単位を、所属する大学の単位として認定する制度です。本学に開講されていない他大学の科目を履修することができます。

1）単位互換科目

各大学が開設する単位互換科目およびその授業内容の確認方法については、別途「まほろばポータル」で通知します。

2）単位互換科目の履修登録・手続等

単位互換科目の履修を希望する学生は、本学の授業科目の履修登録とは別の手続が必要です。手続等の詳細については、教務課または「まほろばポータル」で確認してください。なお、教職科目、資格科目の履修を希望する場合は事前に相談してください。

＜履修上の注意点＞

①本学の学科・学年で履修を必要とする科目の登録を優先してください。

②既に単位修得した科目を再度履修することはできません。

③各大学の授業時間・通学時間を考慮して履修科目を決定してください。

④単位互換科目は、CAP制の対象になります。

⑤単位互換科目の単位は、８単位を限度として共通教育科目の卒業要件に算入することができます。単位互換規程およびP. ５～７を参照してください。

３）その他

単位互換に関する規程は、「安田女子大学単位互換規程」（「まほろばポータル」＞キャビネット）を参照してください。

10. 試　験

試験には、小テスト・通常の試験・追試験・再試験があります。また、試験に代わるレポートやその他の提出物が課される場合もあります。

［１］小テスト

小テストは、授業担当教員が学期の中途において必要と認めたときに行います。

［２］通常の試験

各学期において一定の期日を定めて実施します。

１）試験実施要綱

⑴受験資格

各学期ごとに全授業回数の３分の２以上出席することが必要です。

欠席回数が規定数を超えた者は、その科目の試験を受験することはできません。

⑵試験の時間割

試験の時間割は、試験開始日１週間前に発表します。なお、授業担当教員が別途指示する場合もあります。

⑶試験時の座席

指定された座席に着席してください。

⑷遅刻・早退の取扱い

①試験開始後25分（遅刻限度）までに試験室に入室した者に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長はありません。

②試験開始後25分を経過したら、試験監督者の指示により退室することができます。

⑸試験の欠席

①病気その他やむを得ない事由により受験できない場合は、願出により追試験を認めることがあります。

②追試験の受験を希望する場合は、事前（やむを得ない場合は当該試験終了後１週間以内）に所定の手続きを行ってください。

⑹試験時の基準服

①必ず制服を着用してください。

②社会人入学生は制服に準ずるものを着用してください。

③前期の試験に限り、上着の着用は必要としません。

＊その他の注意事項については、「受験上の注意等」で確認してください。

⑺所持品の取扱い

①学生証を表にして机上に提示してください。

②机上には、試験監督者が許可した物に限り置くことができます。

＊その他の注意事項については、「受験上の注意等」で確認してください。

⑻不正行為について

①不正行為は、恥ずべき行為であり、絶対行わないでください。多くの人の信頼を失うことになります。万一、不正行為を行った場合は、当該学期すべての履修科目の評価が「抹消」になるなどの厳しい処分があります。

②懲戒については、別に定めます。

⑼その他

試験・補講期間以外に実施される試験および追試験、再試験においても、上記同様の取扱いとします。

2）受験上の注意等

「試験実施要綱」に加え、次の点に注意してください。

⑴試験時の基準服

①制服を着用していない場合は、説諭や反省文提出等の指導があります。

②社会人入学生は、スーツなど制服に準ずるものを着用してください。

③試験日が連続するなどの事情がある場合は、本学指定のブラウスに準ずる白のブラウスの着用を認めます。

④けが等の事情により制服の着用が困難な学生は、事前に学生課で所定の手続きを行ってください。制服着用免除を証明する書類「基準制服外着用許可書」を受け取り、机上に提示して受験してください。

⑤科目等履修生、他大学の単位互換履修生については、基準服は適用されません。

⑵所持品の取扱い

①学生証を忘れた場合は、教務課窓口で「試験受験許可証」（無料）を受け取り、学生証の代わりに提示してください。

②学生証のほかに机上に置ける物は、筆記用具、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、および試験監督者が許可した物です。ペンケースを置くことはできません。

③携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、必ず電源を切ってバッグに収めてください。時計代わりに使用することはできません。

④机上に置ける物以外は、バッグに収めてください。バッグは中が見えないようにして、床に置いてください。空き席や机の上、机の棚に置くことはできません。

⑤試験監督者が許可しない物を机上に置いていたり、身に着けていた場合は、不正行為とみなされることがあります。

なお、「受験上の注意」の詳細は、試験開始日１週間前に「まほろばポータル」でお知らせします。

［3］追試験

次に定める事由により通常の試験を受験できない者に対して、所定の手続を行い、許可された場合に追試験を受験することができます。追試験の実施は1回限りとし、追試験の不合格者に対する再試験は実施しません。

〈追試験を願い出ることができる欠席理由〉

欠　席　理　由	添付すべき証明書等
病気・けが	医師の発行する診断書等 （試験当日を含む加療期間が記されたもの）
忌引き（2親等まで、親･兄弟･姉妹・祖父母等）	「忌引き届」（教務課にある所定の用紙）及び会葬礼状等
公共交通機関の事故等	公共交通機関等の発行する証明書 （試験当日を含む期間が記されたもの）
就職試験	キャリアセンターにある就職に関わる受験等確認書 （キャリアセンター長の承認印があること）
免許・資格試験受験等	免許・資格試験の受験票のコピー （試験の日時・場所が確認できるもの）
災害（地震・台風・水害・火災等）	官公庁等の公的機関への確認に基づき学生課が作成した書類
他大学における単位互換科目の定期試験との重複	他大学の発行した「単位互換科目受験証明書」

〈手続の流れ〉

1）事前（やむを得ない場合は当該試験終了後原則1週間以内、インフルエンザ等の感染症の場合は、再登学から1週間以内）に、教務課で「試験欠席届（追試験受験願）」を受け取り、診断書等を添付し、授業担当教員の承認を得て、教務課に提出してください。なお、期限内に手続きができない場合は、教務課に連絡してください。

2）手続終了後、授業担当教員に追試験が許可されたことを報告し、所定の期日までに追試験を受験してください。追試験実施の詳細は、授業担当教員に確認してください。

3）追試験結果は、Web学生カルテで確認してください。

［4］再試験

履修した科目が「不可」となった場合、その学期の休業期間中（前期は夏季休業、後期は学年末休業）に、申請により1回限り再試験が受験できます。ただし、まほろば教養ゼミ、一定期間学外の施設等で実習や演習を行う科目、卒業論文や卒業研究、単位互換科目等による他大学での履修科目については、再試験を実施しません。「再試験対象除外科目一覧表」（P.20参照）で確認してください。再試験に合格した場合の評価は「可」となります。再試験の追試験は、実施しません。

なお、「不可」となった科目のシラバスの評価方法に試験が含まれていない場合でも、再試験は実技等を含む実験・実習科目を除いて、全て筆記試験を行います。

実技等を含む実験・実習科目の再試験については、授業担当教員の指示により実施されます。

〈手続の流れ〉

1）「再試験科目確認・申込サイト」で「不可」科目の有無と実施内容等を確認してください。

2）再試験受験手続締切日までに再試験受験料（1科目につき1,000円）を納入してください。納入方法については別途「まほろばポータル」でお知らせします。

3）「再試験科目確認・申込サイト」で受験手続きを行ってください。「再試験科目確認・申込サイト」の操作方法については別途「まほろばポータル」でお知らせします。

4）再試験時間割を確認し、再試験を受験してください。なお、受験に際しては「学生証」を持参してください。

5）再試験結果は、Web学生カルテで確認してください。

［5］レポートその他提出物

1）試験に代わるレポートやその他の提出物は、提出期限を厳守してください。正当な理由なく期限までに提出しない場合は、提出物の評価ができないため、「不可」となることがあります。

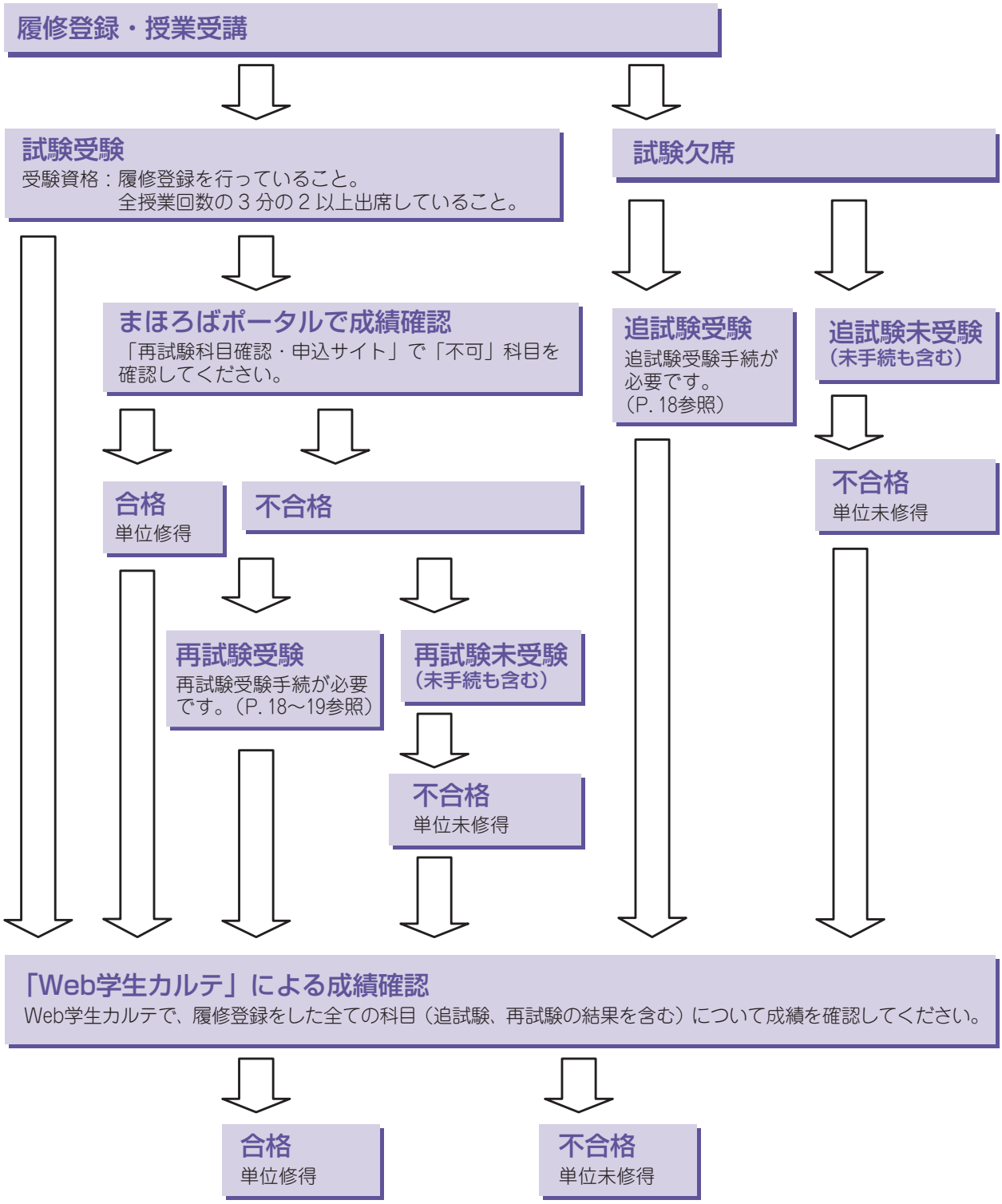
2）提出に際しては、授業担当教員が指示するところにより、授業科目名・担当教員名・学籍番号・氏名等を記入し、提出してください。レポートの表紙が必要な場合、1号館2階アカデミックサポートエリア内のレターケースにあります。また、データは「まほろばポータル」内のキャビネットにあります。

●再試験対象除外科目一覧表　※2026年度入学生用教育課程表から抜粋

対象	区分	科目名
全学科	特別科目	まほろば教養ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	共通教育科目	ボランティア活動
		インターンシップ
		野外活動
		欧米文化語学演習
		中国文化語学演習
日文	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
		日本文化文学実地研究Ⅱ
書道	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ
		卒業論文
		書道実地研究
英文	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		卒業論文
		通訳実習
児教	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		卒業論文
		野外活動演習
		教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		教育実習指導
		海外教育語学研修事前演習
		海外教育語学研修
幼教	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		卒業論文
		野外活動演習
		乳児保育参観
		幼児教育インターンシップⅠ・Ⅱ
		幼児教育実践演習Ⅰ・Ⅱ
		保育職キャリアデザイン
		子育て支援演習Ⅰ・Ⅱ
		海外教育語学研修事前演習
		海外教育語学研修
		教育実習（幼稚園Ⅰ）
		教育実習（幼稚園Ⅱ）
		教育実習指導Ⅰ・Ⅱ
		保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
現心	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
		発達臨床演習
		心理実習
		看護学臨床実習指導
		看護学臨床実習
ビ心	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
現ビ	専門教育科目	ビジネス実践入門Ⅰ・Ⅱ
		ボランティア論
		海外研修事前演習
		海外語学ビジネス研修
		インターンシップ
		ビジネス実践演習Ⅰ・Ⅱ
		ビジネスプロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文

対象	区分	科目名
観光	専門教育科目	実用英語Ⅰ・Ⅱ
		ビジネス英語基礎
		アメリカの文化Ⅰ・Ⅱ
		国際ビジネスⅠ・Ⅱ
		観光と文化Ⅰ・Ⅱ
		都市デザインワークショップ
		ボランティア論
		海外インターンシップⅠ・Ⅱ
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
公共	専門教育科目	公共経営学概論演習
		広島ブランディングワークショップ
		ボランティア論
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
生デ	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業論文
		ボランティア活動
		環境臨地実習
管理	専門教育科目	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
		給食経営管理臨地実習
		公衆栄養学臨地実習
		ボランティア活動
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
造形	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
		卒業制作・論文
薬学	専門教育科目	病院実務実習
		薬局実務実習
		薬学特別研究
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
看護	専門教育科目	国際交流・実践
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ
		基礎看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ
		地域・在宅看護学臨地実習
		成人看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）
		成人看護学臨地実習Ⅱ（急性期）
		成人看護学臨地実習Ⅲ（高度慢性期）
		高齢者看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）
		高齢者看護学臨地実習Ⅱ（回復・リハビリ期）
		小児看護学臨地実習
		母性看護学臨地実習
		精神看護学臨地実習
		看護の統合と実践臨地実習
		公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ
		助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
生物	専門教育科目	協働プロジェクトⅠ・Ⅱ
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
情報	専門教育科目	分野横断プロジェクトⅠ・Ⅱ
		卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
建築	専門教育科目	卒業研究Ⅰ・Ⅱ
		海外建築研修
		国内建築研修Ａ・Ｂ
		建築フィールドワーク
免許（日・書・英・生・管）	教育職員免許状に関する科目	教育実習指導（中・高）
		教育実習Ⅰ（中・高）
		教育実習Ⅱ（中・高）
免許（現心）		養護実習指導
		養護実習
免許（管理）		学校栄養教育実習指導
		学校栄養教育実習
資格	司書に関する科目	図書館実習
	学芸員に関する科目	博物館実習Ⅱ・Ⅲ
	日本語教員養成に関する科目	日本語教育実習Ⅰ
全学科	単位互換科目	他大学提供科目

試験の流れ



※分からないことがある場合は、教務課へ問い合わせてください。

11. 成績と単位認定

[1] 成績評価

成績は、試験・レポート等の成績に平素の受講態度等の要素を含めて総合的に判定し、下表のとおり評価します。詳細は、「授業計画（シラバス）」で確認してください。

■成績の評価基準

<table>
<tr><th>評　価</th><th>評価基準</th><th>単　位</th><th>グレードポイント</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>秀(S)</td><td>100～90点</td><td rowspan="4">認　定</td><td>4 点</td><td rowspan="7">GPAの計算対象</td></tr>
<tr><td>優(A)</td><td>89～80点</td><td>3 点</td></tr>
<tr><td>良(B)</td><td>79～70点</td><td>2 点</td></tr>
<tr><td>可(C)</td><td>69～60点</td><td>1 点</td></tr>
<tr><td>不可(D)</td><td>59～ 0点</td><td rowspan="3">不認定</td><td>0 点</td></tr>
<tr><td>欠席(F)</td><td>試験欠席</td><td>0 点</td></tr>
<tr><td>抹消(M)</td><td>受験資格等なし</td><td>0 点</td></tr>
<tr><td>合格</td><td>—</td><td>認　定</td><td>—</td><td rowspan="2">「まほろば教養ゼミⅠ～Ⅳ」「学校等支援活動」の成績評価として適用します。</td></tr>
<tr><td>不合格</td><td>—</td><td>不認定</td><td>—</td></tr>
</table>

[2] GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

1）GPAとは

・GPAとは、履修した科目の評価をグレードポイント（数値）に換算し、その合計を計算対象科目の単位数の合計で割った値です。

2）活用方法

・学生は、GPAにより自らの学業成績の状況を明確で客観的な総合的成績評価として知ることができ、自分自身の学習への努力の成果が把握しやすくなります。

・教員は、GPAを履修・学習指導上の指標として用いることにより、個々の学生の学習状況に応じたきめの細かい指導が可能になります。

3）GPAの計算期間および対象科目

・GPAは学期ごとに算出されます。

・次の科目は計算対象から除外されます。教育課程表のGPA欄でも確認することができます。

【計算対象から除外される科目】

●評価が「認定」の科目

●成績通知時点で成績が未確定の科目（※）

●HIBISCUS、海外建築研修以外の海外研修科目

●他大学の単位互換科目

●まほろば教養ゼミⅠ～Ⅳ

●学校等支援活動

（※）成績確定後にGPAを再計算し、翌期以降の成績通知書に反映します。

4）各種書類への記載について

●成績通知書…父母等用および本人用ともに記載されます。

●成績・単位修得証明書…記載されません。

5）GPAの計算方法

＜計算式＞

$$\text{GPA}\cdots③ = \frac{\text{秀の単位数}\times 4\text{点}+\text{優の単位数}\times 3\text{点}+\text{良の単位数}\times 2\text{点}+\text{可の単位数}\times 1\text{点}+\text{不可・欠席・抹消の単位数}\times 0\text{点}\ \cdots②}{\text{計算対象科目の単位数の合計}\ \cdots①}$$

（1）対象学期の受講科目の単位合計数を成績評価ごとに数えて、計算対象科目の単位数の合計を算出します。
その際、計算対象外科目の単位は除きます。

例）秀…6単位、優…9単位、良…5単位、可…1単位、不可…1単位、
欠席…1単位、抹消…1単位　の場合

計算対象科目の単位数合計は、　計24単位　…①　となります。

（2）それぞれの成績評価の単位数にグレードポイントをかけてグレードポイントの合計点を算出します。

例）秀6単位×4点＋優9単位×3点＋良5単位×2点＋可1単位×1点
＋不可・欠席・抹消3単位×0点＝62点

合計点は、62点　…②　となります。

（3）合計点②を単位数合計①で割ります。

例）62点÷24単位 ＝ 2.583　…③

（4）（3）の小数点第3位を切り上げます。この値が、対象学期のGPA値です。

2.583　→　2.59　（GPA値）

［3］成績の確認

1）成績は下表の方法により各自で確認してください。

	成績通知書による確認	Webによる確認
確認方法等	学期の初めに前学期の成績評価結果をお知らせします。 ＜学生＞チューターから配付 ＜父母等＞郵送	・各自のノートパソコンを使用し、「Campus Plan」＞学生カルテより確認することができます。
確認できる内容	・各科目の成績評価 ・各科目の履修年度・学期 ・修得済単位数 ・GPA	
備　　考	成績通知日時点における成績確定科目の評価およびGPAを表示します。	閲覧時点で確定している最新の評価およびGPAを確認することができます。 成績発表日については、別途連絡します。

2）履修登録をした授業科目について、成績未確定の科目以外はすべて評価が記載されているか確認してください。欠席が多い等、履修を放棄したとみなされた場合、「抹消」となることがあります。

3）卒業および各種免許・資格等に必要な単位については、各自の責任で管理しなければなりません。Web学生カルテ等で確認できるのは、成績評価、修得単位数、GPAの値です。卒業および各種免許・資格等に必要な単位の詳細条件は、教育課程表で確認してください。

［4］成績の問合せ

成績評価に疑義があるときは、成績発表後1週間以内に授業担当教員に直接申し出てください。

［5］単位の認定

1）成績評価が「秀(S)・優(A)・良(B)・可(C)・合格」の場合、単位が認定されます。

2）単位が認定された科目は、本人の願い出があっても、その単位の修得を取り消すことはできません。

［6］科目の読替え

入学時の教育課程が卒業するまで適用されますが、再履修では下級学年の教育課程の中から同一の科目を過年次履修します。ただし、下級学年の教育課程の改訂により修得すべき同一の科目がなくなることがあります。このような場合、授業内容・単位等が同じと認められる別の科目を修得することで、本来履修すべき科目を修得したものとみなして読替えることがあります。この履修方法は特別な措置になりますので、事前に各学科教務委員または教務課で確認してください。

1）読替え科目の確認方法

各学科教務委員または教務課で確認してください。

履修対応科目一覧表（年度初めに「まほろばポータル」＞キャビネット掲載）でも確認できます。

2）読替え科目の履修登録方法

Web履修登録はできません。

履修登録ガイドに従い「指定外授業」の履修手続を行ってください。

3）成績の確認方法

成績通知書では履修科目名（読替え前）で成績を通知します。

修得すべき科目に読替えた後の成績は、「Web学生カルテ」で確認してください。

12. 教育課程表の見方

教育課程表には、卒業および免許・資格取得に必要な授業科目、単位数、開講学期等が記載されています。所属する学科の教育課程表を確認してください。

また、取得する免許・資格の教育課程表も確認してください。

授業科目

教育課程表は、学部・学科、免許・資格、入学年度別に定められています。卒業または免許・資格取得に必要な授業科目の履修は、指定された教育課程表により決定してください。

（注意）授業科目名が一文字でも異なる場合（例えばⅠ・Ⅱの相違・有無等）、別の科目として扱われます。また、同じ授業科目名であっても他学科の学生を対象とする授業科目は内容が異なる場合があり、履修が認められないこともあります。

区分

授業科目の分類名を示しています。

科目コード

全ての授業科目に６桁の「科目コード」があり、授業科目名・授業形態・単位数・週時間数が同じ場合は同一の科目コードで示されています。なお、同一名称の授業科目が複数開講されている場合があるため、授業時間割表では下２桁のコード（枝番）を「科目コード」に加えて合計８桁のコードを「履修科目コード」として表示しています。

【例】 授業科目名：「情報処理基礎Ⅰ」の場合　　科目コード：４７５２００

文学部日本文学科　　水曜日３時限　　安田　一郎先生　：４７５２００００

家政学部管理栄養学科　　水曜日４時限　　田中　花子先生　：４７５２００００１

科目コード　枝番

履修科目コード

履修登録の際は、教育課程表の「科目コード」と、授業時間割表の「授業科目名」・「履修科目コード」の上６桁を照合してください。

※履修登録時には、８桁の**「履修科目コード」**の確認が必要です。

※Web履修登録画面等には「履修科目コード」を**「講義コード」**と表示している場合があります。

水準コード

専門教育科目の難易度の目安を示しています。必ずしも学年と一致するものではありません。

【例】

１：入門レベル　（導入的な内容の科目）

２：基礎レベル　（基礎的な内容の科目）

３：専門レベル　（発展的な内容の科目）

４：応用レベル　（卒業論文や卒業研究関連科目）

教育課程表見本

教育課程表[文学部 英語英米文学科]（20●●年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一英	教職免許状 高一英	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究	272500	1	基礎演習	S	1	2								1				○	○	L：講義(Lecture)
		831100	1	リーディング・スキルズⅠ	S	1	2								1			○	○	○	S：演習(Seminar)
		831200	1	リーディング・スキルズⅡ	S	1		2							1			○	○	○	P：実習・実技(Practice)
		405400	2	実用英文法Ⅰ	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
		405500	2	実用英文法Ⅱ	L	2		2							2	2	2	○	○	○	
		187000	2	英語発音演習Ⅰ	S	1	2								1	1	1	○	○	○	
		187100	2	英語発音演習Ⅱ	S	1		2							1	1	1		○	○	
		756900	3	米文学史	L	2						2			2	2	2	○	○	○	
		189900	3	英文学史	L	2					2				2	2	2	○	○	○	
		588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1						2			1				○	○	

授業形態

授業の方法を示しています。

【例】

L：講義（Lecture）
S：演習（Seminar）
P：実習・実技（Practice）

単位数

修得可能な単位数を示しています。
単位数は、授業形態および開講時間数に応じて定められています。（P. 4 参照）

開講学期及び週時間数

「開講学期及び週時間数」の欄に数字が示されている学期が、履修を指定された学期です。この数字は、授業時間数や授業回数を示しています。

【解説】

開講学期及び週時間数欄の数字	意味		備考
	授業形態の種類	授業方法	
1	通常開講	1学期にわたり、**週1時間の授業が15週**又は**週2時間の授業が8週**開講されます。	・②③はクラス別等のグループごとに、表示のあるいずれかの学期で開講されることを示します。
2		1学期にわたり、**週2時間の授業が15週**開講されます。	
3		1学期にわたり、**週3時間の授業が15週**開講されます。	
4		1学期にわたり、**週2回2時間の授業が15週**開講されます。	―
【4】	クオーター開講	クオーター開講の授業科目です。1学期を前半・後半にわけ、**週2回4時間の授業が8週**開講されます。	―
[30]	集中開講	集中講義の授業科目です。**定められた期間に合計30時間**開講されます。	・[15][45][60][90][120]もそれぞれ集中講義で、開講される時間数を示します。 ・[60] [90] はクラス別等のグループごとに、表示のあるいずれかの学期で開講されることを示します。
1 [30]	通常開講＋集中開講	1学期にわたり週1時間の授業が15週と、定められた期間の集中講義[30時間]を組み合わせて開講されます。	―
2 [30]		1学期にわたり週2時間の授業が15週と、定められた期間の集中講義[30時間]を組み合わせて開講されます。	―
〈30〉	変則開講	長期の実習等に対応して変則的に行う授業科目です。定められた日時に合計30時間開講されます。	―

＊2時間＝1時限（1コマ）＝90分

必修科目と選択科目

・必修科目……必ず単位を修得しなければならない科目
必修単位欄に数字、アルファベットが記載された授業科目は、卒業や免許・資格取得のために単位を修得する必要のある授業科目です。数字は、必要な単位数を示しています。アルファベットの説明は備考欄にあります。また、備考欄に必要な単位数を示している場合もあります。よく確認して計画的に履修してください。
・選択必修科目……指定された複数科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目
・選択科目……自由に選択して単位を修得する科目

他学科科目

他学科等の学生が希望すれば履修できる科目を「○」で示しています。ただし、施設・設備・履修者数等の事情により、履修できない場合があります。（P. 14「[5] 他学科科目の履修」参照）

GPA

GPA計算対象となる科目を「○」で示しています。（P. 22「[2] GPA（グレード・ポイント・アベレージ）」参照）

CAP

CAP制の対象となる科目を「○」又は「学科名」で示しています。（P. 9「8. CAP（キャップ）制」参照）

教育課程表［家政学部 造形デザイン学科］（20●●年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	必修単位 インターンシップ実務士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目	583800	1	造形デザイン総論	L	2	2								2		○	○	○	L：講義(Lecture)
		562500	1	生活美学論	L	2	2								2	2	○	○	○	S：演習(Seminar)
		562700	1	生活プロダクトデザイン論	L	2		2							2			○	○	P：実習・実技(Practice)
		351300	1	広告論	L	2			2						2		○	○	○	
		621600	1	デジタルデザイン基礎	L	2	2								2		○	○	○	
		399500	1	色彩学	L	2		2							2	2	○	○	○	
		545610	1	図学	L	2			2						2			○	○	

他学科欄に○のある授業科目は他学科の学生の履修が認められます。GPA欄、CAP欄に○のある授業科目は、それぞれGPA計算対象科目、CAP制対象科目であることを示します。

他学科科目の単位を修得した場合は、自由科目に算入されます（薬学部薬学科、看護学部看護学科を除く）。

対象学科

教育職員免許状に関する科目および資格に関する科目において、履修することができる学科を特定する場合、その対象学科を示します。

［教育職員免許状に関する科目］（20●●年度入学生用）
対象：日文・書道・英文・現心

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 日本文学科 中一国	日本文学科 高一国	日本文学科 高一書	書道学科 中一国	書道学科 高一国	書道学科 高一書	英語英米文学科 中一英	英語英米文学科 高一英	現代心理学科 養教一	他学科	GPA	CAP	対象学科 日文	書道	英文	現心
教育の基礎的理解に関する科目	285300	教育原論	L	2		2							2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	309600	教職論	L	2		2							2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	299100	教育制度論	L	2					2				2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	278902	教育・学校心理学	L	2			2						2	2	2	2	2	2	2	2		○	○		○	○	○	
	278900						2														2	○	○	現心				○
	636500	特別支援教育論 *1	L	1					1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	○	○		○	○	○	○
	283000	教育課程論	L	2				2					2	2	2	2	2	2			2	○	○		○	○		○
										2									2	2		○	○				○	

○のある学科のみ開講されることを示します。

編入学生の教育課程表について

編入学生が教育職員免許状・資格を取得するためには、専門教育科目以外の教育課程表も確認する必要があります。

希望者は各学科教務委員または教務課に申し出てください。

13.　授業計画（シラバス）

［1］「授業計画（シラバス）」について

「授業計画（シラバス）」は、授業科目の「概要」、「目標」、「各回の授業の内容」、「授業外学習へのアドバイス」、「評価の方法」等を示して、授業の体系や構成を明らかにし、学修の支援をするためのものです。『履修の手引』、授業時間割表、カリキュラム・マップと併せて利用してください。

「授業計画（シラバス）」は、その授業を通して「学生は何ができるようになるか」という観点から書かれており、学生の主体的な学びを支援する内容になっています。次の「［2］活用方法」を参考にしながら、積極的に活用してください。

［2］活用方法

・履修登録に際し、授業科目を選択する参考にする。
・各回の授業の内容確認及び予習・復習に役立てる。
・授業の進度を確認する。
・到達目標の達成度を確認する。
・評価方法を確認し、各回の授業、試験に備える。
・他の授業との関係を考える手がかりにする。
・参考文献等によって発展的学修を行う。
・授業外で相談を行いたい場合は各教員のオフィスアワー※を利用する。

※オフィスアワー（OH）：「教員が学生の研究や学生生活についての相談事等に対応するため、研究室に常駐している時間」のことです。
決まり次第、シラバスの「オフィスアワー」欄に掲載します。
前期OH：６月下旬（予定）
後期OH：11月下旬（予定）

［3］閲覧方法

「授業計画（シラバス）」は、インターネットで閲覧することができます。（「まほろばポータル」＞指定リンク「シラバス検索」）

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

特　別　科　目

特別科目「まほろば教養ゼミ」

特別科目「まほろば教養ゼミ」について

特別科目「まほろば教養ゼミ」は、本学が開学当初からの目的としている「人格の完成をめざす」という教育理念を実現するために、チューターが学生と密にコミュニケーションを図りながら、指導助言を行い、学生が自らの人格育成の道筋を修得するための授業です。

特別科目「まほろば教養ゼミ」の科目名称、位置づけ、および授業計画

この授業は、大学１年次から４年次まで開講される必修科目（「まほろば教養ゼミⅠ～Ⅳ」）です。各授業それぞれが通年科目で１年間を通して開講され、単位数は１単位です。

この授業は、クラス単位で行われ、各クラスのチューターにより実施されることを原則とし、それに加えて、学長講話、招聘教授講演会、各種講演会等に参加することにより、様々なことを学びます。この授業は、「安田を知る」「学びを知る」「自分を知る」「社会を知る」という４つの大きな柱を中心に据えて行われます。

「安田を知る」では、学園訓である「柔しく剛く」のもと、本学の歴史を学ぶと同時に、今日までに築かれてきた本学の伝統を理解し、本学の一員としての自覚を深め、自分自身を形成していく基礎をかためていきます。

「学びを知る」では、大学における学びとは何かを理解し、本学において自分自身の学び方を獲得し、広く教養を身につけると共に、専門課程において、さらに深い学問へと導く道筋を確認します。

「自分を知る」では、本学の一学生として自分を見つめ直し、本学の伝統に則って行動できる人間を形成することに努めます。さらに、他者と関わり、主体的に行動することのできる自分自身を作り上げていきます。

「社会を知る」では、卒業後、社会の一員として活躍することのできる人間となるための知識を養うことを目的とします。

テキストは、『夜雨滴録』『学びを知る』を中心として、本学広報誌「まほろば」に掲載された「学長のことば」など、チューターが適宜補足する資料をもとに行われます。

授業内容は、「授業計画（シラバス）」を参照してください。

また、社会生活における手書き文字の重要性に照らし、快い印象を与える手書き文字の修得を目的とした硬筆書写講座が「まほろば教養ゼミ」の一環として開設されます。硬筆書写講座は「まほろば教養ゼミ」の単位修得の基礎条件です。「まほろば教養ゼミⅡ」はステップ１～５まで、「まほろば教養ゼミⅢ」はステップ６～10までの見極めを期限内に取得する必要があります。講座の進め方の詳細は、テキストを参照してください。

教育課程表［特別科目］

文学部・教育学部・心理学部・現代ビジネス学部・家政学部・薬学部・看護学部 *1・理工学部（2026年度入学生用）

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数								必修単位	GPA	CAP	備考
					1年		2年		3年		4年					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
特別科目	900000	まほろば教養ゼミⅠ	S	1	2	2							1			※週２時間には学校行事を含む。
	900100	まほろば教養ゼミⅡ	S	1			2	2					1			※GPA欄に〇印のある科目はGPA計算対象科目である。
	900200	まほろば教養ゼミⅢ	S	1					2	2			1			※CAP欄に〇印のある科目はCAP制対象科目である。
	900300	まほろば教養ゼミⅣ	S	1							2	2	1			

＜各種免許・資格について＞

＊1:看護学部看護学科では、［特別科目］は卒業必修科目であるとともに、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に規定する「基礎分野」の必修科目に対応する。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

共 通 教 育 科 目

- キャリア科目
- 教養科目
- 基礎科目

共通教育科目

共通教育科目について

大学の授業では、さまざまな分野で多くのことを学び、自分自身でじっくり考え、理解力を養い、豊かな教養を身につけ、それらをこれからの人生の糧としてほしいと願っています。また、社会に出て役に立つさまざまな知識、技能を自分の中に取り入れ、十分活用してほしいという願いから、共通教育科目を設けています。

共通教育科目の構成と開設科目

共通教育科目は大きく分けて、キャリア科目、教養科目、および基礎科目に分かれています。各授業科目は学科別に授業が行われるのではなく、全学部全学科に共通して開講されます。

1 ）キャリア科目

「生きる」「学ぶ」「働く」「奉仕」をキーワードに、働き方さらには生き方を考える科目です。進路・職業選択を考え、目標を持って学生生活を充実させながら、特別科目および共通教育科目における教養科目・基礎科目、そして専門教育科目を学ぶための力を高めることも、重要なねらいとしています。社会人のスタートとしての満足度の高い就職も視野においた、自己の探究を目的としています。

キャリア科目には、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「ボランティア活動」「インターンシップ」「職と食―パティシエ実習」があります。

2 ）教養科目

教養科目は、人間理解、社会理解、国際理解、科学技術理解という４つの分野において、大学生が興味を持つテーマを準備し、わかりやすい授業を展開しています。幅広い教養を身につけ、それをひとつのステップとして、それぞれの分野で柔軟な考え方をもって、より深い学問の修得へと発展させていくことを願うとともに、大学生活を有意義に過ごすことを目的としています。

教養科目の授業科目には、講義題目が異なる複数の科目が開設されている場合があります。各授業科目から１つに限り履修することができます。同じ授業科目名の、異なる講義題目を重複して履修することはできません。

3 ）基礎科目

基礎科目は、①情報処理科目、②健康スポーツ科目、③外国語科目、④基礎養成科目に分かれています。

①情報処理科目

パソコンやスマートフォンに代表される情報通信機器や情報通信環境は、文字どおり日進月歩の劇的な変化を続けています。コンピュータを自由自在に使いこなせるリテラシーの修得、情報革命とよばれる変化の本質を理解し対応するための基礎的な能力の修得、AIやビッグデータに対応したデータサイエンスの解析能力およびPythonをはじめとするプログラミング技術の修得、生成ＡＩや情報セキュリティの取り扱いに関する知識等は、情報化社会を生きていくために必要不可欠です。これらをふまえ、情報処理科目の履修を通して情報処理に関する基礎的な力を身につけることを目的としています。

情報処理科目には、１年次に開講される「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」と２年次以降に開講される「情報処理演習Ａ～Ｄ」があります。

②健康スポーツ科目

今日の若者の身体やその能力について語られるとき、「体格」はよくなったが「体力」は落ちた、という指摘がなされています。また、人間関係におけるストレスや生活習慣病など心身の健康問題も課題とされています。若者がこれからの時代を担うリーダーとして育っていくときの基礎には「健康なこころとからだ」が必要不可欠です。スポーツを通して、生きる力の基礎となる健康の増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活をつくりだすために健康スポーツ科目を設定しています。

健康スポーツ科目には「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」と「野外活動」があります。

③外国語科目

今日の国際社会においては、世界で活躍するためにも、外国語学習は今後ますます重要となります。外国語を学ぶということは、単にその国の言語を理解するだけではなく、その国の文化や人々の考え方を総合的に理解することを意味します。

それを実現するためにも本学の外国語科目は、「聞く」「話す」「読む」「書く」の技能を養成するとともに、受信型学習よりも発信型学習に重きを置き、外国語によるコミュニケーション能力を育成することを大きな目的としています。

外国語科目には、「英語リーディングⅠ・Ⅱ」「英語ライティングⅠ・Ⅱ」「英語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」「中国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」「韓国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」に加えて、実際に海外で研修を行う「欧米文化語学演習」と「中国文化語学演習」があります。

④基礎養成科目

大学における授業は、それぞれの分野における専門の知識を学ぶ場です。そのためには、それぞれの分野において、ある程度の基礎知識が必要です。基礎養成科目は、それらの基礎知識を補うために設けられた科目です。この授業は、専門の授業を十分に理解し確実に自分のものとするために、これまでに習った内容で十分に理解していなかった箇所を含めて改めて学習し、基礎知識の整理、確認を行い、今後の大学における授業の理解に結びつけていくために設定されています。

基礎養成科目には、「基礎国語演習」「基礎社会演習」「基礎数学演習」「基礎理科演習」「基礎生物演習」「基礎化学演習」「基礎物理演習」があります。

履修登録方法

授業科目によって履修登録の日程・方法が異なります。各学期初めにまほろばポータルに掲載される「履修登録ガイド」を参照してください。

教育課程表［共通教育科目（１）キャリア科目］

文学部･教育学部･心理学部･現代ビジネス学部･家政学部･薬学部･看護学部 ＊1 ･理工学部（2026年度入学生用）

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	備考
キャリア科目	278300	キャリアデザインⅠ	L	2	2									○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。 ※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	278400	キャリアデザインⅡ	L	2				2						○	○	
	787500	ボランティア活動	S	2		②		②						○	○	
	144900	インターンシップ	S	2					2[20]					○		
	481500	職と食ーパティシエ実習	P	1		③		③		③		③		○	○	

＜各種免許・資格について＞

＊1:看護学部看護学科では、［共通教育科目　キャリア科目］は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に規定する「基礎分野」の選択必修科目に対応する。

教育課程表［共通教育科目（２）教養科目］

文学部･教育学部･心理学部･現代ビジネス学部･家政学部･薬学部･看護学部 ＊4 ･理工学部（2026年度入学生用）

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 前期	後期	必修単位	GPA	CAP	備考
人間理解	A15100	人間論Ａ	L	2	②	②		○	○	※開講学期は、原則として記載の学期に開講するが、非開講となる場合があるので、授業時間割を確認して履修計画を立てること。 ※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。 ※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	A15200	人間論Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A11900	こころの科学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A12000	こころの科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A14100	からだの科学Ａ ＊2	L	2	②	②		○	○	
	A14200	からだの科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A14300	からだの科学Ｃ	L	2	②	②		○	○	
	A13800	人間形成の科学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A13900	人間形成の科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A12100	ことばの世界Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A12200	ことばの世界Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A13400	日本の文学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A13500	日本の文学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A13000	世界の文学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A13100	世界の文学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A10900	芸術Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A11000	芸術Ｂ	L	2	②	②		○	○	
社会理解	A11300	現代社会と人間Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A11400	現代社会と人間Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A15300	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）＊3	L	2	②	②		○	○	
	A10400	21世紀の社会と法Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A10100	21世紀の経済Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A10200	21世紀の経済Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A10210	21世紀の経済Ｃ	L	2	②	②		○	○	
	A11500	現代のビジネスＡ	L	2	②	②		○	○	
	A11600	現代のビジネスＢ	L	2	②	②		○	○	
	A11100	現代社会と政治Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A11200	現代社会と政治Ｂ	L	2	②	②		○	○	
国際理解	A10500	異文化理解Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A10600	異文化理解Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A13600	日本の歴史と文化Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A13700	日本の歴史と文化Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A13200	世界の歴史と文化Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A13300	世界の歴史と文化Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A11700	国際協力Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A11800	国際協力Ｂ	L	2	②	②		○	○	
科学技術理解	A12700	数学の世界	L	2	②	②		○	○	
	A12300	自然科学の世界Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A12400	自然科学の世界Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A12500	自然科学の世界Ｃ	L	2	②	②		○	○	
	A14800	生命の科学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A14900	生命の科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A15000	生命の科学Ｃ	L	2	②	②		○	○	
	A14400	環境の科学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A14500	環境の科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A12800	生活の科学Ａ	L	2	②	②		○	○	
	A12900	生活の科学Ｂ	L	2	②	②		○	○	
	A12600	情報の科学	L	2	②	②		○	○	

＜各種免許・資格について＞

＊2:「からだの科学Ａ」は、基礎科目「健康スポーツＡ～Ｃ」のうちのいずれか１科目と併せて履修することで教職必修「体育」２単位に対応する。
編入学生は、編入学以前の単位修得状況により「体育(認定)」２単位の単位認定を以って、教職必修「体育」２単位に対応する。

＊3:「21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）」は、教職必修「日本国憲法」２単位に対応する。

＊4:看護学部看護学科では、［共通教育科目　教養科目］は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に規定する「基礎分野」の選択必修科目に対応する。

教育課程表［共通教育科目（３）基礎科目］　　共通2026ー2/2

文学部・教育学部・心理学部・現代ビジネス学部・家政学部・薬学部・看護学部*8　・理工学部（2026年度入学生用）

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	備考
情報処理科目	475200	情報処理基礎Ⅰ *5	S	1	2								4単位以上	○	○	※開講学期は、原則として記載の学期に開講するが、非開講となる場合があるので、授業時間割を確認して履修計画を立てること。
	475300	情報処理基礎Ⅱ *5	S	1	2									○	○	
	475400	情報処理基礎Ⅲ *5	S	1		2								○	○	
	475500	情報処理基礎Ⅳ *5	S	1		2								○	○	※授業科目名にⅠ・ⅡあるいはⅢ・Ⅳの番号のある科目は原則として、番号順に履修すること。ただし、「英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ」を除く。
	475600	情報処理演習Ａ	S	1			2							○	○	
	475700	情報処理演習Ｂ	S	1				2						○	○	
	475800	情報処理演習Ｃ	S	1					2					○	○	
	475900	情報処理演習Ｄ	S	1						2				○	○	※「情報処理演習Ａ～Ｄ」の履修は、原則として「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」を履修したことを条件とする。
健康スポーツ科目	329300	健康スポーツＡ *6	P	1	②	②	②	②	②	②	②	②		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
	329400	健康スポーツＢ *6	P	1	②		②		②		②			○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	329500	健康スポーツＣ *6	P	1		②		②		②		②		○	○	
	810100	野外活動	P	2	〔60〕		〔60〕		〔60〕		〔60〕			○		
外国語科目	188700	英語リーディングⅠ	S	1	2								4単位以上（注）	○	○	※「英語ライティングⅠ・Ⅱ」および「英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ」は、原則として「　」内の組み合わせを履修すること。
	188800	英語リーディングⅡ	S	1		2								○	○	※外国語科目の開講学期及び週時間数欄の②は、所属学科の指定する時期に履修すること。
	188200	英語ライティングⅠ	S	1			2							○	○	
	188300	英語ライティングⅡ	S	1				2						○	○	
	182000	英語コミュニケーションⅠ *7	S	1	2									○	○	
	182100	英語コミュニケーションⅡ *7	S	1		2								○	○	（注）日本文学科および書道学科の必修単位には、「中国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」の単位を含めることができる。
	182200	英語コミュニケーションⅢ *7	S	1			②	②					6単位以上	○	○	
	182300	英語コミュニケーションⅣ *7	S	1			②	②						○	○	
	605600	中国語コミュニケーションⅠ *7	S	1			2							○	○	
	605700	中国語コミュニケーションⅡ *7	S	1				2						○	○	
	605800	中国語コミュニケーションⅢ *7	S	1					2					○	○	
	605900	中国語コミュニケーションⅣ *7	S	1						2				○	○	※開講学期欄の②・〔60〕・2〔30〕は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
	265500	韓国語コミュニケーションⅠ *7	S	1			2							○	○	
	265501	韓国語コミュニケーションⅡ *7	S	1				2						○	○	
	265502	韓国語コミュニケーションⅢ *7	S	1					2					○	○	
	265503	韓国語コミュニケーションⅣ *7	S	1						2				○	○	
	211600	欧米文化語学演習	S	2		〔60〕		〔60〕		〔60〕						
	610900	中国文化語学演習	S	2	2〔30〕		2〔30〕		2〔30〕		2〔30〕					
基礎養成科目	273100	基礎国語演習	S	1	②	②								○	○	※基礎養成科目は、４単位を上限として共通教育科目３２単位に算入することができる。
	273200	基礎社会演習	S	1	②	②								○	○	
	273300	基礎数学演習	S	1	②	②								○	○	
	273800	基礎理科演習	S	1		2								○	○	
	273400	基礎生物演習	S	1	2									○	○	
	272900	基礎化学演習	S	1	2									○	○	
	273600	基礎物理演習	S	1	2									○	○	

＜各種免許・資格について＞

*5:「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」は、教職必修科目の「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に対応する。教育職員免許状の取得を希望するものは「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」の中から２単位以上を修得すること。

*6:「健康スポーツＡ～Ｃ」は、教養科目「からだの科学Ａ」と併せて履修することで教職必修「体育」２単位に対応する。編入学生は、編入学以前の単位修得状況により「体育(認定)」２単位の単位認定を以って、教職必修「体育」２単位に対応する。

*7:「英語・中国語・韓国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」は教職必修科目の「外国語コミュニケーション」に対応する。教育職員免許状の取得を希望するものは「英語・中国語・韓国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」の中から２単位以上を修得すること。

*8:看護学部看護学科では、［共通教育科目　基礎科目］は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に規定する「基礎分野」の選択必修科目に対応する。そのうち「情報処理科目」から４単位以上、「外国語科目」から６単位以上を修得すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

文学部　日本文学科

教育課程表［文学部 日本文学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一国	高一国	高一書	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究		656000	1	日本語学概説Ⅰ	L	2	2								2	2	2		○	○	○	L：講義(Lecture)
			656100	1	日本語学概説Ⅱ	L	2		2							2	2	2		○	○	○	S：演習(Seminar)
			672000	1	日本文学概論Ⅰ	L	2	2								2	2	2	2	○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			677100	1	日本文化論Ⅰ	L	2	2								2				○	○	○	
			608000	1	中国文学概論Ⅰ	L	2	2								2	2	2	2	○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は31単位、選択科目は41単位を修得し、41単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			662500	1	日本文化文学基礎演習Ⅰ	S	1	2								1					○	○	
			662600	1	日本文化文学基礎演習Ⅱ	S	1		2							1					○	○	
			354600	1	硬筆書写	S	2	2								2	2		2		○	○	
		日本語学 日本文学	668100	2	日本語文章表現演習	S	1			2						1	1	1		○	○	○	
			675000	2	日本文学史Ⅰ	L	2			2						2	2	2	2	○	○	○	
			671500	2	日本文学演習Ⅰ	S	1			2						1	1	1	1		○	○	
			671600	2	日本文学演習Ⅱ	S	1				2					1	1	1	1		○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
		日本文化	676100	2	日本文化史Ⅰ	L	2			2						2				○	○	○	
			671100	2	日本文化演習Ⅰ	S	1			2						1					○	○	
			671200	2	日本文化演習Ⅱ	S	1				2					1					○	○	
		中国文学	606500	2	中国文学演習Ⅰ	S	1			2						1	1	1	1		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			606600	2	中国文学演習Ⅱ	S	1				2					1	1	1	1		○	○	
		卒業研究	588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1					○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1					○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1					○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
			588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1					○	○	
			588000	4	卒業論文		2							○		2					○	○	

教育課程表［文学部 日本文学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一国	高一国	高一書	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	領域科目	日本語学日本文学	655000	1	日本語音声学	L	2		2							41単位以上	2	2		○	○	○	※週時間数欄の［　］は集中講義
			658500	2	日本語学講読Ⅰ	L	2			2							(2)	A			○	○	
			658600	2	日本語学講読Ⅱ	L	2				2						(2)	A			○	○	
			668600	2	日本語文法論	L	2				2						2	2		○	○	○	
			663900	3	日本語史	L	2					2					2	2		○	○	○	
			667800	3	日本語口頭表現演習	S	1						2				1	1			○	○	
			672100	1	日本文学概論Ⅱ	L	2		2								2	2	2	○	○	○	
			675100	2	日本文学史Ⅱ	L	2				2						(2)	A	(2)	○	○	○	
			675400	3	日本文学読解研究Ⅰ	S	1					2					1	1	(1)		○	○	
			675500	3	日本文学読解研究Ⅱ	S	1						2				1	1	(1)		○	○	
			674000	3	日本文学講義Ⅰ	L	2					2					(2)	A	(2)	○	○	○	
			674100	3	日本文学講義Ⅱ	L	2						2				(2)	A	(2)	○	○	○	
		日本文化	677200	1	日本文化論Ⅱ	L	2		2											○	○	○	
			676200	2	日本文化史Ⅱ	L	2				2									○	○	○	
			376100	2	古文書学Ⅰ	L	2			2											○	○	
			376200	2	古文書学Ⅱ	L	2				2										○	○	
			653000	3	日本言語文化	L	2					2								○	○	○	
			666000	1	日本語と放送文化	L	2		2											○	○	○	
			665000	2	日本語と映像文化	L	2			2										○	○	○	
			676600	3	日本文化と出版	L	2					2								○	○	○	
		中国文学	608100	1	中国文学概論Ⅱ	L	2		2								2	2	2	○	○	○	
			608500	3	中国文学講読Ⅰ	L	2					2					(2)	A	(2)		○	○	
			608600	3	中国文学講読Ⅱ	L	2						2				(2)	A	(2)		○	○	
		書道	495000	1	書道概論	L	2		2								2		2	○	○	○	
			499100	2	書道史Ⅰ	L	2			2									2	○	○	○	
			499200	2	書道史Ⅱ	L	2				2								2	○	○	○	
			235500	1	楷書Ⅰ	S	2	2									(2)		2	○	○	○	
			279700	1	行・草書Ⅰ	S	2		2								(2)		2	○	○	○	
			251800	2	仮名Ⅰ	S	2			2							(2)		2	○	○	○	
			257500	2	漢字仮名交じりの書Ⅰ	S	2				2						(2)		2	○	○	○	
			491810	3	書写	S	2						2				2		2	○	○	○	
			506000	2	書論	L	2				2								2	○	○	○	
			259000	3	鑑賞	L	2						2						(2)	○	○	○	
		領域関連	751200	2	文学理論Ⅰ	L	2			2										○	○	○	
			751300	2	文学理論Ⅱ	L	2				2									○	○	○	
			332000	2	言語学概論Ⅰ	L	2			2										○	○	○	
			332100	2	言語学概論Ⅱ	L	2				2									○	○	○	
			752500	2	文芸創作論	L	2			2										○	○	○	
			339600	3	現代小説論	L	2							2						○	○	○	
			610000	3	中国文化論Ⅰ	L	2					2								○	○	○	
			610100	3	中国文化論Ⅱ	L	2						2							○	○	○	
			650000	3	日本文化文学実地研究Ⅰ	L	2					2								○	○	○	
			650100	3	日本文化文学実地研究Ⅱ	P	2						2[30]							○	○	○	

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：必修単位欄から、A＝4単位以上修得すること。「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。教職免許状欄に（　）のある科目は選択科目である。

※各種資格（学校図書館司書教諭、司書、学芸員、日本語教員）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許・資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

文学部　書道学科

教育課程表［文学部 書道学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 高一書	高一国	中一国	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究	書学基礎	274800	1	基礎ゼミ	S	1	2								1					○	○	L：講義(Lecture)
			495000	1	書道概論	L	2		2							2	2		2	○	○	○	S：演習(Seminar)
			499100	2	書道史Ⅰ	L	2			2						2	2			○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			499200	2	書道史Ⅱ	L	2				2					2	2			○	○	○	
			255810	2	カリグラフィックデザイン	L	2				2					2				○	○	○	
		表現基礎	354600	1	硬筆書写	S	2	2								2	(2)		(2)		○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は35単位、選択科目は37単位を修得し、37単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			235500	1	楷書Ⅰ	S	2	2								2	2		2		○	○	
			235600	1	楷書Ⅱ	S	2		2							2	(2)		(2)		○	○	
			279700	1	行・草書Ⅰ	S	2	2								2	2		2		○	○	
			279800	1	行・草書Ⅱ	S	2		2							2	(2)		(2)		○	○	
			251800	1	仮名Ⅰ	S	2	2								2	2		2		○	○	
			251900	1	仮名Ⅱ	S	2		2							2	(2)		(2)		○	○	
			622700	2	篆・隷書Ⅰ	S	2			2						2	2				○	○	
			257400	2	漢字仮名交じりの書	S	2			2						2	2		2		○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			504000	1	書道特殊実習Ⅰ	P	1	1[30]								1	1				○	○	
			504100	1	書道特殊実習Ⅱ	P	1		1[30]							1	(1)				○	○	
			504200	2	書道特殊実習Ⅲ	P	1			1[30]						1	1				○	○	
			504300	2	書道特殊実習Ⅳ	P	1				1[30]					1	(1)				○	○	
		卒業研究	588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1							2		1					○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1								2	1					○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
			588000	4	卒業論文		2							○		2					○	○	

教育課程表［文学部 書道学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 高一書	高一国	中一国	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	書学領域	376100	2	古文書学Ⅰ	L	2			2						37単位以上					○	○	※週時間数欄の［　］は集中講義
			374100	3	古筆と墨跡	L	2					2									○	○	
			505700	3	書と現代社会	L	2					2									○	○	
			506000	2	書論	L	2				2						2			○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			578500	3	石碑と法帖	L	2				2						(2)			○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			259000	3	鑑賞	L	2						2				(2)			○	○	○	
			404600	2	執筆理論	L	2			[30]							(2)				○	○	
			738310	3	表具と修復	L	1			[15]							(1)			○	○	○	
			499500	3	書道実地研究	P	1						1[30]				1				○	○	
		表現領域	399500	2	色彩学	L	2				2									○	○	○	
			231300	2	絵画・デッサン	P	1			2											○	○	
			279900	2	行・草書Ⅲ	S	2			2							(2)				○	○	
			622710	2	篆・隷書Ⅱ	S	2				2						(2)				○	○	
			624300	2	篆刻・刻字	S	2				2						2				○	○	
			372500	3	古典研究	L	2					2					(2)		(2)		○	○	
			586400	3	創作研究	L	2					2					(2)		(2)		○	○	
			255800	3	カリグラフィックプレゼンテーション	S	2					2									○	○	
			590320	3	タイポグラフィ	S	2					2									○	○	
			621530	3	デジタルデザイン	S	2						2								○	○	
			491810	3	書写	S	2						2				2		2	○	○	○	
			531000	3	水墨画	S	2						2				(2)				○	○	
			387000	3	作品研究	L	2						2				(2)		(2)		○	○	
			588910	3	卒業作品研究	L	2							1[15]			(2)		(2)		○	○	
			504400	3	書道特殊実習Ⅴ	P	1					1[30]					1				○	○	
			504800	3	書道特殊実習Ⅵ	P	1						1[30]				(1)				○	○	
	関連科目		656000	1	日本語学概説Ⅰ	L	2	2										2	2	○	○	○	
			656100	1	日本語学概説Ⅱ	L	2		2									2	2	○	○	○	
			655000	1	日本語音声学	L	2		2									2	2	○	○	○	
			668100	2	日本語文章表現演習	S	1			2								1	1	○	○	○	
			667800	3	日本語口頭表現演習	S	1						2					1	1		○	○	
			658500	2	日本語学講読Ⅰ	L	2			2								2	(2)		○	○	
			658600	2	日本語学講読Ⅱ	L	2				2							2	(2)		○	○	
			663900	3	日本語史	L	2					2						2	(2)	○	○	○	
			672000	1	日本文学概論Ⅰ	L	2	2									2	2	2	○	○	○	
			672100	1	日本文学概論Ⅱ	L	2		2								2	2	2	○	○	○	
			675000	2	日本文学史Ⅰ	L	2			2							(2)	2	2	○	○	○	
			671500	2	日本文学演習Ⅰ	S	1			2							(1)	1	(1)		○	○	
			671600	2	日本文学演習Ⅱ	S	1				2						(1)	1	(1)		○	○	
			608000	1	中国文学概論Ⅰ	L	2	2									2	2	2	○	○	○	
			608100	1	中国文学概論Ⅱ	L	2		2								2	2	2	○	○	○	
			606500	2	中国文学演習Ⅰ	S	1			2							(1)	1	(1)		○	○	
			606600	2	中国文学演習Ⅱ	S	1				2						(1)	1	(1)		○	○	
			608500	3	中国文学講読Ⅰ	L	2					2					(2)	2	2		○	○	
			608600	3	中国文学講読Ⅱ	L	2						2				(2)	2	(2)		○	○	
			677100	1	日本文化論Ⅰ	L	2	2												○	○	○	
			677200	1	日本文化論Ⅱ	L	2		2											○	○	○	
			676100	2	日本文化史Ⅰ	L	2			2										○	○	○	
			676200	2	日本文化史Ⅱ	L	2				2									○	○	○	
			610000	3	中国文化論Ⅰ	L	2					2								○	○	○	
			610100	3	中国文化論Ⅱ	L	2						2							○	○	○	

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。教職免許状欄に（　）のある科目は選択科目である。

※各種資格（学校図書館司書教諭、司書、学芸員）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

文学部　英語英米文学科

教育課程表[文学部 英語英米文学科]（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一英	教職免許状 高一英	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究	272500	1	基礎演習	S	1	2								1				○	○	L：講義(Lecture)
		831100	1	リーディング・スキルズⅠ	S	1	2								1			○	○	○	S：演習(Seminar)
		831200	1	リーディング・スキルズⅡ	S	1		2							1			○	○	○	P：実習・実技(Practice)
		405400	2	実用英文法Ⅰ	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
		405500	2	実用英文法Ⅱ	L	2		2							2	2	2	○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は33単位、選択科目は39単位を修得し、39単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
		187000	2	英語発音演習Ⅰ	S	1	2								1	1	1	○	○	○	
		187100	2	英語発音演習Ⅱ	S	1		2							1	1	1		○	○	
		143100	1	イングリッシュ・コミュニケーションⅠ	S	1	2								1	1	1	○	○	○	
		143200	1	イングリッシュ・コミュニケーションⅡ	S	1		2							1	1	1		○	○	
		824000	1	ライティング・スキルズⅠ	S	1	2								1	1	1		○	○	
		824010	1	ライティング・スキルズⅡ	S	1		2							1	1	1		○	○	
		114300	2	アメリカの社会と文化	L	2			2						2				○	○	
		143300	2	イングリッシュ・コミュニケーションⅢ	S	1			2						1	(1)	(1)		○	○	
		102000	3	アドバンスト・コミュニケーションⅠ	S	2					2				2	(2)	(2)		○	○	
		102100	3	アドバンスト・コミュニケーションⅡ	S	2				②		②			2	(2)	(2)		○	○	
		756900	3	米文学史	L	2						2			2	2	2	○	○	○	
		177000	3	英語学概論Ⅰ	L	2					2				2	2	2	○	○	○	
		177100	3	英語学概論Ⅱ	L	2				②		②			2	2	2	○	○	○	
		189900	3	英文学史	L	2					2				2	2	2	○	○	○	
		588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1						2			1				○	○	
		588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1							2		1				○	○	
		588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1								2	1				○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
		588000	4	卒業論文		2							○		2				○	○	

教育課程表[文学部 英語英米文学科]（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一英	教職免許状 高一英	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	領域科目	英語基礎技能	405900	1	実用英語Ⅰ	S	2	2								39*1 単位以上				○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			405910	1	実用英語Ⅱ	S	2		2											○	○	
			375500	1	コミュニケーション学入門	L	2	2												○	○	
			841100	2	リスニング・スキルズ	S	1			2										○	○	
			202700	2	エッセイ・ライティング	S	2			2							2	2	○	○	○	
			147400	2	インテンシブ・リーディング	S	1			2							1	1	○	○	○	*1 留学に参加した者は、16単位を上限に、安田女子大学留学規程にもとづいて「海外研修における認定」として一括認定し、領域科目の39単位に算入する。
			405920	2	実用英語Ⅲ	S	2			2										○	○	
			185300	3	英語とキャリア	L	2					②		②						○	○	
			458700	3	上級実用英語Ⅰ	S	2					2								○	○	
			458710	3	上級実用英語Ⅱ	S	2						2							○	○	
			458720	3	上級実用英語Ⅲ	S	2							2						○	○	
			458730	3	上級実用英語Ⅳ	S	2								2					○	○	
		英語応用技能	400500	3	時事英語	S	2						②		②				○	○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			788000	3	翻訳ワークショップⅠ	S	2					②		②			(2)	(2)	○	○	○	
			788100	3	翻訳ワークショップⅡ	S	2				②		②		②		(2)	(2)	○	○	○	
			615700	3	通訳ワークショップⅠ	S	2					②		②					○	○	○	
			615800	3	通訳ワークショップⅡ	S	2				②		②		②				○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。なお、「海外研修における認定」はGPA計算対象外である。
			615520	3	通訳翻訳概論	L	2			2										○	○	
			615510	3	通訳実習指導	S	1						②		②					○	○	
			615500	3	通訳実習	P	1							[30]						○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			185600	3	英語とグローバル・ツーリズム	S	2				②		②		②				○	○	○	
		英語学・言語学	405600	3	実用英文法Ⅲ	L	2			2							2	2	○	○	○	
			332000	3	言語学概論Ⅰ	L	2					②		②					○	○	○	
			332100	3	言語学概論Ⅱ	L	2				②		②						○	○	○	
			417700	3	シナリオ英語Ⅰ	S	2					②		②						○	○	
			417800	3	シナリオ英語Ⅱ	S	2				②		②		②					○	○	
			181800	3	英語学文献講読	L	2					②		②			(2)	(2)	○	○	○	
			183900	3	英語史	L	2				②		②		②		2	2	○	○	○	
			183200	3	英語教育ワークショップ	S	2						2							○	○	
			427000	3	社会言語学	L	2							2					○	○	○	
			525000	3	心理言語学	L	2							2					○	○	○	
		英米文学	193400	2	英米演劇ワークショップ	S	2				②		②		②		(2)	(2)		○	○	
			188400	2	英語文学入門	L	2			2									○	○	○	
			197200	3	英米児童文学講読	L	2					②		②			(2)	(2)	○	○	○	
			199600	3	英米小説講読Ⅰ	L	2					②		②			2	2	○	○	○	
			199700	3	英米小説講読Ⅱ	L	2				②		②		②		(2)	(2)	○	○	○	
			195500	3	英米詩講読	L	2				②		②		②		(2)	(2)	○	○	○	
		異文化理解	140400	2	異文化理解	S	2			2							2	2	○	○	○	
			139000	3	異文化コミュニケーションⅠ	L	2					②		②			2	2	○	○	○	
			139100	3	異文化コミュニケーションⅡ	L	2						②		②		(2)	(2)	○	○	○	
			101000	3	アジアの社会と文化	L	2					②		②					○	○	○	
			132600	3	イギリスの社会と文化	L	2						②		②				○	○	○	
			185400	3	英語と社会	L	2					②		②					○	○	○	
			645400	3	日英米文学比較論	L	2						②		②				○	○	○	

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。
教職免許状欄に（　）のある科目は選択科目である。

※各種資格（学校図書館司書教諭、日本語教員）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

教育学部　児童教育学科

教育課程表[教育学部 児童教育学科]（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 小一種	教職免許状 幼一種	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究	教育学	309600	1	教職論	L	2	2								2	2	2	○	○	○	L：講義(Lecture)
			285300	1	教育原論	L	2	2								2	2	2	○	○	○	S：演習(Seminar)
			283000	2	教育課程論	L	2			2						2	2	2	○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			304200	2	教育方法論	L	2				2					2	2	2	○	○	○	
			299100	3	教育制度論	L	2					2				2	2	2	○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は69単位、選択科目は3単位を修得し、3単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			636500	3	特別支援教育論 *1	L	1					1				1	1	1	○	○	○	
			813000	1	幼児教育学	L	2	2								2		2	○	○	○	
		心理学	715100	1	発達心理学Ⅰ	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
			278901	2	教育・学校心理学	L	2			2						2	2	2	○	○	○	
			299600	3	教育相談の理論と方法	L	2					2				2	2	2	○	○	○	
		卒業研究	588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1						2			1				○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1							2		1				○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1								2	1				○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、4年前期に履修登録をすること。
			588000	4	卒業論文		2							○		2				○	○	
	領域科目	教育学	144800	3	インクルーシブ教育法	L	2							2						○	○	
			632200	2	道徳教育論	L	2				2					2	2		○	○	○	
			569200	3	生徒指導・進路指導論	L	2					2				2	2		○	○	○	
			635400	3	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			476600	2	情報通信技術の活用 *1	L	1			1						1	1		○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		心理学	715200	2	発達心理学Ⅱ	L	2		2								(2)	B	○	○	○	
			298400	3	教育心理学演習 *1	S	1						1				(1)	B		○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		教育学	498000	2	初等国語Ⅰ	L	2		2							2	2		○	○	○	
			498110	2	初等国語Ⅱ *1	L	1			1							(1)			○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			273000	2	基礎書道	S	1						2			1	1		○	○	○	
			500000	2	初等社会Ⅰ	L	2		2							2	2		○	○	○	
			500110	2	初等社会Ⅱ *1	L	1			1							(1)			○	○		
			501000	2	初等数学Ⅰ	L	2		2							2	2		○	○	○	
			501110	2	初等数学Ⅱ *1	L	1			1							(1)			○	○	※授業科目欄に *1 のある科目は15時間授業である。
			505200	2	初等理科Ⅰ	L	2		2							2	2		○	○	○	
			505310	2	初等理科Ⅱ *1	L	1			1							(1)			○	○		
			720000	1	ピアノ演奏法Ⅰ	P	1	2									(1)	1		○	○	
			720100	1	ピアノ演奏法Ⅱ	P	1		2								(1)	1		○	○	
			554000	2	生活環境論	L	2			2						2	2	B	○	○	○	
			218700	2	音楽Ⅰ	S	1	2								1	1	B	○	○	○	
			218800	2	音楽Ⅱ	S	1		2								(1)	B		○	○	
			545700	2	図画工作Ⅰ	S	1	2								1	1	B	○	○	○	
			545800	2	図画工作Ⅱ	S	1		2								(1)	B		○	○	
			496010	2	初等家政	S	1			2						1	1		○	○	○	
			502000	2	初等体育Ⅰ	S	1		2							1	1	B	○	○	○	
			502100	2	初等体育Ⅱ	S	1			2							(1)	B		○	○	
			494400	2	初等英語Ⅰ	L	2			2						2	2		○	○	○	
			494420	2	初等英語Ⅱ *1	L	1				1						(1)			○	○	
			810000	2	野外活動演習	S	2			[60]							(2)	B		○		※週時間数の［ ］は集中講義
			357300	3	国語科教育法	L	2				2					2	2		○	○	○	
			357500	3	国語科教育法演習 *1	S	1					1					(1)			○	○	
			421000	3	社会科教育法	L	2				2					2	2		○	○	○	
			421500	3	社会科教育法演習 *1	S	1					1					(1)			○	○	
			393900	3	算数科教育法	L	2				2					2	2		○	○	○	
			394200	3	算数科教育法演習 *1	S	1					1					(1)			○	○	
			831910	3	理科教育法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			840200	3	理科教育法演習 *1	S	1						1				(1)			○	○	
			553000	3	生活科教育法	L	2				2					2	2		○	○	○	
			218900	3	音楽科教育法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			219500	3	音楽科教育法演習 *1	S	1						1				(1)			○	○	
			545900	3	図画工作科教育法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			546200	3	図画工作科教育法演習 *1	S	1						1				(1)			○	○	
			251000	3	家庭科教育法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			590900	3	体育科教育法	L	2				2					2	2		○	○	○	
			591200	3	体育科教育法演習 *1	S	1					1					(1)			○	○	
			176200	3	英語科教育法	L	2					2				2	2		○	○	○	
			176210	3	英語科教育法演習 *1	S	1						1				(1)			○	○	
			003120	3	ＩＣＴ活用演習 *1	S	1						1			1				○	○	

教育課程表[教育学部 児童教育学科]（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 小一種	教職免許状 幼一種	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	領域科目	幼児教育学	768500	1	保育者論	L	2		2									2	○	○	○	
			816000	2	幼児教育課程論	L	2			2								2	○	○	○	
			821600	3	幼児理解の理論と方法 *1	S	1						1					1		○	○	
			781010	2	保育内容総論	S	2				2							2		○	○	
			780510	2	保育内容の指導法（健康）	S	2				2							2		○	○	
			780530	2	保育内容の指導法（人間関係）	S	2					2						2		○	○	
			780500	2	保育内容の指導法（環境）	S	2						2					2		○	○	
			780520	2	保育内容の指導法（言葉）	S	2					2						2		○	○	
			780540	2	保育内容の指導法（表現）	S	2				2							2		○	○	
			374210	2	子どもと健康 *1	S	1			1								1		○	○	
			374230	2	子どもと人間関係 *1	S	1				1							1		○	○	
			374200	2	子どもと環境 *1	S	1				1							1		○	○	
			374220	2	子どもと言葉 *1	S	1			1								1		○	○	
			374240	2	子どもと表現	S	1			2								1		○	○	
		教育実習	309710	3	教職キャリアデザイン *1	S	1				1						(1)	B		○		
			292500	4	教職実践演習（幼・小）	S	2							2			2	2		○	○	
			289100	2	教育実習Ⅰ	P	2			(60)	(60)						A	C	○	○		
			289200	2	教育実習Ⅱ	P	2				(60)	(60)					A	C		○		
			289300	3	教育実習Ⅲ	P	2						[60]				A	C		○		※(60)はいずれか指定する時期に履修することができる。
			235000	2	介護体験指導	S	1			2							1		○	○		
			290000	2	教育実習指導 *1	S	1			1							1	1	○	○		※介護体験指導は体験を行う前に必ず履修すること。
			246500	3	学校等支援活動	P	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)		−	−				
	関連科目		231900	3	海外教育語学研修事前演習	S	1		②		②		②									
			231400	3	海外教育語学研修	S	2		(60)		(60)		(60)									

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：教職免許状必修単位欄から、小１免の取得にはAから4単位以上、幼１免の取得にはBから1単位以上、Cから4単位以上を修得すること。
「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。教職免許状欄に（　）のある科目は選択科目である。
学校等支援活動は教職科目の単位には算入できない。

※各種資格（学校図書館司書教諭、准学校心理士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

教育学部　幼児教育学科

教育課程表[教育学部 幼児教育学科]（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 幼一	保育士	他学科	GPA	CAP	備考
専門科目	基本科目・卒業研究	教育学・保育学	309600	1	教職論	L	2	2								2	2		○	○	○	L：講義(Lecture) S：演習(Seminar) P：実習・実技(Practice)
			285300	1	教育原論	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
			813000	1	幼児教育学	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
			768500	1	保育者論	L	2		2							2	2	2	○	○	○	
			816000	2	幼児教育課程論	L	2			2						2	2	2	○	○	○	
			283000	2	教育課程論	L	2			2						2	2		○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は55単位、選択科目は17単位を修得し、17単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			780300	2	保育内容総論Ⅰ	S	2				2					2	2	2		○	○	
			304200	2	教育方法論	L	2				2					2	2		○	○	○	
			299100	3	教育制度論	L	2					2				2	2		○	○	○	
			636500	3	特別支援教育論 *1	L	1					1				1	1		○	○	○	
		心理学	715100	1	発達心理学Ⅰ	L	2	2								2	2	2	○	○	○	
			715200	2	発達心理学Ⅱ	L	2		2								A	2	○	○	○	
			298000	2	教育心理学	L	2			2						2	2	B	○	○	○	
			298400	3	教育心理学演習 *1	S	1						1				A	1		○	○	
			299600	3	教育相談の理論と方法	L	2					2				2	2		○	○	○	
		卒業研究	588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1						2			1				○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、4年前期に履修登録をすること。
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1							2		1				○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1								2	1				○	○	
			588000	4	卒業論文		2							○		2				○	○	
教育科目	領域科目	幼児教育学・保育学	151000	2	運動遊びの基礎	S	1	2									A	B		○	○	
			219600	2	音楽表現の基礎	S	1	2									A	B		○	○	
			583900	2	造形表現の基礎	S	1	2									A	B		○	○	
			516310	2	身体表現の基礎	S	1	2									A	B		○	○	
			202401	1	演奏表現と子どもの音楽Ⅰ	P	1	②	②									1		○	○	※②はいずれか指定する時期に履修することができる。
			202402	1	演奏表現と子どもの音楽Ⅱ	P	1	②	②									1		○	○	
			373160	2	子ども家庭福祉論	L	2			2								2	○	○	○	※授業科目欄に *1 のある科目は15時間授業である。
			434500	2	社会福祉学	L	2			2								2	○	○	○	
			821600	3	幼児理解の理論と方法 *1	S	1						1			1	1			○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			373100	3	子育て支援 *1	S	1						1					1		○	○	
			432210	3	社会的養護Ⅰ	L	2				2							2	○	○	○	
			373500	2	子どもの保健	L	2			2								2	○	○	○	
			373200	3	子どもの健康と安全	S	1				2							1		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			373300	2	子どもの食と栄養Ⅰ *1	S	1					1						1		○	○	
			373400	2	子どもの食と栄養Ⅱ *1	S	1						1					1		○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			373150	3	子ども家庭支援論	L	2							2				2		○	○	
			781200	3	保育内容総論Ⅱ *1	S	1							1			A	1		○	○	
			770100	2	保育内容　健康Ⅰ *1	S	1				1					1	1	1		○	○	
			770200	2	保育内容　健康Ⅱ *1	S	1				1					1	1	B		○	○	
			778100	2	保育内容　人間関係Ⅰ *1	S	1					1				1	1	1		○	○	
			778200	2	保育内容　人間関係Ⅱ *1	S	1					1				1	1	B		○	○	
			769100	2	保育内容　環境Ⅰ *1	S	1						1			1	1	1		○	○	
			769200	2	保育内容　環境Ⅱ *1	S	1						1			1	1	B		○	○	
			771100	2	保育内容　言葉Ⅰ *1	S	1					1				1	1	1		○	○	
			771200	2	保育内容　言葉Ⅱ *1	S	1					1				1	1	B		○	○	
			773000	2	保育内容　表現Ⅰ *1	S	1				1					1	1	1		○	○	
			773100	2	保育内容　表現Ⅱ *1	S	1				1					1	1	1		○	○	
			374210	2	子どもと健康 *1	S	1		1							1	1	1		○	○	
			374230	2	子どもと人間関係 *1	S	1		1							1	1	1		○	○	
			374200	2	子どもと環境 *1	S	1					1				1	1	1		○	○	
			374220	2	子どもと言葉 *1	S	1		1							1	1	1		○	○	
			374240	2	子どもと表現 *1	S	1		1							1	1	1		○	○	
			679010	2	乳児保育Ⅰ	L	2				2							2		○	○	
			679400	3	乳児保育Ⅱ *1	S	1					1						1		○	○	
			451600	3	障害児保育	S	2				2							2		○	○	
			432220	3	社会的養護Ⅱ *1	S	1							1				1		○	○	
			810000	2	野外活動演習	S	2			[30]										○		※週時間数の［ ］は集中講義

教育課程表[教育学部 幼児教育学科]（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 幼一	保育士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	幼児教育発展科目	赤ちゃん科学	101100	1	赤ちゃん科学	L	2		2							2			○	○	○	
			101101	2	赤ちゃん科学演習 *1	S	1			1										○	○	
			679001	2	乳児保育参観 *1	S	1				1									○	○	
		幼児教育実践科目	813100	1	幼児教育インターンシップⅠ *1	S	1	1								1				○	○	
			813101	1	幼児教育インターンシップⅡ *1	S	1		1											○	○	
			813200	2	幼児教育実践演習Ⅰ	S	1			2						1				○	○	
			813201	2	幼児教育実践演習Ⅱ	S	1				2									○	○	
			374300	2	子どもと科学	L	2					2							○	○	○	
			374310	3	子どもと科学演習 *1	S	1						1							○	○	
		サポートマネジメント	760010	2	保育職キャリアデザイン	S	1				2									○	○	
			760020	2	保育におけるケアと倫理	L	2			2						2		B		○	○	
			841110	3	リスクマネジメント *1	S	1					1								○	○	
			373110	3	子育て支援演習Ⅰ *1	S	1							1		1				○	○	
			373111	3	子育て支援演習Ⅱ *1	S	1								1					○	○	
			261000	3	管理職・リーダー育成論 *1	L	1								1					○	○	
			760030	3	保育とICT *1	S	1						1							○	○	
		ウエルビーイング	635500	2	特別ニーズ教育論	L	2			2						2				○	○	
			783410	3	保幼小連携 *1	L	1								1					○	○	
			783400	3	保育カンファレンス *1	S	1								1					○	○	
			231900	3	海外教育語学研修事前演習	S	1		②		②		②									
			231400	3	海外教育語学研修	S	2		(60)		(60)		(60)									※(30)(60)はいずれか指定する時期に履修することができる。
	教育実習・保育実習		761200	4	保育・教職実践演習（幼）	S	2								2		2	2		○	○	
			292110	2	教育実習（幼稚園Ⅰ）	P	2			[30]	[30]						2			○		
			292120	3	教育実習（幼稚園Ⅱ）	P	2						[60]				2			○		
			290100	2	教育実習指導Ⅰ	S	1			1	1						1			○		
			290200	2	教育実習指導Ⅱ *1	S	1						1				1			○		
			767400	2	保育実習Ⅰ	P	4					[60]	[60]					4		○		
			767100	3	保育実習Ⅱ	P	2							[60]				C		○		
			767200	3	保育実習Ⅲ	P	2							[60]				C		○		
			768200	2	保育実習指導Ⅰ	S	2					1	1					2		○		
			768300	3	保育実習指導Ⅱ *1	S	1							1				D		○		
			768400	3	保育実習指導Ⅲ *1	S	1							1				D		○		
			246500	3	学校等支援活動	P	1		(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)		−	−				

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：教職免許状必修単位欄から、幼１免の取得にはAから2単位以上を修得すること。
「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。
学校等支援活動は教職科目の単位には算入できない。

※保育士：保育士資格必修単位欄から保育士の取得にはBから3単位以上、Cから2単位以上、Dから1単位以上を修得すること。

「21世紀の社会と法A（日本国憲法）」「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」「英語リーディングⅠ・Ⅱ」「健康スポーツA～C」「からだの科学A」から8単位以上（うち、「からだの科学A」2単位と「健康スポーツA～C」の中から1単位は必修）

※各種資格（准学校心理士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

心理学部　現代心理学科

教育課程表［心理学部 現代心理学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 養教一	認定心理士	認定心理士（心理調査）	公認心理師	准学校心理士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究		518000	1	心理学概論Ⅰ	L	2	2								2		A		2		○	○	○	L：講義(Lecture)
			518100	1	心理学概論Ⅱ	L	2		2							2		A				○	○	○	S：演習(Seminar)
			521900	1	心理学研究法	L	2	2								2		A		2		○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			520010	2	心理学基礎演習Ⅰ（心理学実験）	S	2		2							2		A		2			○	○	
			520100	2	心理学基礎演習Ⅱ	S	2			2						2							○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は36単位、選択科目は36単位を修得し、36単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			520200	2	心理学基礎演習Ⅲ	S	2				2					2		A	2				○	○	
			715000	2	発達心理学	L	2		2							2		B		2	C	○	○	○	
			278900	2	教育・学校心理学	L	2			2						2	2	B		2	C	○	○	○	
			428000	2	社会心理学	L	2		2							2		B				○	○	○	
			330000	1	健康科学	L	2	2								2						○	○	○	
			682300	1	人間学	L	2	2								2						○	○	○	
			844000	2	臨床心理学概論Ⅰ	L	2	2								2		B		2		○	○	○	※「学部・大学院5年一貫コース」の学生の開講学期は別途定める。
			518500	2	心理学課題演習Ⅰ	S	2			2						2							○	○	
			518510	2	心理学課題演習Ⅱ	S	2				2					2							○	○	
			522300	1	心理学統計法Ⅰ	L	2			2						2		A		2		○	○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1			1				○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1			1				○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1			1				○	○	
			588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1			1				○	○	
			588000	4	卒業論文		2							○		2			2				○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
	展開科目	発達・教育	680100	2	乳幼児・児童心理学	L	2			②		②		②				B				○	○	○	
			569400	3	青年・成人心理学	L	2					②		②				B				○	○	○	
			356000	3	高齢者心理学	L	2						②		②			B				○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			714900	3	発達障害の理解と支援	L	2				②		②		②							○	○	○	
			241300	2	学習・言語心理学	L	2			2								B		2		○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			600200	2	知覚・認知心理学Ⅰ	L	2			②		②		②				B		2		○	○	○	
			600210	2	知覚・認知心理学Ⅱ	L	2				②		②		②							○	○	○	※開講学期欄の②・④は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			299601	3	教育相談の理論と方法	L	2						2				2	B			D	○	○	○	
			418500	3	司法・犯罪心理学	L	2					②		②						2		○	○	○	
			717100	3	発達臨床演習	S	2				④		④					B					○	○	
		社会・対人関係	419800	2	社会・集団・家族心理学	L	2			②		②		②				B		2		○	○	○	
			593200	3	対人関係論	L	2				②		②									○	○	○	
			593100	3	対人関係演習	S	2					②		②				B					○	○	
			390000	3	産業・組織心理学	L	2					②		②						2		○	○	○	
			354100	3	行動経済学	L	2			2													○	○	
			463300	3	消費行動の心理学	L	2						2									○	○	○	
			375800	3	コミュニケーション心理学	L	2					②		②								○	○	○	
			256500	3	環境心理学	L	2						②		②			B				○	○	○	
			396000	3	色彩・デザインの心理	L	2				②		②		②							○	○	○	
			751600	3	文化心理学	L	2				②		②		②							○	○	○	
			610700	2	調査概論	L	2				②		②		②				2			○	○	○	
			522310	3	心理学統計法Ⅱ	S	2					2							2			○	○	○	
		健康科学	237400	2	解剖学・生理学	L	2			2							2					○	○	○	
			516100	1	人体の構造と機能及び疾病	L	2		2											2		○	○	○	
			373500	3	子どもの保健	L	2			2												○	○	○	
			514500	2	神経・生理心理学	L	2				②		②					B		2		○	○	○	
			329900	2	健康・医療心理学	L	2				②		②		②			B		2		○	○	○	
			567500	3	精神疾患とその治療	L	2						2							2		○	○	○	
			546500	3	ストレスマネジメント演習	S	2					2											○	○	
			568000	2	精神保健	L	2				2						2					○	○	○	
			741500	3	福祉心理学	L	2			2										2	E	○	○	○	
			845000	2	倫理学	L	2		2													○	○	○	

教育課程表［心理学部 現代心理学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 養教一	認定心理士	認定心理士（心理調査）	公認心理師	准学校心理士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	臨床心理学	354400	2	公認心理師の職責	L	2				2									2			○	○	※週時間数欄の［ ］は集中講義
			844100	2	臨床心理学概論Ⅱ	L	2		2									B				○	○	○	
			710500	2	パーソナリティ心理学	L	2				2							B				○	○	○	
			259400	3	感情・人格心理学	L	2				②		②		②					2		○	○	○	
			522200	3	心理学的支援法	L	2				②		②		②			B		2	E	○	○	○	
			524000	3	心理療法	L	2					②		②				B				○	○	○	
			693500	3	認知行動療法論	L	2						②		②			B				○	○	○	
			526000	3	心理的アセスメント	L	2						②		②			B		2	E	○	○	○	
			245000	3	家族心理学	L	2				②		②		②			B				○	○	○	
			451900	3	障害者・障害児心理学	L	2			②		②								2	C	○	○	○	
			516800	3	心理演習	S	2					2								2			○	○	
			525300	4	心理実習	P	2						[80]							2			○	○	
			256700	3	関係行政論	L	2						2							2			○	○	
		学校保健	189600	2	衛生学	L	2				2						2					○	○	○	※授業科目欄に *1 のある科目は１５時間授業である。
			352100	2	公衆衛生学	L	2						2				2					○	○	○	
			811300	2	養護概説	L	2			2							2					○	○	○	
			811900	3	養護実践論	L	2				2						2					○	○	○	
			248700	2	学校保健	L	2		2								2					○	○	○	
			329800	2	健康相談活動の理論と方法	L	2					2					2					○	○	○	
			201100	2	栄養学・食品学	L	2			2							2					○	○	○	
			734410	2	微生物・免疫学	L	2			2							2					○	○	○	
			275300	2	基礎看護学概論	L	2			2							2					○	○	○	
			245600	3	学校応急処置	S	2				2						2					○	○	○	
			265400	3	看護救急処置	S	2				2						2					○	○	○	
			245700	3	学校応急処置演習 *1	S	1					1					1					○	○	○	
			264100	3	看護学臨床実習指導 *1	S	1					1					1					○	○	○	
			264000	4	看護学臨床実習	P	2						[60]				2					○	○	○	

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状 ：「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。

※認定心理士 ：必修単位欄から、Aはすべて修得すること。B=24単位以上修得すること。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※認定心理士（心理調査）：認定心理士（心理調査）の資格は、認定心理士の資格を取得していることが前提となるため、併せて認定心理士の必要単位も修得すること。
詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※公認心理師 ：詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※准学校心理士 ：Aタイプは、教員免許の取得に加え、必修単位欄のCおよびDから3科目6単位以上修得すること。Bタイプは、CおよびEの6科目すべて修得すること。
詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※各種資格（社会調査士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

心理学部　ビジネス心理学科

教育課程表［心理学部 ビジネス心理学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	認定心理士	認定心理士（心理調査）	社会調査士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	学科基礎	729800	1	ビジネス心理学総論	L	2	2								2					○	○	L：講義(Lecture)
		518000	1	心理学概論Ⅰ	L	2	2								2	A			○	○	○	S：演習(Seminar)
		518100	1	心理学概論Ⅱ	L	2		2							2	A			○	○	○	P：実習・実技(Practice)
		422300	1	社会学概論Ⅰ	L	2	2								2				○	○	○	
		422310	1	社会学概論Ⅱ	L	2		2							2				○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は36単位、選択科目は36単位を修得し、36単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
		325900	1	経済学	L	2		2							2				○	○	○	
	心理学基礎	715100	1	発達心理学Ⅰ	L	2		2							2	B			○	○	○	
		694100	2	認知心理学Ⅰ	L	2			2						2	B			○	○	○	
		428100	2	社会心理学Ⅰ	L	2		2							2	B			○	○	○	
		682100	1	人間学Ⅰ	L	2	2								2				○	○	○	
		842100	2	臨床心理学Ⅰ	L	2			2							B			○	○	○	
		328300	2	経済心理学	L	2			2						2	B			○	○	○	
		514100	2	進化心理学	L	2			2							B			○	○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
		689500	2	人間行動学	L	2			2										○	○	○	
		517100	2	心理学演習	S	2			2						2	A				○	○	
		525900	2	心理調査法	S	2	2								2	A	2	2		○	○	
	心理学応用	715200	2	発達心理学Ⅱ	L	2			2							B			○	○	○	
		694200	2	認知心理学Ⅱ	L	2				2						B			○	○	○	
		428200	2	社会心理学Ⅱ	L	2			2						2	B			○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		331500	2	ゲーム理論	L	2			2										○	○	○	
		241900	2	学習心理学	L	2			2							B			○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		842200	2	臨床心理学Ⅱ	L	2				2						B			○	○	○	
		842900	3	臨床心理学演習	S	2					2					B				○	○	
		576700	2	生理心理学	L	2				2						B			○	○	○	
		259500	2	感情心理学	L	2				2						B			○	○	○	
		331000	2	健康心理学	L	2				②		②		②		B			○	○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
		245000	2	家族心理学	L	2				②		②		②		B			○	○	○	
		682200	2	人間学Ⅱ	L	2				②		②		②					○	○	○	
		239200	3	カウンセリング心理学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		710500	2	パーソナリティ心理学	L	2				2						B			○	○	○	
		428300	2	社会心理学演習Ⅰ	S	2		2							2					○	○	
		428310	3	社会心理学演習Ⅱ	S	2				2										○	○	
		375800	3	コミュニケーション心理学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		526400	2	心理と統計Ⅰ	L	2			②		②		②			A		2	○	○	○	
		526410	3	心理と統計Ⅱ	S	2					②		②			A	2	2	○	○	○	
		631300	1	統計学	L	2		2										2	○	○	○	
		751600	3	文化心理学	L	2				②		②		②					○	○	○	
		396000	3	色彩・デザインの心理	L	2				②		②		②					○	○	○	

教育課程表［心理学部 ビジネス心理学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	認定心理士	認定心理士（心理調査）	社会調査士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	心理学展開Ⅰ（社会心理領域）	256300	3	環境社会学	L	2						②		②					○	○	○	
		318800	3	グローバリゼーション論	L	2						②		②					○	○	○	
		593700	3	地域社会学	L	2						②		②					○	○	○	
		328200	3	経済社会学	L	2					②		②						○	○	○	
		390200	3	産業社会学	L	2					②		②						○	○	○	
		323200	3	経営社会学	L	2					②		②						○	○	○	
		720700	3	比較行動学	L	2					②		②						○	○	○	
		141200	3	医療・福祉社会学	L	2						②		②					○	○	○	
		783800	2	法と社会	L	2			2										○	○	○	
		565700	2	政治と社会	L	2				2									○	○	○	
		244800	2	家族と社会	L	2			2										○	○	○	
		480700	2	職業と社会	L	2				2									○	○	○	
	心理学展開Ⅱ（ビジネス心理領域）	438900	3	集団心理学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		586800	3	組織行動論	L	2						②		②					○	○	○	
		390000	3	産業・組織心理学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		323300	3	経営心理学	L	2						②		②					○	○	○	
		463400	3	消費者行動学	L	2						②		②		B			○	○	○	
		791400	3	マスメディア心理学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		354200	3	行動分析学	L	2					②		②			B			○	○	○	
		593200	3	対人関係論	L	2						②		②		B			○	○	○	
		546600	3	ストレスマネジメント論	L	2					②		②						○	○	○	
		588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1		A			○	○	
		588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1		A			○	○	
		588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1		A			○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
		588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1		A			○	○	
		588000	4	卒業論文		2							○		2		A			○	○	
	その他実践科目	610700	1	調査概論	L	2		②		②							2	2	○	○	○	
		729600	3	ビジネス心理学演習Ⅰ	S	2					2						B	2	○	○	○	
		729610	3	ビジネス心理学演習Ⅱ	S	2						2					B	2	○	○	○	
		729900	3	ビジネス心理ワークショップ	S	2				2										○	○	

＜各種免許・資格について＞

※認定心理士 ：必修単位欄から、Aはすべて修得すること。B=24単位以上修得すること。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※認定心理士（心理調査）：必修単位欄から、A＝6単位またはB＝4単位を修得すること。認定心理士（心理調査）の資格は、認定心理士の資格を取得していることが前提となるため、併せて認定心理士の必要単位も修得すること。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※社会調査士：詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

現代ビジネス学部　現代ビジネス学科

教育課程表［現代ビジネス学部 現代ビジネス学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	実務士	上級ビジネス	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目		341300	1	現代ビジネス概論	L	2	2								2	Ⅰ			○	○	L：講義（Lecture）
			325900	1	経済学	L	2	2								2			○	○	○	S：演習（Seminar）
			322300	1	経営学	L	2	2								2	Ⅰ		○	○	○	P：実習・実技（Practice）
			323600	1	経営哲学	L	2		2							2			○	○	○	
			786100	1	簿記・会計学Ⅰ	L	2	2								2	Ⅰ			○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は47単位、選択科目は25単位を修得し、25単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			786110	1	簿記・会計学Ⅱ	L	2		2							2	Ⅰ			○	○	
			003110	1	ＩＣＴビジネス論	L	2	2								2	Ⅰ			○	○	
			474000	2	情報社会論	L	2		2							2	Ⅰ		○	○	○	
			730400	1	ビジネススキル演習	S	1	2								1	Ⅱ			○	○	
			730410	2	ビジネススキル実践演習	S	1		2							1	Ⅱ			○	○	
			749300	2	プレゼンテーション演習	S	1			2						1	Ⅲ			○	○	
			406000	2	実用英語Ⅰ	S	1					2								○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			406100	2	実用英語Ⅱ	S	1						2							○	○	
			728410	2	ビジネス実践入門Ⅰ	S	2	4								2	Ⅲ			○	○	
			728411	2	ビジネス実践入門Ⅱ	S	2		4							2	Ⅲ			○	○	
	専門基幹科目	経済・金融	795700	2	ミクロ経済学	L	2		2							2			○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			790700	2	マクロ経済学	L	2			2						2			○	○	○	
			317000	3	金融論	L	2				2								○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			739500	3	ファイナンス	L	2					2							○	○	○	
			356700	4	コーポレートファイナンス	L	2						2							○	○	※開講学期欄の②・(60)は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			354100	2	行動経済学	L	2					2								○	○	
			593600	3	地域経済学	L	2						2				Ⅰ		○	○	○	
			390300	3	産業組織論	L	2					2					Ⅰ			○	○	
			366100	3	国際経済論	L	2					2					Ⅰ		○	○	○	
			317010	3	金融システム論	L	2						2							○	○	
		会計	331600	2	原価計算Ⅰ	L	2			2						2				○	○	
			331610	2	原価計算Ⅱ	S	2				2									○	○	
			260520	2	管理会計論	L	2					②		②			Ⅱ			○	○	
			385120	2	財務会計論	L	2					②		②			Ⅱ			○	○	
		戦略・マネジメント	726920	1	ビジネスマネジメント論	L	2			2						2	Ⅱ			○	○	
			323500	3	経営戦略論	L	2					2				2				○	○	
			323400	2	経営管理論	L	2						2				Ⅱ			○	○	
			610500	2	中小企業論	L	2				2								○	○	○	
			384200	2	サービスビジネス論	L	2				2								○	○	○	
		組織・人材	278200	2	キャリア形成論	L	2					2				2				○	○	
			799000	1	モチベーション論	L	2		2											○	○	
			516400	4	人的資源論	L	2				2						Ⅱ			○	○	
			323310	3	経営組織論	L	2			2						2	Ⅱ			○	○	
			384110	2	サービスコミュニケーション論	L	2			2										○	○	
			731700	4	ヒューマンサービスマネジメント	L	2					2								○	○	

教育課程表［現代ビジネス学部 現代ビジネス学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	上級ビジネス実務士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基幹科目	マーケティング	790010	2	マーケティング論Ⅰ	L	2			2						2	Ⅰ	○	○	○	
			790020	3	マーケティング論Ⅱ	L	2						2					○	○	○	
			384300	3	サービスマーケティング論	L	2					2							○	○	
			363410	3	消費者行動論	L	2			2									○	○	
		ICT	616300	2	データサイエンスⅠ	L	2			2						2	Ⅰ	○	○	○	
			616310	2	データサイエンスⅡ	L	2				2							○	○	○	
			616400	2	データサイエンス演習Ⅰ	S	2				2								○	○	
			616410	3	データサイエンス演習Ⅱ	S	2					2							○	○	
			000100	3	ＡＩ概論	L	2					2						○	○	○	
			729500	3	ビジネス情報処理演習	S	2					2					Ⅰ	○	○	○	
			480300	4	情報倫理	L	2							2				○	○	○	
	専門関連科目	社会学	689500	1	人間行動学	L	2		2								Ⅲ		○	○	
			787100	3	ボランティア論	L	2				2						Ⅲ		○	○	
			438900	2	集団心理学	L	2			2								○	○	○	
			422000	2	社会学	L	2		2								Ⅱ	○	○	○	
		法律	801900	2	民法	L	2		2									○	○	○	
			854100	3	労働法	L	2				2								○	○	
			367600	3	国際ビジネス法	L	2						2					○	○	○	
			235300	2	会社法	L	2						2					○	○	○	
	専門演習		231501	3	海外研修事前演習	P	1	②		②		②		②				○			※「海外研修事前演習」は「海外語学ビジネス研修」の事前演習に該当。
			231760	3	海外語学ビジネス研修	P	2	〔60〕		〔60〕		〔60〕		〔60〕				○			
			144901	3	インターンシップ	P	2					2〔30〕					Ⅲ		○	○	
			728420	3	ビジネス実践演習Ⅰ	S	4			4							Ⅲ		○	○	
			728421	3	ビジネス実践演習Ⅱ	S	4				4						Ⅲ		○	○	
			725800	4	ビジネスプロジェクト演習Ⅰ	S	4					4							○	○	
			725801	4	ビジネスプロジェクト演習Ⅱ	S	4						4						○	○	
			725802	4	ビジネスプロジェクト演習Ⅲ	S	4							4					○	○	
			725803	4	ビジネスプロジェクト演習Ⅳ	S	4								4				○	○	
	卒業研究		588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1			○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1			○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1			○	○	
			588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1			○	○	
			588000	4	卒業論文		2							○		2			○	○	

＜各種免許・資格について＞
※上級ビジネス実務士：Ⅰ＝2単位以上、Ⅱ＝4単位以上、Ⅲ＝2単位以上 合計24単位以上修得すること。
　上記の他にⅠ群には［共通教育科目］の「情報処理基礎Ⅰ～Ⅳ」「情報処理演習A～D」を含む。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。
※各種資格（社会調査士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

現代ビジネス学部　国際観光ビジネス学科

教育課程表［現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目	341300	1	現代ビジネス概論	L	2	2								2		○	○	L：講義（Lecture）
		278200	1	キャリア形成論	L	2	2								2		○	○	S：演習（Seminar）
		268000	1	観光学概論	L	2	2								2		○	○	P：実習・実技（Practice）
		365500	1	国際観光論	L	2	2								2		○	○	
		325900	1	経済学	L	2	2								2		○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は50単位、選択科目は22単位を修得し、22単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
		322300	1	経営学	L	2	2								2		○	○	
		003110	1	ＩＣＴビジネス論	L	2	2										○	○	
		786100	1	簿記・会計学Ⅰ	L	2	②		②		②					○	○	○	
		786110	1	簿記・会計学Ⅱ	L	2		②		②		②				○	○	○	
		831000	1	リーダーシップ論	L	2			2						2		○	○	
		799000	1	モチベーション論	L	2		2							2		○	○	
		689500	1	人間行動学	L	2		2							2		○	○	※開講学期欄の②・(30)は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
		406000	2	実用英語Ⅰ	S	1				(30)	(30)						○		
		406100	2	実用英語Ⅱ	S	1				(30)	(30)						○		
		727400	2	ビジネス英語基礎	S	1				(30)	(30)						○		※週時間数欄の[　]は集中講義
		631300	2	統計学	L	2			2						2	○	○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修出来ない場合がある。
		730400	1	ビジネススキル演習	S	1			2						1		○	○	
		268200	1	観光経済学	L	2		2							2		○	○	
		268100	1	観光経営学	L	2		2							2		○	○	
		724000	1	比較文化論Ⅰ	L	2		2							2		○	○	
		367800	1	国内観光論	L	2		2							2		○	○	
		671000	2	日本文化演習	S	2		②		②							○	○	
		384400	2	サービスマネジメント	L	2			2								○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		114500	2	アメリカの文化Ⅰ	S	1				(30)	(30)						○		※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		114510	2	アメリカの文化Ⅱ	S	1				(30)	(30)						○		
		367500	2	国際ビジネスⅠ	L	2				(30)	(30)						○		
		367510	2	国際ビジネスⅡ	L	2				(30)	(30)						○		
		268800	2	観光と文化Ⅰ	L	2				(30)	(30)						○		
		268810	2	観光と文化Ⅱ	L	2				(30)	(30)						○		
		474000	2	情報社会論	L	2				②		②			2	○	○	○	
		384200	2	サービスビジネス論	L	2				②		②				○	○	○	
		268600	2	観光地理学	L	2			2								○	○	
		593610	2	地域形成史	L	2				②		②		②			○	○	
		408350	2	実用ビジネス英語Ⅰ	S	1			2						1		○	○	
		408360	3	実用ビジネス英語Ⅱ	S	1				②	②				1		○	○	
		400510	2	時事英語	S	2			2						2		○	○	
		726810	3	ビジネスディベート	S	2					②		②				○	○	
		726930	3	ビジネスライティング	S	2				②		②					○	○	
		317000	3	金融論	L	2				②		②				○	○	○	

教育課程表［現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基幹科目	268400	3	観光政策論	L	2			2							○	○	○	
		724100	3	比較文化論Ⅱ	L	2				②		②					○	○	
		268850	3	観光と文学	L	2				②		②				○	○	○	
		576800	3	世界遺産論	L	2					②		②				○	○	
		786400	3	ホスピタリティマネジメント	L	2					②		②		2		○	○	
		390300	3	産業組織論	L	2					②		②		2		○	○	
		593600	3	地域経済学	L	2				②		②				○	○	○	
		324800	3	景観形成論	L	2					②		②			○	○	○	
		636600	3	都市デザインワークショップ	S	2					②		②				○	○	
		384300	3	サービスマーケティング論	L	2					②		②				○	○	
		789800	3	ホテルビジネス論	L	2					②		②			○	○	○	
		350610	3	航空ビジネス論Ⅰ	L	2			2							○	○	○	
		367600	3	国際ビジネス法	L	2						2			2	○	○	○	
		366500	3	国際貿易論	L	2						②		②			○	○	
		615200	3	地理情報システム	S	2			②		②						○	○	
		268820	3	観光データサイエンス	L	2				②		②					○	○	
		268300	3	観光情報マネジメント	S	2						2			2		○	○	
		268830	3	観光マーケティング	L	2							2				○	○	
		408370	3	実用ビジネス英語Ⅲ	S	1						2			1		○	○	
		408380	3	実用ビジネス英語Ⅳ	S	1							2				○	○	
		186500	4	英語通訳演習Ⅰ	S	2							2			○	○	○	
		186510	4	英語通訳演習Ⅱ	S	2								2		○	○	○	
		350620	4	航空ビジネス論Ⅱ	L	2						2				○	○	○	
		739500	3	ファイナンス	L	2					②		②			○	○	○	
		752200	3	文化政策論	L	2						②		②			○	○	
		615330	3	ツアービジネス論	L	2						②		②			○	○	
		787100	3	ボランティア論	L	2				②		②		②			○	○	
		731700	4	ヒューマンサービスマネジメント	L	2							2				○	○	
		202010	4	エンターテイメントビジネス	L	2							2				○	○	
		268840	3	観光サービスマネジメント	L	2						②		②			○	○	
		793800	4	まちづくり論	L	2							2			○	○	○	
		268860	4	観光プロデュース論	L	2							2				○	○	
		807000	4	ユニバーサルツーリズム	L	2					②		②				○	○	
		268900	4	観光リスクマネジメント	L	2						②		②		○	○	○	
	専門演習・卒業研究	231500	2	海外研修事前演習	P	1			2								○	○	
		231600	2	海外インターンシップⅠ	S	2				[30]	[30]						○		
		231610	2	海外インターンシップⅡ	P	1				[30]	[30]						○		
		588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1		○	○	
		588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1		○	○	
		588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1		○	○	
		588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1		○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
		588000	4	卒業論文		2							○		2		○	○	

＜各種免許・資格について＞

※各種資格（社会調査士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

現代ビジネス学部　公共経営学科

教育課程表［現代ビジネス学部 公共経営学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目		350720	1	公共経営学概論	L	2	2								2		○	○	L：講義（Lecture）
			350730	1	公共経営学概論演習	S	2		2							2		○	○	S：演習（Seminar）
			101200	1	アカデミック・リテラシー	L	2	2								2		○	○	P：実習・実技（Practice）
			350800	1	公共経営基礎演習Ⅰ	S	1		2							1		○	○	
			350810	2	公共経営基礎演習Ⅱ	S	1			2						1		○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は55単位、選択必修科目はAから3単位以上を修得し、選択科目を合わせて72単位以上を修得すること。72単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			350820	2	公共経営基礎演習Ⅲ	S	1				2					1		○	○	
			730400	1	ビジネススキル演習	S	1	2										○	○	
			730410	1	ビジネススキル実践演習	S	1		2									○	○	
			384110	2	サービスコミュニケーション論	L	2					2						○	○	
			278200	1	キャリア形成論	L	2	2								2		○	○	
			831000	3	リーダーシップ論	L	2						②		②			○	○	
			749300	2	プレゼンテーション演習	S	1			2								○	○	
	専門基幹科目	経済・経営	322300	1	経営学	L	2	2								2	○	○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			323400	2	経営管理論	L	2						2					○	○	
			314100	2	行政経営論	L	2				2							○	○	
			390300	3	産業組織論	L	2					2						○	○	
			790010	3	マーケティング論Ⅰ	L	2					2						○	○	
			790020	3	マーケティング論Ⅱ	L	2						2					○	○	
			325900	1	経済学	L	2	2								2		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			795700	2	ミクロ経済学	L	2		2							2		○	○	
			795710	2	ミクロ経済学展開	L	2			2								○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			790700	2	マクロ経済学	L	2			2						2	○	○	○	
			790710	2	マクロ経済学展開	L	2				2							○	○	
			350200	2	公共経済学	L	2				2					2		○	○	
			593600	3	地域経済学	L	2						2					○	○	
			593800	2	地域デザイン	S	2					②		②				○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			786100	1	簿記・会計学Ⅰ	L	2	2										○	○	
			786110	1	簿記・会計学Ⅱ	L	2		2									○	○	
			317000	3	金融論	L	2						2				○	○	○	
			516400	4	人的資源論	L	2				②		②		②			○	○	
		政治・行政	565200	2	政治学	L	2			2						2		○	○	
			565210	2	政治学展開	L	2				2							○	○	
			645510	3	日本政治史	L	2					②		②				○	○	
			314000	2	行政学	L	2		2							2		○	○	
			385000	3	財政学	L	2					2				2	○	○	○	
			365200	3	国際政治学	L	2						②		②			○	○	
			350300	3	公共政策論	L	2			2						2		○	○	
			350310	3	公共政策展開	L	2				2							○	○	
			731010	2	広島ブランディングワークショップ	S	2				2							○	○	
		法律	783510	1	法学入門	L	2	2								2		○	○	
			801900	1	民法	L	2		2							2		○	○	
			801910	2	民法展開	L	2			2								○	○	
			801920	3	民法演習	S	1					2						○	○	
			347000	1	憲法	L	2		2							2		○	○	
			347100	2	憲法展開	L	2			2								○	○	
			347110	3	憲法演習	S	1					2						○	○	
			854100	3	労働法	L	2				2							○	○	
			314500	2	行政法	L	2			2						2		○	○	
			314510	2	行政法展開	L	2				2							○	○	
			328400	3	刑法	L	2						2					○	○	
			603300	3	地方自治法	L	2						2			2		○	○	

教育課程表［現代ビジネス学部 公共経営学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門関連科目	社会	422000	2	社会学	L	2				2					2	○	○	○	
			350500	2	公共哲学	L	2			2						2		○	○	
			787100	3	ボランティア論	L	2				2							○	○	
			350740	3	公共福祉論	L	2					2						○	○	
			434510	3	社会福祉政策論	L	2						2					○	○	
		心理	438900	3	集団心理学	L	2			②		②		②			○	○	○	
			259400	2	感情・人格心理学	L	2				②		②		②		○	○	○	
			689500	3	人間行動学	L	2						②		②			○	○	
			686000	3	人間関係論	L	2				②		②		②			○	○	
		ICT	616320	1	データサイエンス入門	L	2		2							2		○	○	
			616300	2	データサイエンスⅠ	L	2			2						2		○	○	
			616310	2	データサイエンスⅡ	L	2				2					2		○	○	
			616400	2	データサイエンス演習Ⅰ	S	2				2							○	○	
			616410	3	データサイエンス演習Ⅱ	S	2					2						○	○	
			729500	3	ビジネス情報処理演習	S	2					②		②			○	○	○	
	専門演習・卒業研究		350900	3	公共政策演習Ⅰ	S	1					2				A		○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
			350910	3	公共政策演習Ⅱ	S	1						2			A		○	○	
			350920	4	公共政策演習Ⅲ	S	1							2		A		○	○	
			585600	3	総合ビジネス演習Ⅰ	S	1					2				A		○	○	
			585610	3	総合ビジネス演習Ⅱ	S	1						2			A		○	○	
			585620	4	総合ビジネス演習Ⅲ	S	1							2		A		○	○	
			588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1		○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1		○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1		○	○	
			588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1		○	○	
			588000	4	卒業論文		2							○		2		○	○	

＜各種免許・資格について＞

※各種資格（社会調査士）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

家政学部　生活デザイン学科

教育課程表［家政学部 生活デザイン学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一家	教職免許状 高一家	建築士	二級・木造	インテリアプランナー	フードスペシャリスト	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基本科目・卒業研究		561500	1	生活デザイン論	L	2	2								2				A			○	○	○	L：講義(Lecture)
			243500	1	家族関係論	L	2	2								2	2	2				○	○	○	○	S：演習(Seminar)
			134000	1	衣生活論	L	2	2								2	2	2				○	○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			482000	1	食生活論	L	2	2								2	A	B			2		○	○	○	
			439000	1	住生活論	L	2	2								2	2	2	D	A		○	○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目22単位、選択科目は50単位以上を修得し、50単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			330500	1	健康科学概論	L	2		2							2							○	○	○	
			255300	1	環境科学概論	L	2		2							2							○	○	○	
			620700	2	デザイン基礎	L	2			2						2			D	A			○	○	○	
			588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1							○	○	○	
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1							○	○	○	
			588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1							○	○	○	
			588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1							○	○	○	※「卒業論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
			588000	4	卒業論文		2							○		2							○	○	○	
	展開科目	衣	583300	2	造形材料学	L	2				2						A	B				○	○	○	○	
			583400	3	造形材料学実験	P	1					3					A	B					○	○	○	※「アパレルＣＡＤ・ＣＧⅡ」は「アパレルＣＡＤ・ＣＧⅠ」を履修した者のみ履修可。
			111500	3	アパレル管理学	L	2					2					A	B				○	○	○	○	
			580500	3	染色加工学実験	P	1						3				A	B					○	○	○	
			743400	1	服飾構成学	L	2		2								A	B				○	○	○	○	※「服飾構成実習Ⅰ」および「服飾構成実習Ⅱ」は、「服飾構成学」を履修した者のみ履修可。
			111800	2	アパレルＣＡＤ・ＣＧⅠ	S	2			2							A	B					○	○	○	
			111900	3	アパレルＣＡＤ・ＣＧⅡ	S	2				2												○	○	○	
			743500	2	服飾構成実習Ⅰ	P	1				3						1	1				○	○	○	○	※「服飾構成実習Ⅱ」は「服飾構成実習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
			743600	3	服飾構成実習Ⅱ	P	1					3					A	B					○	○	○	
			132100	3	衣環境学	L	2				②		②		②		A	B				○	○	○	○	※開講学期欄の②または③は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			744000	2	服飾デザイン論	L	2				2						A	B				○	○	○	○	
			740100	2	ファッションビジネス論	L	2			2												○	○	○	○	
			740600	4	ファッション造形演習	S	2							2									○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		食	485500	1	食品学	L	2		2								2	2			2	○	○	○	○	
			486000	3	食品学実験	P	1					③		③			A	B			1		○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			201000	2	栄養学	L	2			②		②		②			2	2			2	○	○	○	○	
			611000	2	調理学	L	2				2						A	B			2	○	○	○	○	
			614000	2	調理学実習Ⅰ	P	1					3					1	1			1	○	○	○	○	※「調理学実習Ⅱ」は「調理学実習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
			614100	3	調理学実習Ⅱ	P	1						3				A	B			1		○	○	○	
			384500	2	コンフェクショナリー実習	P	1			3							A	B					○	○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			483000	2	食品衛生学	L	2			2							A	B			2	○	○	○	○	
			486500	2	食品加工学	L	2				②		②		②		A	B			2	○	○	○	○	
			486600	3	食品加工学演習	S	2						2										○	○	○	
			491100	3	食品評価・鑑別論	L	2					2									2	○	○	○	○	
			491200	3	食品評価・鑑別論演習	S	2						2								2		○	○	○	
			491400	3	食品流通・消費論	L	2					2									2	○	○	○	○	
			741200	1	フードコーディネート論	L	2		②		②										2	○	○	○	○	
			741300	2	フードスペシャリスト論	L	2						②		②						2	○	○	○	○	

教育課程表［家政学部 生活デザイン学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	教職免許状 中一家	教職免許状 高一家	二級・木造建築士	インテリアプランナー	フードスペシャリスト	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	住	437010	1	住居史	L	2			2							A	B	D	A			○	○	※週時間数欄の［ ］は集中講義
			437100	2	住環境学	L	2				②		②		②		A	B	B	B		○	○	○	
			145700	2	インテリアデザイン論	L	2			2							A	B	D	B		○	○	○	
			437700	1	住宅構造学	L	2		2								A	B	C	B		○	○	○	
			438100	3	住居材料学	L	2					2					A	B	C	B			○	○	
			437500	2	住空間計画学	L	2			2							A	B	B	B		○	○	○	
			438700	3	住宅設備	L	2					②		②			A	B	B	B			○	○	
			579200	1	設計製図Ⅰ	S	2		2								A	B	A	B			○	○	※「設計製図Ⅱ」は「設計製図Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
			579300	2	設計製図Ⅱ	S	2			2							A	B	A	B			○	○	
			438500	3	住宅施工・積算	L	2					②		②					2	B			○	○	
			344000	3	建築法規	L	2						②		②				2	B			○	○	
			686500	1	人間工学	L	2		2										D	B		○	○	○	※「建築ＣＡＤ・ＣＧⅡ」は「建築ＣＡＤ・ＣＧⅠ」を履修した者のみ履修可。
			342101	2	建築ＣＡＤ・ＣＧⅠ	S	2					2							A	B			○	○	
			342102	3	建築ＣＡＤ・ＣＧⅡ	S	2						2						A	B			○	○	
			848200	2	リビングデザイン	L	2				2								D	B			○	○	
			202300	3	エクステリアデザイン	S	2							2					D	A			○	○	
		健康・環境	160000	2	運動生理学	L	2								2								○	○	
			455000	2	生涯スポーツ論	L	2							2								○	○	○	
			761010	2	保育学	L	2						2				2	2				○	○	○	
			787400	1	ボランティア活動	S	2				2											○	○	○	
			255400	2	環境デザイン論	L	2				2								D	A		○	○	○	
			255700	3	環境臨地実習	P	1			1[30]													○	○	
			225800	1	ガーデニングⅠ	P	1	2															○	○	
			225900	1	ガーデニングⅡ	P	1		2														○	○	
		関連科目	555000	1	生活経営学	L	2		2								2	2				○	○	○	
			583700	2	造形表現	P	1				③		③		③					A			○	○	
			556000	2	生活工学	L	2						2									○	○	○	
			751900	2	文化人類学	L	2			②		②		②									○	○	
			723900	1	比較文化論	L	2			2												○	○	○	
			399500	2	色彩学	L	2			②		②		②					D	A		○	○	○	
			231310	1	絵画・デッサンⅠ	P	1		2											A			○	○	
			231320	2	絵画・デッサンⅡ	P	1			2										A			○	○	

＜各種免許・資格について＞

※教職免許状：必修単位欄から、A=10単位以上、B=14単位以上修得すること。「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。

※二級・木造建築士 ：必修単位欄から、A=3単位以上、B=2単位以上、C=3単位以上、D=適宜　合計40単位修得すること。修得単位数により、免許登録までに必要な実務経験年数が異なる。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※インテリアプランナー：年齢制限はなく誰でも受験できる。ただし、登録するには　①インテリアプランナー試験（学科試験と設計製図試験）に合格　②所定の授業科目（必修単位欄から、B=24単位以上、A+B=36単位以上修得すること。Bのうち「設計製図Ⅰ」は必修。）を修得して卒業　の要件を満たすことが必要。

※専門フードスペシャリスト受験資格の必修単位はフードスペシャリスト受験資格と同様。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※各種資格（学校図書館司書教諭、学芸員）：後掲［資格に関する科目］の該当資格の教育課程表を確認し、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

家政学部　管理栄養学科

教育課程表[家政学部 管理栄養学科]（2026年度入学生用）　　管理2026-1/2

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	管理栄養士	栄養士	食品衛生管理者、監視員	教職免許状 中一家	教職免許状 高一家	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目		260000	1	管理栄養論	L	2	2								2							○	○	L：講義(Lecture)
			272800	1	基礎化学	L	2	2								2			2				○	○	S：演習(Seminar)
			274300	1	基礎生物学	L	2	2								2							○	○	P：実習・実技(Practice)
	基幹科目	社会・環境と健康	330500	1	健康科学概論	L	2	2									2						○	○	
			481300	1	食環境論	L	2	2								2	2	2		2	2		○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は30単位、選択科目は42単位を修得し、42単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			351900	3	公衆衛生学（環境を含む）	L	2						2				2	2	2				○	○	
			785700	3	保健福祉論	L	2					2					2	2					○	○	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	237600	1	解剖生理学Ⅰ	L	2	2								2	2	2	2				○	○	
			237700	1	解剖生理学Ⅱ	L	2		2								2	2	2				○	○	
			237800	1	解剖生理学実習Ⅰ	P	1		3								1	1	1				○	○	
			237900	2	解剖生理学実習Ⅱ	P	1			3							1		1				○	○	
			548100	1	生化学Ⅰ	L	2		2							2	2	2	2				○	○	
			548200	2	生化学Ⅱ	L	2			2							2	2	2				○	○	
			273500	2	基礎生化学実験	P	1			3							1	1	1				○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			204000	2	栄養生化学実験	P	1				3						1	1	1				○	○	
			160000	1	運動生理学	L	2				2						2						○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			738800	1	病理病態学	L	2		2								2		2				○	○	
			404700	1	疾病論Ⅰ	L	2		2							2	2	2	2				○	○	
			404800	2	疾病論Ⅱ	L	2			2							2	2	2				○	○	
			734600	1	微生物学	L	2			2							2		2				○	○	
			734700	2	微生物学実験	P	1				3						1		1				○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
		食べ物と健康	485600	1	食品学Ⅰ	L	2		2							2	2	2	2	2	2		○	○	
			485700	2	食品学Ⅱ	L	2			2							2		2	(2)	(2)		○	○	
			277100	1	基礎分析実験	P	1	3									1						○	○	
			486000	1	食品学実験	P	1		3								1	1	1	(1)	(1)		○	○	
			486500	2	食品加工学	L	2			2							2	2	2	2	2		○	○	
			487000	2	食品加工実習	P	1				3						1		1	(1)	(1)		○	○	
			611000	1	調理学	L	2		2								2	2		2	2		○	○	
			614000	1	調理学実習Ⅰ	P	1		3								1	1		1	1		○	○	
			614100	2	調理学実習Ⅱ	P	1			3							1	1		(1)	(1)		○	○	
			483000	3	食品衛生学	L	2					2					2	2	2	(2)	(2)		○	○	
			483300	3	食品衛生学実習	P	1						3				1		1	(1)	(1)		○	○	

教育課程表[家政学部 管理栄養学科]（2026年度入学生用）　　管理2026-2/2

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	管理栄養士	栄養士	食品衛生管理者、監視員	教職免許状 中一家	教職免許状 高一家	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	栄養学 基礎	272100	1	基礎栄養学	L	2		2							2	2	2	2	2	2		○	○	※週時間数欄の[　]は集中講義
			272200	2	基礎栄養学実験	P	1			3							1	1	1	(1)	(1)		○	○	
		応用栄養学	568500	2	成長期栄養学	L	2			2							2	2	2	2	2		○	○	
			255100	2	加齢期栄養学	L	2				2						2	2	2	(2)	(2)		○	○	
			200500	3	栄養アセスメント	L	2					2					2						○	○	
			211500	3	応用栄養学実験	P	1				3						1	1	1	(1)	(1)		○	○	
		栄養教育論	203000	2	栄養教育総論	L	2				2						2			2	2		○	○	
			203500	3	栄養教育論Ⅰ	L	2					2					2	2		(2)	(2)		○	○	
			203700	3	栄養教育論Ⅱ(カウンセリング論を含む)	L	2						2				2	2		(2)	(2)		○	○	
			202500	3	栄養教育実習Ⅰ	P	1					3					1	1		(1)	(1)		○	○	
			202600	3	栄養教育実習Ⅱ	P	1						3				1	1		(1)	(1)		○	○	
		臨床栄養学	841300	2	臨床栄養学	L	2					2				2	2	2		2	2		○	○	
			738600	2	病態栄養学Ⅰ	L	2				2						2	2		(2)	(2)		○	○	
			738700	3	病態栄養学Ⅱ	L	2					2					2	2		(2)	(2)		○	○	
			201500	3	栄養管理学	L	2						2				2			(2)	(2)		○	○	
			841400	3	臨床栄養学実習Ⅰ	P	1					3					1	1		(1)	(1)		○	○	
			841500	3	臨床栄養学実習Ⅱ	P	1						3				1	1		(1)	(1)		○	○	
			844500	3	臨床薬理学	L	2						2				2			(2)	(2)		○	○	
		公衆栄養学	352200	2	公衆栄養学	L	2				2					2	2	2		2	2		○	○	
			352500	3	公衆栄養活動	L	2						2				2			(2)	(2)		○	○	
			352300	2	公衆栄養学実習	P	1					3					1	1		(1)	(1)		○	○	
		給食経営管理論	279100	2	給食管理学	L	2			2							2	2					○	○	
			279200	2	給食経営学	L	2				2						2	2					○	○	
			279300	3	給食経営管理実習	P	1					③	③				1	1					○	○	※③または(45)はいずれか指定する時期に履修すること。
		総合演習	201900	4	栄養管理総合演習	S	2							3			2						○	○	
		臨地実習	841600	4	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	P	1							(45)	(45)		1						○		
			841700	4	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	P	1							(45)	(45)		1						○		
			841710	4	臨床栄養学臨地実習Ⅲ	P	1							(45)	(45)		A						○		
			279400	4	給食経営管理臨地実習	P	1							(45)	(45)		1	1					○		
			352400	4	公衆栄養学臨地実習	P	1							(45)	(45)		A						○		
		関連科目	801200	3	免疫・アレルギー概論	L	2						2						2	(2)	(2)		○	○	
			489500	3	食品バイオテクノロジー	L	2								2					(2)	(2)		○	○	
			787400	2	ボランティア活動	S	2			2													○		
			243500	3	家族関係論	L	2					2								2	2	○	○	○	
			555000	3	生活経営学	L	2						2							2	2	○	○	○	
			134000	3	衣生活論	L	2					2								2	2	○	○	○	
			743500	2	服飾構成実習Ⅰ	P	1				3									1	1	○	○	○	
			439000	3	住生活論	L	2					2								2	2	○	○	○	
			761010	4	保育学	L	2						2							2	2	○	○	○	
	卒業研究		588500	4	卒業研究Ⅰ	S	2					2				2							○	○	
			588600	4	卒業研究Ⅱ	S	2						2			2							○	○	
			588700	4	卒業研究Ⅲ	S	2							2		2							○	○	
			588800	4	卒業研究Ⅳ	S	2								2	2							○	○	

＜各種免許・資格について＞
※教職免許状：「専門教育科目」以外に、［共通教育科目］および［教育職員免許状に関する科目］の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。
　教職免許状欄に（　）のある科目は選択科目である。
※管理栄養士：必修単位欄のAは選択必修科目であり、これらのうち1単位以上を修得すること。
※管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員：詳細は「Ⅱ．免許・資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

家政学部　造形デザイン学科

教育課程表［家政学部 造形デザイン学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	必修単位 インターンシップ実務士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門基礎科目	583800	1	造形デザイン総論	L	2	2								2		○	○	○	L：講義(Lecture)
		562500	1	生活美学論	L	2	2								2	2	○	○	○	S：演習(Seminar)
		562700	1	生活プロダクトデザイン論	L	2		2							2			○	○	P：実習・実技(Practice)
		351300	1	広告論	L	2			2						2		○	○	○	
		621600	1	デジタルデザイン基礎	L	2	2								2			○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は53単位、選択科目は19単位を修得し、19単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
		399500	1	色彩学	L	2		2							2	2	○	○	○	
		545610	1	図学	L	2			2						2			○	○	
		562400	1	生活と設計・計測	L	2				2							○	○	○	
		748000	1	プレゼンテーション	L	2		2							2			○	○	
		476100	1	情報心理学	L	2			2									○	○	
		374500	2	コミュニケーション論	L	2				2							○	○	○	
		749900	2	プロジェクトマネジメント	L	2					2							○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
		555000	2	生活経営学	L	2						2					○	○	○	
		790000	2	マーケティング論	L	2							2				○	○	○	
		621400	1	デザインと知的財産	L	2	2									Ⅰ	○	○	○	
		749430	1	プログラミング総論	L	2		2							2	Ⅰ	○	○	○	
		559100	1	生活情報学	L	2		2									○	○	○	
		616500	2	データ分析Ⅰ	L	2			2						2	Ⅲ	○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		616510	2	データ分析Ⅱ	L	2				2								○	○	
		551400	1	生活概論	L	2		2									○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		255300	1	環境科学概論	L	2			2									○	○	
		551200	2	生活応用造形論	L	2				2								○	○	
		554100	2	生活感性学	L	2					2				2		○	○	○	
		806900	2	ユニバーサルデザイン論	L	2			2						2			○	○	
		806800	2	ユニバーサルデザイン演習	S	1				2								○	○	
		799510	2	ものづくり研修	S	2					2							○	○	
		562310	1	生活とグラフィックデザイン	L	2						2						○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
		751900	2	文化人類学	L	2			②		②		②					○	○	
	造形基礎科目	583600	1	造形基礎Ⅰ(平面)	S	1	【4】								1			○	○	※【　】はクオーター開講
		583610	1	造形基礎Ⅱ(立体)	S	1	【4】								1			○	○	
		583620	1	造形基礎Ⅲ(平面)	S	1		【4】							1			○	○	
		583630	1	造形基礎Ⅳ(立体)	S	1		【4】							1			○	○	
		231100	2	絵画Ⅰ	S	1			【4】						1			○	○	
		231200	2	絵画Ⅱ	S	1				【4】								○	○	
		231210	3	絵画Ⅲ	S	1					2							○	○	
		231220	3	絵画Ⅳ	S	1						2						○	○	
		148000	2	イラストレーションⅠ	S	1			【4】						1			○	○	
		148010	2	イラストレーションⅡ	S	1				【4】								○	○	
		148020	3	イラストレーションⅢ	S	1					【4】							○	○	
		317400	2	グラフィックデザインⅠ	S	1			【4】						1			○	○	
		317410	2	グラフィックデザインⅡ	S	1					2							○	○	
		317420	3	グラフィックデザインⅢ	S	1						2						○	○	
		436500	1	写真表現Ⅰ	S	1		2							1			○	○	
		436510	2	写真表現Ⅱ	S	1			2									○	○	
		436520	3	写真表現Ⅲ	S	1				2								○	○	
		750100	2	プロダクトデザイン演習Ⅰ	S	1				【4】					1			○	○	
		750110	3	プロダクトデザイン演習Ⅱ	S	1					【4】							○	○	
		630700	2	陶芸Ⅰ	S	1			【4】						1			○	○	
		630710	2	陶芸Ⅱ	S	1				【4】								○	○	
		630720	3	陶芸Ⅲ	S	1					【4】							○	○	
		630730	3	陶芸Ⅳ	S	1						【4】						○	○	
		312200	2	金工Ⅰ	S	1			【4】						1			○	○	
		312210	2	金工Ⅱ	S	1				【4】								○	○	
		312220	3	金工Ⅲ	S	1					【4】							○	○	
		312230	3	金工Ⅳ	S	1						【4】						○	○	

教育課程表［家政学部 造形デザイン学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	必修単位 ウェブデザインエキスパート実務士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	749720	1	プログラミングⅠ	S	1		2							1	Ⅰ		○	○	
		749730	2	プログラミングⅡ	S	1			2						1	Ⅰ		○	○	
		749740	3	プログラミングⅢ	S	1				2						Ⅰ		○	○	
		749750	3	プログラミングⅣ	S	1					2					Ⅰ		○	○	
		749400	3	プログラミング応用A(Web)	S	1						2						○	○	
		749410	4	プログラミング応用B(IoT)	S	1							2					○	○	
		749420	4	プログラミング応用C(AI)	S	1								2				○	○	
		621500	2	デジタルデザインⅠ	S	1			2						1	Ⅰ		○	○	
		621510	2	デジタルデザインⅡ	S	1				2						1		○	○	
		621520	3	デジタルデザインⅢ	S	1					2							○	○	
		004200	2	WebデザインⅠ	S	1						2			1	1		○	○	
		004300	3	WebデザインⅡ	S	1							2			1		○	○	
		799100	1	モデリング	S	1		2							1			○	○	
		381620	2	コンピュータグラフィックスⅠ	S	1			2						1	Ⅱ		○	○	
		381630	2	コンピュータグラフィックスⅡ	S	1				2						Ⅱ		○	○	
		189700	2	映像表現Ⅰ	S	1			2						1	1		○	○	
		189710	2	映像表現Ⅱ	S	1				2						1		○	○	
		582200	3	先端表現A(3DCG、アニメーション)	S	1					2							○	○	
		582210	3	先端表現B(VR、プロジェクションマッピング)	S	1						2						○	○	
		578610	2	製図演習Ⅰ	S	1			2						1			○	○	
		578710	3	製図演習Ⅱ	S	1					2							○	○	
		583500	2	造形ＣＡＤⅠ	S	1				2					1			○	○	
		583510	3	造形ＣＡＤⅡ	S	1						2						○	○	
		621900	2	デジタルファブリケーションⅠ	S	1				2					1			○	○	
		621910	3	デジタルファブリケーションⅡ	S	1					2							○	○	
		621920	3	デジタルファブリケーションⅢ	S	1						2						○	○	
		584700	4	総合造形Ⅰ	S	1							2		1			○	○	
		584710	4	総合造形Ⅱ	S	1								2	1			○	○	
	卒業研究	588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1			○	○	※「卒業制作・論文」は、時間割上の授業にはないが、４年前期に履修登録をすること。
		588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1			○	○	
		588300	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1			○	○	
		588400	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1			○	○	
		588900	4	卒業制作・論文		2							○		2			○	○	

＜各種免許・資格について＞

※ウェブデザイン実務士：必修単位の10単位に加え、必修単位欄の各群（Ⅰ～Ⅲ群）から計12単位以上、合計22単位以上修得すること。必修単位の10単位の中には、［共通教育科目］の「情報処理演習C」を含む。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

薬学部　薬学科

教育課程表［薬学部 薬学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	5年 前期	5年 後期	6年 前期	6年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	基礎薬学科目	薬学の基礎	745300	1	物理学演習	S	1	2													○	○	○	L：講義(Lecture)
			745400	1	物理化学演習	S	1		2												○	○	○	S：演習(Seminar)
			805710	1	有機化学入門	S	1	2													○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			804010	1	薬品有機化学演習	S	1		2												○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は、197単位で、専門教育科目については、161単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は156単位、選択必修科目はAから5単位以上を修得すること。
			570010	1	生物学入門Ⅰ	S	1	2													○	○	○	
			570020	1	生物学入門Ⅱ	S	1		2												○	○	○	
			545200	1	数学演習	S	1	2													○	○	○	
			803100	1	薬学概論	L	2	2												2	○	○	○	
			583200	1	早期体験学習	L	2	2												2	○	○	○	
			803230	2	薬剤師論	L	2	2												2	○	○	○	※4年次後期に実施される薬学共用試験に不合格の場合は、実務実習を行うことができない。
			141010	2	医療コミュニケーション	L	2		2											2	○	○	○	
			119000	2	医学・薬学英語	S	1					2								1	○	○	○	
		物理系薬学	803700	2	薬品物理化学Ⅰ	L	2		2											2	○	○	○	
			803800	2	薬品物理化学Ⅱ	L	2			【4】										2	○	○	○	
			807700	2	薬品物理化学Ⅲ	L	2			【4】										2	○	○	○	※【　】はクオーター開講
			804000	2	薬品物理化学実習	P	1				[45]									1		○		
			804100	2	薬品分析化学Ⅰ	L	2		2											2	○	○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			804200	2	薬品分析化学Ⅱ	L	2			2										2	○	○	○	
			807600	2	薬品機器分析学	L	2				2									2	○	○	○	
			807800	2	薬品分析化学実習	P	1				[45]									1		○		※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		化学系薬学	807900	2	薬品有機化学Ⅰ	L	2		2											2	○	○	○	
			807910	2	薬品有機化学Ⅱ	L	2			2										2	○	○	○	
			807920	2	薬品有機化学Ⅲ	L	2				2									2	○	○	○	
			140710	3	医薬品化学Ⅰ	L	2					2								2	○	○	○	
			140720	3	医薬品化学Ⅱ	L	2						2							2	○	○	○	
			808100	2	薬品有機化学実習	P	1						[45]							1		○		※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			625100	3	天然物化学Ⅰ	L	2					2								2	○	○	○	
			625000	3	天然物化学Ⅱ	L	2						2							2	○	○	○	
			625500	3	天然物化学実習	P	1							[45]						1		○		
			480410	4	生薬漢方薬学	L	1											1		A		○	○	
			803010	4	メディシナルケミストリー	L	1											1		A		○	○	
		生物系薬学	384710	2	細胞生物学	L	2	2												2	○	○	○	
			237510	2	解剖・生理学Ⅰ	L	2		2											2	○	○	○	
			237520	2	解剖・生理学Ⅱ	L	2			2										2	○	○	○	
			237530	2	解剖・生理学Ⅲ	L	2				2									2	○	○	○	
			734600	2	微生物学	L	2			2										2	○	○	○	
			237540	2	解剖・生理学実習	P	1				[45]									1		○		
			548100	2	生化学Ⅰ	L	2			【4】										2	○	○	○	
			548200	2	生化学Ⅱ	L	2			【4】										2	○	○	○	
			754500	2	分子生物学Ⅰ	L	2				【4】									2	○	○	○	
			754600	2	分子生物学Ⅱ*1	L	1				【4】									1	○	○	○	※授業科目欄に*1のある科目は15時間授業である。
			548500	2	生化学実習	P	1					[45]								1		○		
	医療薬学科目	衛生系薬学	189200	3	衛生薬学Ⅰ	L	2					2								2	○	○	○	
			189300	3	衛生薬学Ⅱ	L	2						2							2	○	○	○	
			256100	3	環境科学	L	2							2						2	○	○	○	
			189500	3	衛生・環境科学実習	P	1							[45]						1		○		
			783700	4	放射性医薬品学	L	2										[30]			2		○	○	
			352110	4	公衆栄養衛生学	L	1								1					1		○	○	

教育課程表［薬学部 薬学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	5年 前期	5年 後期	6年 前期	6年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	医療薬学科目	医療系薬学	738910	3	病原微生物学Ⅰ	L	2				2									2	○	○	○	
			738920	3	病原微生物学Ⅱ	L	2				2									2	○	○	○	
			801300	3	免疫学	L	2					2								2	○	○	○	
			734900	3	微生物学免疫学実習	P	1					[45]								1		○		
			738710	3	病態症候学Ⅰ	L	2					2								2	○	○	○	
			738720	3	病態症候学Ⅱ	L	2						2							2	○	○	○	
			804800	2	薬理学Ⅰ	L	2				2									2	○	○	○	
			804900	3	薬理学Ⅱ	L	2					2								2	○	○	○	
			805000	3	薬理学Ⅲ	L	2						2							2	○	○	○	
			808200	3	薬理学Ⅳ	L	2							2						2	○	○	○	
			805100	3	薬理学実習Ⅰ	P	1						[45]							1		○		
			805200	3	薬理学実習Ⅱ	P	1							[45]						1		○		
			804500	3	薬物治療学Ⅰ	L	2						2							2	○	○	○	
			804600	3	薬物治療学Ⅱ	L	2							2						2	○	○	○	
			807300	3	薬剤学	L	2				2									2	○	○	○	
			564400	3	製剤学	L	2					2								2	○	○	○	
			807400	3	薬剤学実習	P	1								[45]					1		○		
			804710	3	薬物動態学Ⅰ	L	2						2							2	○	○	○	
			804720	3	薬物動態学Ⅱ	L	2							2						2	○	○	○	
			140810	3	医薬品情報学Ⅰ	L	2						2							2	○	○	○	
			140820	3	医薬品情報学Ⅱ	L	2							2						2	○	○	○	
			843200	3	臨床薬剤学Ⅰ	L	2						2							2	○	○	○	
			843300	3	臨床薬剤学Ⅱ	L	2							2						2	○	○	○	
			844600	3	臨床薬剤学Ⅲ	L	2								2					2	○	○	○	
			586900	4	創薬学	L	1									[15]				A		○	○	※開講学期及び週時間数欄の[ ]内数は、特定の期間に授業を行う時間数を示す。
			586910	4	創薬モダリティ概論	L	2									(30)	(30)					○	○	
			134900	4	一般医薬品学	L	1								1							○	○	
			352600	4	香粧品学	L	1										[15]			A		○	○	※開講学期欄の(30)・(60)は、いずれか指定する時期に履修すること。
			141510	4	医療実践学	L	1								[15]							○	○	
			841200	4	臨床検査学	L	1								1							○	○	
			738800	2	病理病態学	L	2				2									2		○	○	
			754610	3	分子病態学	L	2					2								2		○	○	
			703100	4	脳神経科学	L	1											1		A		○	○	
			141900	4	医療薬学演習Ⅰ	S	1											2		1		○	○	
			141910	4	医療薬学演習Ⅱ	S	1											2		1		○	○	
			141920	4	医療薬学演習Ⅲ	S	1											2		1		○	○	
		薬学と社会	803400	3	薬事関係法規	L	2							2						2	○	○	○	
			807500	3	薬剤管理学	L	2								2						○	○	○	
			142400	4	医療心理学	L	2												2	A		○	○	
		薬学実務実習	844800	3	臨床薬剤学実習Ⅰ	P	1							[45]						1		○		
			844810	3	臨床薬剤学実習Ⅱ	P	1								[45]					1		○		
			844820	4	臨床薬剤学実習Ⅲ	P	1								[45]					1		○		
			844700	3	臨床薬剤学演習Ⅰ	S	1								2					1		○	○	
			844710	3	臨床薬剤学演習Ⅱ	S	1								2					1		○	○	
			738400	4	病院実務実習	P	10									[450]				10		○		※薬局実務実習は、一部4年次後期から開始となる。
			805500	4	薬局実務実習	P	10									[450]				10		○		
			405110	4	実務実習後演習	S	1											2		1		○	○	
	薬学演習・卒業研究		277210	3	基礎薬学演習	S	1								2					A		○	○	
			211510	3	応用薬学演習	S	1								2					A		○	○	
			585700	4	総合薬学演習Ⅰ	S	1										[30]			1		○	○	
			585800	4	総合薬学演習Ⅱ	S	1											2		1		○	○	
			585900	4	総合薬学演習Ⅲ	S	1												2	1		○	○	※総合薬学演習Ⅲは、薬学専門科目の全範囲を対象とする、いわば薬学教育の集大成となる科目である。したがって単位取得には一定の水準以上が求められるので留意すること。
			587900	4	卒業演習Ⅰ	S	1												2			○	○	
			587910	4	卒業演習Ⅱ	S	1												2			○	○	
			587920	4	卒業演習Ⅲ	S	1												2			○	○	
			808400	4	薬学特別研究	S	6												12			○	○	
			588500	4	卒業研究Ⅰ	S	2								[60]					2		○	○	
			588600	4	卒業研究Ⅱ	S	2									(60)	(60)			2		○	○	
			588700	4	卒業研究Ⅲ	S	2											4		2		○	○	

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

看護学部　看護学科

教育課程表［看護学部 看護学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	看護師	保健師	助産師	他学科	GPA	CAP	備考
教育課程	専門分野	人体の構造と機能	277700	1	機能形態学Ⅰ	L	2	2								2	2				○	○	L：講義(Lecture)
			277800	1	機能形態学Ⅱ	L	2		2							2	2				○	○	S：演習(Seminar)
			277900	1	機能形態学Ⅲ	L	2			2						2	2				○	○	P：実習・実技(Practice)
			548600	1	生化学・栄養学	L	2	2								A	A				○	○	
			734410	1	微生物・免疫学	L	2	2								A	A				○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目は89単位以上、選択必修科目はAから2単位以上、Bから1単位以上を修得すること。
		疾病の成り立ちと回復の促進	809010	1	薬理学	L	1			1						1	1				○	○	
			738800	2	病理病態学	L	2			2						2	2				○	○	
			404700	1	疾病論Ⅰ	L	2	2								2	2				○	○	
			404800	2	疾病論Ⅱ	L	2		2							2	2				○	○	
			404900	2	疾病論Ⅲ	L	2			2						2	2				○	○	
			404910	2	疾病論Ⅳ	L	2				2					2	2				○	○	
		健康支援と社会保障制度	786700	2	保健医療福祉行政論	L	2				2					2	2	2	2		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			207000	2	疫学	L	2			2						2	2	2			○	○	
			786800	2	保健統計学	L	2			2						2	2	2			○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	専門分野	基礎看護学	275100	1	基礎看護学概論Ⅰ	L	2	2								2	2				○	○	
			275200	1	基礎看護学概論Ⅱ	L	2		2							2	2				○	○	※週時間数欄の[　]は集中講義
			265000	2	看護過程論	L	2				2					2	2				○	○	
			265100	4	看護管理学	L	1							[15]		1	1		1		○	○	※「看護管理学」は、週2回4時間の授業を4週開講する。
			551300	1	生活援助方法論Ⅰ	S	2			4						2	2				○	○	
			551310	1	生活援助方法論Ⅱ	S	2				4					2	2				○	○	
			239100	4	カウンセリング論	L	2				2						(2)				○	○	
			715100	1	発達心理学Ⅰ	L	2	2									(2)				○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			715200	2	発達心理学Ⅱ	L	2	2									(2)				○	○	
			715300	3	発達心理学Ⅲ	L	2	2									(2)				○	○	
			142400	3	医療心理学	L	2				2						(2)				○	○	
		地域・在宅看護論	386000	3	在宅看護学	L	2				2					2	2	2			○	○	
			386500	3	在宅看護方法論	S	2					4				2	2	2			○	○	
			353100	3	公衆衛生看護学	L	2				2					2	2	2	2		○	○	
			353710	4	公衆衛生看護管理・活動論Ⅰ	L	2					2					(2)	2			○	○	
			353720	4	公衆衛生看護管理・活動論Ⅱ	L	2					2					(2)	2			○	○	
		成人看護学	568600	2	成人看護学	L	2				2					2	2				○	○	
			568920	3	成人看護方法論Ⅰ（慢性期）	S	2					4				2	2	2			○	○	
			568930	3	成人看護方法論Ⅱ（急性期）	S	2					4				2	2				○	○	
		老年看護学	355600	2	高齢者看護学	L	2			2						2	2				○	○	
			355900	3	高齢者看護方法論	S	2					4				2	2	2			○	○	
		小児看護学	462100	2	小児看護学	L	2				2					2	2				○	○	
			462700	3	小児看護方法論	S	2					4				2	2	2			○	○	
		母性看護学	789000	2	母性看護学	L	2				2					2	2		2		○	○	
			789500	3	母性看護方法論	S	2					4				2	2	2	2		○	○	
		精神看護学	566500	2	精神看護学	L	2				2					2	2				○	○	
			566800	3	精神看護方法論	S	2					4				2	2	2			○	○	

教育課程表［看護学部 看護学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業	看護師	保健師	助産師	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	専門分野	看護の統合と実践	279610	4	救命救急看護論	L	1							1		B	B				○	○	
			848100	4	リハビリテーション看護論	L	1							1		B	B				○	○	
			202900	4	エンド・オブ・ライフケア論	L	1							1		B	B				○	○	
			353800	4	公衆衛生看護管理論	L	1								1	B	B	1			○	○	
			600300	4	地域母子保健論	L	1								1	B	B		1		○	○	
			141110	4	医療・看護倫理学	L	1								1	1	1	1			○	○	
			365710	2	国際看護論	L	1			1						1	1	1			○	○	
			366200	2	国際交流・実践	S	2		(60)		(60)						(2)						
			588100	4	卒業研究Ⅰ	S	1							【4】		1	1				○	○	※【　】はクオーター開講
			588200	4	卒業研究Ⅱ	S	1								【4】	1	1				○	○	※「卒業研究Ⅱ」は、隔週開講する。
		臨地実習 基礎看護学	275500	1	基礎看護学臨地実習Ⅰ	P	1	[45]								1	1				○		
			275600	2	基礎看護学臨地実習Ⅱ	P	2				[90]					2	2				○		
		地域・在宅看護論	593400	3	地域・在宅看護学臨地実習	P	3						[135]			3	3				○		
		成人看護学	568800	3	成人看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）	P	2						[90]			2	2				○		
			568810	3	成人看護学臨地実習Ⅱ（急性期）	P	2						[90]			2	2				○		
			568830	3	成人看護学臨地実習Ⅲ（高度急性期）	P	1						[45]			1	1				○		
		老年看護学	355700	3	高齢者看護学臨地実習Ⅰ（慢性期）	P	2						[90]			2	2				○		
			355800	3	高齢者看護学臨地実習Ⅱ（回復・リハビリ期）	P	2						[90]			2	2				○		
		小児看護学	462300	3	小児看護学臨地実習	P	2						[90]			2	2				○		
		母性看護学	789100	3	母性看護学臨地実習	P	2						[90]			2	2		2		○		
		精神看護学	566700	3	精神看護学臨地実習	P	2						[90]			2	2				○		
		看護の統合と実践	265300	4	看護の統合と実践臨地実習	P	2							(90)	(90)	2	2				○		※聞講学期欄の(90)・(135)・(225)はいずれか指定する時期に履修すること。
保健師科目			353300	4	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	P	2							(90)	(90)			2			○		
			353400	4	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	P	3							(135)	(135)			3			○		
助産師科目			493100	4	助産学概論	L	2							2					2		○	○	
			439500	4	周産母子看護論	L	1							1					1		○	○	
			493710	4	助産診断技術学Ⅰ	L	2							2					2		○	○	
			493720	4	助産診断技術学Ⅱ	L	2							2					2		○	○	
			493730	4	助産診断技術学Ⅲ	L	2							2					2		○	○	
			493800	4	助産診断技術学演習	S	2							4					2		○	○	
			493500	4	助産管理	L	1							1					1		○	○	
			493200	4	助産学実習Ⅰ	P	2							(90)	(90)				2		○		
			493210	4	助産学実習Ⅱ	P	5							(225)	(225)				5		○		
			493220	4	助産学実習Ⅲ	P	2							(90)	(90)				2		○		

＜各種免許・資格について＞
※看護師：必修単位欄から、A=2単位以上、B=1単位以上修得すること。「専門教育科目」以外に、［特別科目］および［共通教育科目］ の教育課程表を確認し、必要な単位を修得すること。看護師欄に（　）のある科目は選択科目である。
※保健師・助産師：各必修単位以外に、看護師の必修単位を修得すること。その他、詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

理工学部　生物科学科

教育課程表［理工学部 生物科学科］（2026年度入学生用）

区分		科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業 生物科学コース	卒業 食・環境開発コース	食品衛生管理者、監視員	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	理工学部共通科目	840300	1	理工学概論	L	2	2								2	2		○	○	○	L：講義(Lecture)
		840310	1	理工学データサイエンス	L	2		2							2	2			○	○	S：演習(Seminar)
	基礎科目	570030	1	生物学入門	L	2	2								2	2		○	○	○	P：実習・実技(Practice)
		570510	1	生命科学基礎	L	2	2											○	○	○	
		570040	1	生物学倫理	L	2	2								2	2		○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目、選択科目、選択必修科目は合わせて72単位を修得し、72単位を超え修得した科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
		274300	1	基礎生物学	L	2	2								2	2	B	○	○	○	
		272800	1	基礎化学	L	2	2								2	2	A	○	○	○	
		388000	1	サスティナビリティ生物学	L	2	2								2	2		○	○	○	
		569900	1	生物化学	L	2		2							2	2	B	○	○	○	
		548100	2	生化学Ⅰ	L	2		2							2	2	B	○	○	○	
		548200	2	生化学Ⅱ	L	2			2						2	2	B	○	○	○	「生物科学コース」の学生は、選択必修科目A、B、Cのいずれかを修得し、展開科目「理論追究」区分から合計11単位以上を修得すること。
		632410	2	動物分類学	L	2		2										○	○	○	
		492700	2	植物分類学	L	2		2										○	○	○	
		492400	2	植物生態学	L	2		2										○	○	○	「食･環境開発コース」の学生は、選択必修科目D、Eのどちらかを修得し、展開科目「実践展開」区分から合計11単位以上を修得すること。
		711020	1	バイオビジネス実践論	L	2		2							2	2		○	○	○	
		754500	2	分子生物学Ⅰ	L	2			2						2	2	B	○	○	○	
		754601	2	分子生物学Ⅱ	L	2				2					2	2	B	○	○	○	
		384710	2	細胞生物学	L	2			2						2	2		○	○	○	
		734600	2	微生物学	L	2			2						2	2	C	○	○	○	
		353900	2	酵素化学	L	2				2							E	○	○	○	
		214100	2	応用微生物学	L	2				2							E	○	○	○	
		482100	2	食と環境の経済学	L	2				2					2	2		○	○	○	
		570080	2	生物統計学	L	2					2							○	○	○	
	実験実習科目	240500	2	化学実験Ⅰ	P	1	3								1	1	A		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		240510	2	化学実験Ⅱ	P	1		3							1	1	A		○	○	
		492200	2	植物学フィールドリサーチ	P	1	3								1	1			○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		570410	2	生物学実験Ⅰ	P	1		3							1	1	B		○	○	
		570411	2	生物学実験Ⅱ	P	1			3						1	1	B		○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
		548500	2	生化学実習	P	1			3						1	1	B		○	○	
		256200	2	環境科学実習	P	1				3					1	1	D		○	○	
		734710	2	微生物学実習	P	1				3							C		○	○	
		485200	2	食品化学実習	P	1				3					1	1	B		○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
		492510	2	植物生理学実習	P	1					3				1		E		○	○	
		492110	2	植物育種学実習	P	1					3								○	○	
		492310	2	植物形態学実習	P	1					3								○	○	
		754620	2	分子生物学実習	P	1					3						B		○	○	
	基幹科目	493010	1	食香粧化学概論	L	2		2										○	○	○	
		492600	2	植物の多様性と進化	L	2			2									○	○	○	
		514200	2	進化生物学	L	2			2									○	○	○	
		741400	2	フードセイフティ論	L	2			2								D	○	○	○	
		484000	2	食品化学	L	2			2						2	2	B	○	○	○	
		256600	2	環境生物学	L	2			2								E	○	○	○	
		492300	2	植物形態学	L	2				2								○	○	○	
		492100	2	植物育種学	L	2				2								○	○	○	
		492900	2	食用作物学	L	2				②		②						○	○	○	
		203110	2	園芸栽培論	L	2				2								○	○	○	
		256100	2	環境科学	L	2				2					2	2		○	○	○	
		377900	2	昆虫学	L	2				②		②						○	○	○	
		713910	2	発酵化学	L	2				②		②					E	○	○	○	
		486500	2	食品加工学	L	2				2							C	○	○	○	

教育課程表［理工学部 生物科学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業 生物科学コース	卒業 食・環境開発コース	食品衛生管理者、監視員	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	理論追究	492500	2	植物生理学	L	2					②		②		2		E	○	○	○	※「生理学演習」は「植物生理学」「動物生理学」の単位を全て修得した学生のみ履修できる。
			632400	2	動物生理学	L	2						②		②	A		B	○	○	○	
			576610	3	生理学演習	S	1							2		A		E		○	○	
			137010	2	遺伝子工学	L	2					2				2		E	○	○	○	
			711010	2	バイオインフォマティクス	L	2						②		②				○	○	○	
			492800	2	植物免疫学	L	2						②		②				○	○	○	
			734920	2	微生物利用学	L	2						②		②	B		E	○	○	○	※「微生物工学演習」は「遺伝子工学」「微生物利用学」の単位を全て修得した学生のみ履修できる。
			734910	3	微生物工学演習	S	1							2		B		E		○	○	
			570060	2	生物資源工学	L	2					②		②		2			○	○	○	
			570070	3	生物資源工学演習	S	1							2		C				○	○	
		実践展開	241200	2	花卉園芸科学	L	2					②		②			2		○	○	○	※「生物資源工学演習」は「生物資源工学」の単位を修得した学生のみ履修できる。
			203120	2	園芸植物学	L	2						②		②		D		○	○	○	
			203100	3	園芸科学演習	S	1							2			D			○	○	
			713920	2	発酵工学	L	2					2					2	E	○	○	○	※「園芸科学演習」は「花卉園芸科学」「園芸植物学」の単位を全て修得した学生のみ履修できる。
			489100	2	食品の機能	L	2					②		②				E	○	○	○	
			256610	2	環境保全論	L	2						②		②				○	○	○	
			459700	2	醸造科学	L	2						2				E	E	○	○	○	
			713900	3	発酵・醸造学演習	S	1							2			E	E		○	○	※「発酵・醸造学演習」は「発酵工学」「醸造科学」の単位を全て修得した学生のみ履修できる。
			711030	2	バイオマス利用論	L	2					②		②			2		○	○	○	
			570050	2	生物共生論	L	2						②		②				○	○	○	
	専門演習・卒業研究		331300	3	研究企画プレゼンテーション	S	2			2						2	2			○	○	
			316100	3	協働プロジェクトⅠ	S	2					2								○	○	
			316101	3	協働プロジェクトⅡ	S	2						2							○	○	
			582501	4	専門演習Ⅰ	S	2							2		2	2			○	○	
			582601	4	専門演習Ⅱ	S	2								2	2	2			○	○	
			588110	4	卒業研究Ⅰ	S	1						2			1	1			○	○	
			588210	4	卒業研究Ⅱ	S	1							2		1	1			○	○	
			588310	4	卒業研究Ⅲ	S	1								2	1	1			○	○	

＜各種免許・資格について＞

※食品衛生管理者・監視員：必修単位欄のA、B、C、Dから各1科目以上、計22単位以上修得し、Eを含めて合計40単位以上修得すること。
詳細は「Ⅱ．免許・資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

理工学部　情報科学科

教育課程表［理工学部 情報科学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	理工学部共通科目		840300	1	理工学概論	L	2	2								2	○	○	○	L：講義(Lecture)
			840310	1	理工学データサイエンス	L	2		2							2		○	○	S：演習(Seminar)
	基礎科目・卒業研究		465000	1	情報科学概論	L	2	2								2	○	○	○	P：実習・実技(Practice)
			467800	1	情報基礎数学Ⅰ	L	2	2								2	○	○	○	
			467801	1	情報基礎数学Ⅱ	L	2		2							2	○	○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目、選択科目、選択必修科目は合わせて72単位を修得し、72単位を超え修得した科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。選択必修科目A～Gの7領域から2領域を選択し、選択した各領域から2科目4単位以上、合計4科目8単位以上を修得すること。
			240600	1	科学と倫理	L	2	2								2	○	○	○	
			603100	1	知的財産論	L	2		2									○	○	
			474500	2	情報処理概論	L	2			2						2		○	○	
			476800	2	情報セキュリティ	L	2				2					2		○	○	
			686500	2	人間工学	L	2					2						○	○	
			474000	2	情報社会論	L	2					2						○	○	
			755700	3	分野横断プロジェクトⅠ	S	2					2						○	○	
			588110	4	卒業研究Ⅰ	S	1					2				1		○	○	
			755701	3	分野横断プロジェクトⅡ	S	2						2					○	○	
			588210	4	卒業研究Ⅱ	S	1						2			1		○	○	
			588310	4	卒業研究Ⅲ	S	1							2		1		○	○	
			588410	4	卒業研究Ⅳ	S	1								2	1		○	○	
	基幹科目		749430	1	プログラミング総論	L	2	2								2		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			749721	1	プログラミングⅠ	S	2		2							2		○	○	
			117200	1	アルゴリズムとデータ構造	L	2		2									○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			749731	2	プログラミングⅡ	S	2			2						2		○	○	
			749741	3	プログラミングⅢ	S	2				2					2		○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			749751	3	プログラミングⅣ	S	2					2				2		○	○	
			217200	3	オブジェクト指向プログラミング	S	2					2				A		○	○	
			378400	3	コンピュータアーキテクチャ	L	2						2			2		○	○	
			590010	3	ソフトウェア工学	L	2						②		②	A		○	○	※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
	展開科目	デジタルメディア	622300	1	デジタルメディア	L	2	2								2	○	○	○	
			003900	1	Ｗｅｂ	L	2		2							2		○	○	
			617400	1	データベース基礎	L	2		2									○	○	
			004110	2	ＷｅｂプログラミングⅠ	S	2			2						2		○	○	
			547100	2	スマートモバイルプログラミング	S	2			2								○	○	
			617500	2	データベース設計	L	2				2							○	○	
			700100	2	ネットワークシステム	L	2				2					2		○	○	
			004111	2	ＷｅｂプログラミングⅡ	S	2				2							○	○	
			622310	2	デジタルメディア演習	S	2				2							○	○	
			615400	3	通信ネットワーク設計	L	2					2				B		○	○	
			631500	3	動的ＷｅｂプログラミングＳ	S	2					2				C		○	○	
			003300	3	ＳＮＳビジネス演習	S	2					2				C		○	○	
			395100	3	システム運用	L	2					2				B		○	○	
			700001	3	ネットワーク演習	S	2						2			B		○	○	
			617201	3	データベース演習	S	2							2		B		○	○	
			384010	3	サーバ構築演習	S	2							2		B		○	○	
			003410	3	ＵＮＩＸ	L	2							2		B		○	○	
			578800	3	セキュリティ演習	S	2								2	B		○	○	

教育課程表［理工学部 情報科学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	卒業必修	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	ヒューマンインタフェース	737100	1	ヒューマンインタフェース	L	2	2								2	○	○	○	
			802800	1	メディアコミュニケーション基礎	L	2	2								2		○	○	
			794010	1	マルチメディア	L	2		2							2		○	○	
			242400	1	画像処理演習	S	2		2									○	○	
			242410	2	画像処理ライブラリ	L	2			2						2		○	○	
			381510	2	コンピュータグラフィックス	S	2			2								○	○	
			737110	2	ヒューマンインタフェースプログラミング	S	2				2					2		○	○	
			331100	2	ゲーム開発	L	2				2					2		○	○	
			189800	2	映像処理演習	S	2				2							○	○	
			802900	3	メディアプログラミング	S	2					2				D		○	○	
			004400	3	ＸＲ	L	2					2				D		○	○	
			331200	3	ゲーム開発演習Ⅰ	S	2					2				E		○	○	
			242430	3	仮想ネット配信演習	S	2					2				E		○	○	
			004401	3	ＸＲ演習Ⅰ	S	2						2			D		○	○	
			000010	3	３ＤＣＧ演習	S	2						2			D		○	○	
			331201	3	ゲーム開発演習Ⅱ	S	2						2			E		○	○	
			004402	3	ＸＲ演習Ⅱ	S	2							2		D		○	○	
			749440	3	プログラミングとエンジン	L	2								2	E		○	○	
		データサイエンス	616340	1	データサイエンス	L	2	2								2	○	○	○	
			515100	1	人工知能Ⅰ（機械学習）	L	2		2							2		○	○	
			480200	2	情報理論	L	2			2						2		○	○	
			515101	2	人工知能Ⅱ（深層学習）	L	2			2						2		○	○	
			242420	2	画像認識	L	2			2								○	○	
			404100	2	自然言語処理	L	2				2							○	○	
			003130	2	ＩｏＴ演習Ⅰ	S	2				2					2		○	○	
			616330	2	データ解析	L	2				2							○	○	
			515102	2	人工知能Ⅲ（ＡＩのための統計）	L	2				2							○	○	
			476200	3	情報ストラテジ	L	2					2				F		○	○	
			003131	3	ＩｏＴ演習Ⅱ	S	2					2				F		○	○	
			515110	3	人工知能演習Ⅰ	S	2					2				G		○	○	
			515111	3	人工知能演習Ⅱ	S	2						2			G		○	○	
			731210	3	ビッグデータ解析	L	2						2			F		○	○	
			620100	3	データマイニング	L	2							2		F		○	○	

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

理工学部　建築学科

教育課程表［理工学部 建築学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業 建築コース	卒業 空間デザインコース	一級建築士	二級・木造建築士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	理工学部共通科目		840300	1	理工学概論	L	2	2								2	2			○	○	○	L：講義(Lecture)
			840310	1	理工学データサイエンス	L	2		2							2	2				○	○	S：演習(Seminar)
	基幹科目・卒業研究		342800	1	建築概論	L	2	2								2	2	J	F		○	○	P：実習・実技(Practice)
			343600	3	建築デザイン論	L	2			2						2	2	J	F		○	○	※卒業するために必要な総単位数は128単位で、専門教育科目については、92単位以上を修得すること。そのうち、必修科目、選択科目は合わせて72単位を修得し、72単位を超え修得した選択科目は、自由科目として専門教育科目の単位に算入することができる。
			343530	1	建築キャリアデザイン	S	2	2								2	2	J	F	○	○	○	
			343900	4	建築倫理	L	2					2				2	2	J	F	○	○	○	
			620700	2	デザイン基礎	L	2		2							2	2				○	○	
			317200	3	空間デザイン論	L	2	2								2	2	J	F	○	○	○	
			342500	2	建築計画学	L	2				2					2	2	B	B		○	○	※開講学期欄の(30)・②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
			437500	2	住空間計画学	L	2			2						2	2	B	B		○	○	
			343100	1	建築基礎製図	S	3	3								3	3	A	A		○	○	
			343110	1	建築設計演習Ⅰ	S	3		3							3	3	A	A		○	○	※「建築設計演習Ⅰ」は「建築基礎製図」を履修した者のみ履修可。「建築設計演習Ⅱ」は「建築設計演習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。「建築設計演習Ⅲ」は「建築設計演習Ⅱ」を履修した者のみ履修可。「建築設計演習Ⅳ」は「建築設計演習Ⅲ」を履修した者のみ履修可。「建築設計演習Ⅴ」は「建築設計演習Ⅳ」を履修した者のみ履修可。「スタジオ設計演習」は「建築設計演習Ⅴ」を履修した者のみ履修可。
			343111	2	建築設計演習Ⅱ	S	3			3						3	3	A	A		○	○	
			343510	1	建築基礎数学	S	2	2								2	2	J	F	○	○	○	
			343520	1	建築基礎物理	S	2		2							2	2	J	F	○	○	○	
			588110	4	卒業研究Ⅰ	S	1							2		1	1				○	○	
			588210	4	卒業研究Ⅱ	S	1								2	1	1				○	○	
	展開科目	CAD	343800	3	建築プレゼンテーション	S	2				2					2	2	J	F		○	○	
			342600	1	建築ＣＡＤⅠ	S	2		2							2	2	A	A		○	○	
			342700	2	建築ＣＡＤⅡ	S	2			2								A	A		○	○	
			342710	3	建築ＣＡＤⅢ	S	2				2							A	A	○	○	○	
			342900	3	建築ＣＧ	S	2					2						J	F	○	○	○	※「建築設計特別演習」は「建築設計演習Ⅱ」を履修した者のみ履修可。
		設計	343112	2	建築設計演習Ⅲ	S	3				3					3		A	A		○	○	
			343113	3	建築設計演習Ⅳ	S	3					3						A	A	○	○	○	※「建築ＣＡＤⅡ」は「建築ＣＡＤⅠ」を履修した者のみ履修可。「建築ＣＡＤⅢ」は「建築ＣＡＤⅡ」を履修した者のみ履修可。
			343114	3	建築設計演習Ⅴ	S	3						3					A	A	○	○	○	
			546400	4	スタジオ設計演習	S	3							3				A	A		○	○	
			343120	4	建築設計特別演習	S	3								3			A	A		○	○	
			343540	3	建築思想作品論	L	2				2							J	F	○	○	○	※週時間数欄の［　］は集中講義
			343550	4	建築設計デザイン演習	S	2								2	2	2	J	F		○	○	
			231770	2	海外建築研修	S	2	(30)		(30)		(30)						J	F	○	○		※「海外建築研修」は3年に1回開講する。
			367900	2	国内建築研修Ａ	S	2	(30)		(30)		(30)						J	F	○	○	○	
			367901	2	国内建築研修Ｂ	S	2		(30)		(30)		(30)					J	F	○	○	○	※「インテリアデザイン演習Ⅰ」は「インテリアデザイン論」を履修した者のみ履修可。「インテリアデザイン演習Ⅱ」は「インテリアデザイン演習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
		空間	145700	1	インテリアデザイン論	L	2		2									J	F		○	○	
			145010	2	インテリアデザイン演習Ⅰ	S	2			2								J	F	○	○	○	
			145011	3	インテリアデザイン演習Ⅱ	S	2				2							J	F	○	○	○	※「ランドスケープデザイン演習」は「ランドスケープデザイン論」を履修した者のみ履修可。
			830110	2	ランドスケープデザイン論	L	2			2								J	F	○	○	○	
			830100	3	ランドスケープデザイン演習	S	2				2							J	F	○	○	○	
			100100	2	アーバンデザイン	L	2				2							J	F	○	○	○	※「福祉環境演習」は「福祉環境論」を履修した者のみ履修可。
			741610	2	福祉環境論	L	2					2				2	2	J	F	○	○	○	
			741600	3	福祉環境演習	S	2						2					J	F	○	○	○	
			459310	2	商空間デザイン論	L	2					2					2	J	F	○	○	○	※「商空間デザイン演習Ⅰ」は「商空間デザイン論」を履修した者のみ履修可。「商空間デザイン演習Ⅱ」は「商空間デザイン演習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
			459300	3	商空間デザイン演習Ⅰ	S	2						2					J	F	○	○	○	
			459301	4	商空間デザイン演習Ⅱ	S	2							2				J	F		○	○	
			343590	2	建築リノベーション論	L	2						2				2	J	F	○	○	○	
			343580	3	建築リノベーション演習	S	2							2				J	F		○	○	※「建築リノベーション演習」は「建築リノベーション論」を履修した者のみ履修可。
			343700	3	建築フィールドワーク	S	2								2			J	F		○	○	

教育課程表［理工学部 建築学科］（2026年度入学生用）

区分			科目コード	水準コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 卒業 建築コース	卒業 空間デザインコース	一級建築士	二級・木造建築士	他学科	GPA	CAP	備考
専門教育科目	展開科目	歴史	572700	1	西洋建築史	L	2		2							2	2	B	B		○	○	※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
			645500	1	日本建築史	L	2			2						2	2	B	B		○	○	
			316200	2	近現代建築史	L	2				2							B	B	○	○	○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
			437010	2	住居史	L	2					2						J	F		○	○	
		法規	344000	3	建築法規	L	2						2			2		H	E		○	○	※他学科欄に○印のある科目は他学科の学生も履修可能であることを示す。なお、人数等の関係で、他学科の学生が履修できない場合がある。
			344010	4	建築法規演習	S	2							2				H	E		○	○	
		材料・施工	343330	2	建築材料学	L	2					2				2	2	F	C		○	○	
			343340	3	建築材料学実験	P	1						3					F	C		○	○	
			343420	2	建築施工	L	2						2					G	D		○	○	
			343430	3	建築施工演習	S	2							2				G	D		○	○	
			343400	2	建築積算	L	2						2					G	D	○	○	○	※「建築法規演習」は「建築法規」を履修した者のみ履修可。
			343410	3	建築積算演習	S	2							2				G	D		○	○	
			343570	3	建築マネジメント	L	2								2			J	F		○	○	※「建築材料学実験」は「建築材料学」を履修した者のみ履修可。
		構造	343320	1	建築構法	L	2		2							2	2	2	C		○	○	
			342400	2	建築一般構造学	L	2			2						2	2	2	C		○	○	※「建築施工演習」は「建築施工」を履修した者のみ履修可。
			343300	2	建築構造力学Ⅰ	L	2			2						2	2	E	C		○	○	
			343301	3	建築構造力学Ⅱ	L	2				2					2		E	C		○	○	※「建築積算演習」は「建築積算」を履修した者のみ履修可。
			343310	3	建築構造力学演習Ⅰ	S	2					2						E	C	○	○	○	
			343311	4	建築構造力学演習Ⅱ	S	2						2					E	C	○	○	○	※「建築構造力学Ⅱ」は「建築構造力学Ⅰ」を履修した者のみ履修可。「建築構造力学演習Ⅰ」は「建築構造力学Ⅱ」を履修した者のみ履修可。「建築構造力学演習Ⅱ」は「建築構造力学演習Ⅰ」を履修した者のみ履修可。
		環境設備	343200	3	建築環境学	L	2			2						2	2	C	B	○	○	○	
			343210	4	建築環境学演習	S	2				2							C	B	○	○	○	
			343220	3	建築設備	L	2					2					2	D	B	○	○	○	
			343230	4	建築設備演習	S	2						2					D	B	○	○	○	
		関連科目	439000	1	住生活論	L	2	2										J	F		○	○	※「建築環境学演習」は「建築環境学」を履修した者のみ履修可。
			686500	1	人間工学	L	2	2										J	F		○	○	
			343560	1	建築比較文化論	L	2		2											○	○	○	
			622400	1	デッサン	S	1		2												○	○	
			399500	1	色彩学	L	2				②		②								○	○	
			546300	1	スケッチ表現	S	1			2										○	○	○	

＜各種免許・資格について＞

※一級建築士 ：必修単位欄から、A=7単位以上、B=7単位以上、C=2単位以上、D=2単位以上、E=4単位以上、F=2単位以上、G=2単位以上、H=1単位以上、J=適宜
合計60単位以上修得すること。修得単位数により、免許登録までに必要な実務経験年数が異なる。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

※二級・木造建築士 ：必修単位欄から、A=3単位以上、B=2単位以上、C=3単位以上、D=1単位以上、E=1単位以上、F=適宜　合計40単位以上修得すること。
修得単位数により、免許登録までに必要な実務経験年数が異なる。詳細は「Ⅱ．免許･資格の手引」を参照すること。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

教育職員免許状に関する科目

［教育職員免許状に関する科目］（2026年度入学生用）

対象：日文・書道・英文・現心

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修単位 日本文学科 中一国	日本文学科 高一国	日本文学科 高一書	書道学科 中一国	書道学科 高一国	書道学科 高一書	英語英米文学科 中一英	英語英米文学科 高一英	現代心理学科 養教一	他学科	GPA	CAP	対象学科 日文	書道	英文	現心
教育の基礎的理解に関する科目	285300	教育原論	L	2		2							2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	309600	教職論	L	2		2							2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	299100	教育制度論	L	2					2				2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	278902	教育・学校心理学	L	2			2						2	2	2	2	2	2	2	2		児教	○		○	○	○	
	278900						2														2	○	○	現心				○
	636500	特別支援教育論 *1	L	1					1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	○	○		○	○	○	○
	283000	教育課程論	L	2				2					2	2	2	2	2	2			2	○	○		○	○		○
										2									2	2		○	○				○	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目＊	632200	道徳教育論	L	2				2		(2)			2	(2)*	(2)*	2	(2)*	(2)*	2	(2)*	2	○	○		○	○	○	○
	635400	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2						2			2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	304200	教育方法論	L	2			2						2	2	2	2	2	2	2	2	2	○	○		○	○	○	○
	476600	情報通信技術の活用 *1	L	1			1						1	1	1	1	1	1	1	1		○	○		○	○	○	
	569200	生徒指導・進路指導論	L	2					2				2	2	2	2	2	2	2	2		○	○		○	○	○	
	558000	生徒指導論	L	2						2											2	○	○					○
	299700	教育相談の理論と方法（中・高）	L	2					2				2	2	2	2	2	2	2	2		児教	○		○	○	○	
	299601	教育相談の理論と方法	L	2						2											2	○	○	現心				○
教育実践に関する科目	290300	教育実習指導（中・高）	S	1							2		1	1		1	1		1	1		児教	○		○	○	○	
											【4】				1			1					○		○	○		
	811810	養護実習指導 *1	S	1						1											1	○	○					○
	289400	教育実習Ⅰ（中・高）	P	2							(60)	(60)	2	2	2	2	2	2	2	2		児教	○		○	○	○	
	289500	教育実習Ⅱ（中・高）	P	2							(60)	(60)	2	(2)	(2)	2	(2)	(2)	2	(2)			○		○	○	○	
	811800	養護実習	P	4							[120]										4	○	○					○
	292200	教職実践演習（中・高）	S	2								2	2	2	2	2	2	2	2	2			○		○	○	○	
	292400	教職実践演習（養護教諭）	S	2								2									2	○	○					○
教科及び教科の指導法に関する科目（情報通信技術の活用を含む。）各教科の指導法	357100	国語科教育法Ⅰ	L	2					2				2	2		2	2					児教	○		○	○		
	357200	国語科教育法Ⅱ	L	2						2			2	2		2	2					児教	○		○	○		
	361500	国語教育の理論と方法Ⅰ	L	2					2				2	(2)		2	(2)					児教	○		○	○		
	361600	国語教育の理論と方法Ⅱ	L	2						2			2	(2)		2	(2)					児教	○		○	○		
	497300	書道科教育法Ⅰ	L	2					2						2			2					○		○	○		
	497400	書道科教育法Ⅱ	L	2						2					2			2					○		○	○		
	491600	書写・書道教育の理論と方法	L	2						2					(2)			(2)					○		○	○		
	176000	英語科教育法Ⅰ	L	2					2										2	2		児教	○				○	
	176100	英語科教育法Ⅱ	L	2						2									2	2		児教	○				○	
	181200	英語教育の理論と方法Ⅰ	L	2					2										2	2		児教	○				○	
	181300	英語教育の理論と方法Ⅱ	L	2						2									2	(2)		児教	○				○	
	181400	英語教育の理論と方法Ⅲ	L	2							2								(2)	(2)			○				○	
	235000	介護体験指導	S	1					2				1			1			1			○	○		○	○	○	
	246500	学校等支援活動	P	1			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	−	−	−	−	−	−	−	−	−				○	○	○	○

注）教育職員免許状取得のためには上記の他、次の科目の単位を修得しなければならない。

1）教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）：各学科の教育課程表を参照

2）教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目：日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（［共通教育科目］教育課程表を参照）

3）養護に関する科目：養護教諭のみ（学科の教育課程表を参照）

＊養護教諭一種免許状における区分は、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」とする。

※授業科目欄に＊1のある科目は15時間授業である。

※開講学期及び週時間数欄の[　]は集中講義である。

※開講学期及び週時間数欄の【　】はクオーター開講である。

※開講学期及び週時間数欄の(　)印は、英語英米文学科のみ適用される。

※必修単位欄に(　)のある科目は選択科目である。

※必修単位欄に＊印のある科目は教育職員免許法に定める「大学が独自に設定する科目」である。

※他学科欄に○印のある科目は児童教育学科、幼児教育学科の学生のみ履修することができる。「児教」と記載のある科目は児童教育学科の学生のみ履修することができる。

※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。

※CAP欄に学科名の記載がある科目は、記載の学科のみCAP制対象科目である。

※学校等支援活動は教職科目の単位には算入できない。

［教育職員免許状に関する科目］（2026年度入学生用）

対象：生デ・管理

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 生活デザイン学科 中一家	生活デザイン学科 高一家	管理栄養学科 中一家	管理栄養学科 高一家	管理栄養学科 栄教一	他学科	GPA	CAP	対象学科 生デ	対象学科 管理
教育の基礎的理解に関する科目	285300	教育原論	L	2		2							2	2	2	2	2		○		○	○
	309600	教職論	L	2		2							2	2	2	2	2		○		○	○
	299100	教育制度論	L	2					2				2	2	2	2	2		○		○	○
	278902	教育・学校心理学	L	2			2						2	2	2	2	2		○		○	○
	636500	特別支援教育論 *1	L	1					1				1	1	1	1	1		○		○	○
	283000	教育課程論	L	2				2					2	2					○		○	
										2					2	2	2		○			○
＊道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	632200	道徳教育論	L	2				2					2	(2)*	2	(2)*	2		○		○	○
	635400	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	L	2						2			2	2	2	2	2		○		○	○
	304200	教育方法論	L	2			2						2	2	2	2	2		○		○	○
	476600	情報通信技術の活用 *1	L	1			1						1	1	1	1			○		○	○
	569200	生徒指導・進路指導論	L	2					2				2	2	2	2			○		○	○
	558000	生徒指導論	L	2						2							2		○			○
	299700	教育相談の理論と方法（中・高）	L	2					2				2	2	2	2	2		○		○	○
教育実践に関する科目	290300	教育実習指導（中・高）	S	1							2		1	1	1	1			○		○	○
	245200	学校栄養教育実習指導	S	1							2						1		○			○
	289400	教育実習Ⅰ（中・高）	P	2							(60)	(60)	2	2	2	2			○		○	○
	289500	教育実習Ⅱ（中・高）	P	2							(60)	(60)	2	(2)	2	(2)			○		○	○
	245100	学校栄養教育実習	P	1							(30)	(30)					1		○			○
	292200	教職実践演習（中・高）	S	2								2	2	2	2	2			○		○	○
	292300	教職実践演習（栄養教諭）	S	2								2					2		○			○
教科及び教科の指導法に関する科目（各教科への情報通信技術の活用を含む。）	251100	家庭科教育法Ⅰ	L	2			2						2	2	2	2			○		○	○
	251200	家庭科教育法Ⅱ	L	2					2				2	2	2	2			○		○	○
	250400	家庭科教育の理論と方法Ⅰ	L	2				2					2	(2)	2	(2)			○		○	○
	250500	家庭科教育の理論と方法Ⅱ	L	2						2			2	(2)	2	(2)			○		○	○
	235000	介護体験指導	S	1					2				1		1				○		○	○
	246500	学校等支援活動	P	1			(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	－	－	－	－	－				○	○

注）教育職員免許状取得のためには上記の他、次の科目の単位を修得しなければならない。
　１）教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）：各学科の教育課程表を参照
　２）教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目：日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作（［共通教育科目］教育課程表を参照）
　３）栄養に係る教育に関する科目：栄養教諭のみ（下表のとおり）
　４）管理栄養学科の学生は、管理栄養士必修科目を優先に時間割を作成するため教職関連科目と重複する場合、次期学年で履修すること。

＊栄養教諭一種免許状における区分は、「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」とする。

※授業科目欄に＊1のある科目は15時間授業である。

※開講学期及び週時間数欄の[　]は集中講義である。

※必修単位欄に( )のある科目は選択科目である。

※必修単位欄に＊印のある科目は教育職員免許法に定める「大学が独自に設定する科目」である。

※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。

※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。

※学校等支援活動は教職科目の単位には算入できない。

［栄養に係る教育に関する科目］（2026年度入学生用）

対象：管理

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 栄教一	GPA	CAP	備考
栄養に係る教育に関する科目	245300	学校栄養指導論Ⅰ	L	2						2			2	○		
	245400	学校栄養指導論Ⅱ	L	2							2		2	○		

※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。

※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。

Yasuda Women's University

2026
教育課程表

資格に関する科目

（１）学校図書館司書教諭に関する科目 （2026年度入学生用）

対象：日文・書道・英文・児教・生デ

区分	科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	備考
学校図書館司書教諭に関する科目	245500	学校経営と学校図書館	L	2					2				2	○		※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
	248500	学校図書館メディアの構成	L	2						2			2	○		※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	241500	学習指導と学校図書館	L	2						2			2	○		
	634500	読書と豊かな人間性	L	2			(2)		2				2	○		
	479510	情報メディアの活用	L	2						2			2	○		

注）学校図書館司書教諭資格取得のためには、教育職員免許状取得が条件である。

注）開講学期及び週時間数欄の（　）印は、児童教育学科のみ適用される。

（２）司書に関する科目（2026年度入学生用）

対象：日文・書道

区分		科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	備考
司書に関する科目	甲群	440400	生涯学習概論	L	2				2					2	○		※週時間数欄の［　］は集中講義
		638000	図書館概論	L	2			2						2	○		
		641700	図書館情報技術論	L	2					2				2	○		※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		642500	図書館制度・経営論	L	2							2		2	○		
		640900	図書館サービス概論	L	2				2					2	○		※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
		473300	情報サービス論	L	2						2			2	○		
		412000	児童サービス論	L	2					2				2	○		
		472700	情報サービス演習	S	2							4		2	○		
		641800	図書館情報資源概論	L	2				2					2	○		
		473600	情報資源組織論	L	2					2				2	○		
		473500	情報資源組織演習	S	2						4			2	○		
	乙群	639500	図書館基礎特論 *1	L	1							1		1	○		
		641300	図書館実習	P	1							[30]		1	○		

注）*1は1学期15時間

（３）学芸員に関する科目 （2026年度入学生用）
対象：日文・書道・生デ

区分		科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位 日本文学科	書道学科	生活デザイン学科	GPA	CAP	備考
学芸員に関する科目	生涯学習概論	440400	生涯学習概論	L	2				2					2	2	2	○		※週時間数欄の［ ］は集中講義
	博物館概論	711600	博物館概論	L	2			2						2	2	2	○		
	博物館経営論	713700	博物館経営論	L	2				2					2	2	2	○		
	博物館資料論	714600	博物館資料論	L	2					2				2	2	2	○		
	博物館資料保存論	714400	博物館資料保存論	L	2						2			2	2	2	○		
	博物館展示論	714700	博物館展示論	L	2						2			2	2	2	○		※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
	博物館情報・メディア論	714300	博物館情報・メディア論	L	2					2				2	2	2	○		
	博物館教育論	713300	博物館教育論	L	2					2				2	2	2	○		※CAP欄に学科名の記載がある科目は、記載の学科のみCAP制対象科目である。
	博物館実習	714000	博物館実習Ⅰ	P	1						2			1	1	1	○		
		714100	博物館実習Ⅱ	P	1							[30]		1	1	1	○		
		714200	博物館実習Ⅲ	P	1								[30]			1	○		
		377000	古文書学実習	P	1					2				1			○		
		499500	書道実地研究	P	1						1[30]				1		○	書道	
	関連科目	677100	日本文化論Ⅰ	L	2	2								2			○	日文	注：日本文学科の学生は、Ａの中から４単位履修すること。
		677200	日本文化論Ⅱ	L	2		2							2			○	日文	
		495000	書道概論	L	2		2								2		○	書道	
		676100	日本文化史Ⅰ	L	2			2						A			○	日文	
		676200	日本文化史Ⅱ	L	2				2								○	日文	
		376100	古文書学Ⅰ	L	2			2						2			○	日文	
		376200	古文書学Ⅱ	L	2				2					2			○	日文	
		499100	書道史Ⅰ	L	2			2							2		○	書道	
		499200	書道史Ⅱ	L	2				2						2		○	書道	
		650000	日本文化文学実地研究Ⅰ	L	2					2				A			○	日文	
		650100	日本文化文学実地研究Ⅱ	P	2						2[30]						○	日文	
		738310	表具と修復	L	1			[15]							1		○	書道	
		259000	鑑賞	L	2						2				2		○	書道	
		578500	石碑と法帖	L	2				2						2		○	書道	
		399500	色彩学	L	2			②		②		②				4	○	生デ	
		231310	絵画・デッサンⅠ	P	1		2										○	生デ	
		231320	絵画・デッサンⅡ	P	1			2									○	生デ	
		620700	デザイン基礎	L	2			2									○	生デ	
		583700	造形表現	P	1				③		③		③				○	生デ	

（４）日本語教員養成に関する科目 （2026年度入学生用）

対象：日文・英文

区分		科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	対象学科 日本文学科	対象学科 英語英米文学科	GPA	CAP	備考
日本語教員養成に関する科目	地域・社会・文化	677100	日本文化論Ⅰ	L	2	2								2	○		○	日文	※週時間数欄の［ ］は集中講義
		140400	異文化理解	S	2			2								○	○	英文	
		659400	日本語教育事情	L	2			2						2	○	○	○		※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
	言語と社会	427000	社会言語学	L	2							2		2	○	○	○	英文	
	言語と心理	525000	心理言語学	L	2							2		2	○	○	○	英文	※CAP欄に学科名の記載がある科目は、記載の学科のみCAP制対象科目である。
	言語と教育	659500	日本語教授法Ⅰ	L	2				2					2	○		○		
											2					○	○		
		659600	日本語教授法Ⅱ	L	2					2				2	○	○	○		
		660000	日本語教育教材教具論	S	1						2			1	○	○	○		
		661000	日本語教育実習Ⅰ	P	2							[60]	[60]	2	○		○		＊1
											[60]	[60]	[60]			○	○		＊2
		139000	異文化コミュニケーションⅠ	L	2					2				2	○		○		
										②		②				○	○	英文	
		304200	教育方法論	L	2			2						2	○	○	○		
	言語	332000	言語学概論Ⅰ	L	2			2						2	○		○	日文	
										②		②				○	○	英文	
		332100	言語学概論Ⅱ	L	2				2					2	○		○	日文	
									②		②					○	○	英文	
		668600	日本語文法論	L	2				2					2	○		○	日文	
											2					○	○		
		655000	日本語音声学	L	2		2							2	○	○	○	日文	
		667800	日本語口頭表現演習	S	1						2			1	○	○	○	日文	
	選択科目	656100	日本語学概説Ⅱ	L	2		2							4	○		○	日文	
		672100	日本文学概論Ⅱ	L	2		2								○		○	日文	
		675100	日本文学史Ⅱ	L	2				2						○		○	日文	
		677200	日本文化論Ⅱ	L	2		2								○		○	日文	
		676200	日本文化史Ⅱ	L	2				2						○		○	日文	
		661100	日本語教育実習Ⅱ	P	2										○				※「日本語教育実習Ⅱ」は非開講とする。
		139100	異文化コミュニケーションⅡ	L	2						②		②	4		○	○	英文	
		132600	イギリスの社会と文化	L	2						②		②			○	○	英文	
		101000	アジアの社会と文化	L	2					②		②				○	○	英文	

＊1：前期か後期のいずれか一つを履修
＊2：いずれかの学期で履修

（５）社会調査士に関する科目(2026年度入学生用)

対象：現心・現ビ・観光・公共

区分		科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	対象学科 現代心理学科	現代ビジネス学科	国際観光ビジネス学科	公共経営学科	備考
社会調査士に関する科目	社会調査の基本的事項に関する科目	610700	調査概論	L	2				②		②		②	2	○	現心	○				※開講学期欄の②は、表示のあるいずれかの学期で履修することができる。
							②		②		②		②		○			○	○	○	
	調査設計と実施方法に関する科目	520200	心理学基礎演習Ⅲ	S	2				2					2	○	現心	○				※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
									②		②		②		○			○	○	○	
		525900	心理調査法	S	2	②		②		②		②			○			○	○	○	※CAP欄に学科名の記載がある科目は、記載の学科のみCAP制対象科目である。
	基本的な資料とデータの分析に関する科目	522300	心理学統計法Ⅰ	L	2			2						2	○	現心	○				
		616400	データサイエンス演習Ⅰ	S	2				2						○	現ビ公共		○	○	○	
	社会調査に必要な統計学に関する科目	631300	統計学	L	2		2							2	○		○				
								2							○	観光			○		
		616300	データサイエンスⅠ	L	2			2							○	現ビ公共		○		○	
	多変量解析の方法に関する科目	522310	心理学統計法Ⅱ	S	2					2				2	○	現心	○				
		616410	データサイエンス演習Ⅱ	S	2					2					○	現ビ公共		○	○	○	
	社会調査を実際に経験し学習する科目	729600	ビジネス心理学演習Ⅰ	S	2					②		②		4	○		○	○	○	○	
		729610	ビジネス心理学演習Ⅱ	S	2						②		②		○		○	○	○	○	

（６）准学校心理士に関する科目（2026年度入学生用）

対象：児教・幼教

区分		科目コード	授業科目	授業形態	単位数	開講学期及び週時間数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	必修単位	GPA	CAP	対象学科 児童教育学科	幼児教育学科	備考
准学校心理士に関する科目	教育心理学	278901	教育・学校心理学	L	2			2						3科目6単位以上	○	○	○		※GPA欄に○印のある科目はGPA計算対象科目である。
		298000	教育心理学	L	2			2							○	○		○	※CAP欄に○印のある科目はCAP制対象科目である。
	発達心理学	715100	発達心理学Ⅰ	L	2	2									○	○	○	○	
		715200	発達心理学Ⅱ	L	2		2								○	○	○	○	
	教育相談	299600	教育相談の理論と方法	L	2					2					○	○	○	○	
	特別支援教育	451600	障害児保育	S	2				2						○	○		○	

注）准学校心理士資格取得のためには、教育免許または保育士資格取得が条件である。

2026

Yasuda Women's University

Ⅱ. 免許・資格の手引

2026年度入学生用

免許・資格の取得を考えている学生のみなさんへ

本学では、免許や資格取得のために多くの授業を開講しています。免許・資格取得のための授業は、それを認定する監督官庁や団体によって定められ、さまざまな条件が設けられています。そこで、ここに免許・資格の取得に関する諸規定等をまとめました。４年間（薬学部においては６年間）の学修計画を立てる時に活用し、免許・資格の取得に役立ててください。

免許・資格を取得するためには、必修科目と選択科目があります。免許・資格に必要な科目やその開講年次・学期等は、教育課程表に記しています。もしわからないことや疑問に思うことがあれば、免許・資格科目の授業担当者や学科の教務委員、または教務課に問い合わせてください。また、免許・資格の説明会も開かれますので、免許・資格の取得を考えている方は、必ず出席してください。

免許・資格によっては、取得するために多くの授業時間を必要とし、また、学外の諸施設における実習を必要とするものもあります。さらに、実習に参加するための条件を設けているものもあります。免許・資格に対して情熱を持てないままに授業を受けて力不足で実習に出ると、実習先に多大な迷惑をかけることになります。自分の将来の目標や職業選択にとって有効な免許・資格を見極め、主体的に学修してください。

取得可能な免許・資格一覧

免許・資格名称 ＼ 学部・学科名		文学部			教育学部		心理学部		現代ビジネス学部			家政学部			薬学部	看護学部	理工学部		
		日本文学科	書道学科	英語英米文学科	児童教育学科	幼児教育学科	現代心理学科	ビジネス心理学科	現代ビジネス学科	国際観光ビジネス学科	公共経営学科	生活デザイン学科	管理栄養学科	造形デザイン学科	薬学科＊	看護学科	生物科学科	情報科学科	建築学科
教育職員免許状	幼稚園教諭一種免許状				○	○													
	小学校教諭一種免許状				○														
	中学校教諭一種免許状　国語	○	○																
	高等学校教諭一種免許状　国語	○	○																
	高等学校教諭一種免許状　書道	○	○																
	中学校教諭一種免許状　英語			○															
	高等学校教諭一種免許状　英語			○															
	中学校教諭一種免許状　家庭											○	○						
	高等学校教諭一種免許状　家庭											○	○						
	養護教諭一種免許状						○												
	栄養教諭一種免許状												○						
各種免許・資格	学校図書館司書教諭	○	○	○	○							○							
	司書	○	○																
	学芸員	○	○									○							
	日本語教員	○		○															
	保育士					○													
	准学校心理士				○	○	○												
	日本心理学会認定心理士						○	○											
	認定心理士（心理調査）						○	○											
	社会調査士						○	○	○	○	○								
	公認心理師（国家試験受験資格）						◇												
	上級ビジネス実務士								○										
	社会福祉主事（任用資格）										○								
	一級建築士（国家試験受験資格）																		□
	二級建築士（国家試験受験資格）											□							□
	木造建築士（国家試験受験資格）											□							□
	インテリアプランナー（登録資格）											▲							▲
	フードスペシャリスト（受験資格）											□							
	専門フードスペシャリスト（食品開発）（受験資格）											□							
	専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）（受験資格）											□							
	栄養士												○						
	管理栄養士（国家試験受験資格）												□						
	食品衛生管理者（任用資格）												○		○		○		
	食品衛生監視員（任用資格）												○		○		○		
	ウェブデザイン実務士													○					
	薬剤師（国家試験受験資格）														□				
	看護師（国家試験受験資格）															□			
	保健師（国家試験受験資格）															□			
	助産師（国家試験受験資格）															□			

上記教育職員免許状の種別は、以下それぞれ「幼一種免」「小一種免」「中一種免」「高一種免」「養教一種免」「栄教一種免」と省略する。

○…卒業と同時に取得できる免許・資格（取得のための課程を履修し単位修得すること）
□…免許・資格の受験資格が取得できる（取得のための課程を履修し単位修得すること）
▲…免許・資格の登録資格が取得できる（取得のための課程を履修し単位修得すること＋試験に合格していることが必要）
◇…免許・資格の受験資格が取得できる（取得のための課程を履修し単位修得すること＋大学院において取得のための課程を履修し単位修得すること、もしくは卒業後の実務経験が必要）
＊…薬剤師国家試験に合格すると薬剤師免許の他、種々（食品衛生管理者等）の資格が取得できる。（P. 190～192参照）

【注意事項】
1）組み合わせによっては取得できないものがあるので、所属する学科の教務委員またはチューターに問い合わせること。
2）編入学生は取得できないものがあるので、所属する学科の教務委員またはチューターに問い合わせること。
3）任用資格とは、その職種に任用される資格を持つとみなされる資格である。公務員または民間の施設等に採用され、特定の業務に任用される時にその効力を発揮する。
4）受験資格とは、免許・資格取得試験を受験するための要件を満たしていることを証明する資格である。

1 教育職員免許状の取得について

1. 教育職員免許状について

教育職員免許状（以下「免許状」）を取得するためには、教育職員免許法および教育職員免許法施行規則に基づき、文部科学大臣の認定を受けた教育課程において、所定の単位を修得しなければなりません。本学で取得できる免許状は、前ページの表に示すとおりです。これらの免許状を取得するために必要な科目および単位数は、各学科の教育課程表、教育職員免許状に関する科目の教育課程表に記されています。

免許状の取得を希望する学生は、基礎資格（=学士の学位）を有し、免許状の取得に必要な科目を履修し単位を修得すれば免許状取得の所要資格が得られます（下表参照）。所要資格を得た後、各都道府県の教育委員会へ申請手続を行うことで、免許状が授与されます。

教育課程表の指定された年次･学期の授業科目を確認し、卒業までの履修計画を立てておきましょう。

なお、必修科目の「教職実践演習」では「教職履修カルテ」を使用します。詳細は別途説明します。

2. 基礎資格ならびに最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験
		施行規則第66条の6				領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	
		日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				
幼一種免	学士の学位を有すること。	2	2	2	2	16	14	21	不要

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験
		施行規則第66条の6				教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	
		日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				
小一種免	学士の学位を有すること。	2	2	2	2	30	2	27	要
中一種免		2	2	2	2	28	4	27	要
高一種免		2	2	2	2	24	12	23	不要

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験
		施行規則第66条の6				養護に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	
		日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				
養教一種免	学士の学位を有すること。	2	2	2	2	28	7	21	不要

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験
		施行規則第66条の6				栄養に係る教育に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	
		日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作				
栄教一種免	学士の学位を有すること、かつ、管理栄養士の免許を受けていること又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	2	2	2	2	4	-	18	不要

3. 編入学生の免許状取得について

編入学生が本学において教育職員免許状を取得しようとする場合、出身大学・短期大学の教職課程認定の有無、教育職員免許状所有の有無等によって履修方法・内容が異なります。

編入学後の履修を一部免除される場合や２年間での免許状取得ができない場合等、それぞれ条件が異なりますので、所属する学科の教務委員またはチューターに問い合わせてください。

4. 介護等体験

1）介護等体験とは

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（教員免許特例法）により、小・中学校の教育職員免許状を取得しようとする者は、特別支援学校と社会福祉施設であわせて７日間の介護等体験が義務付けられています。

2）介護等体験の目的

・さまざまな生活上の条件、価値観をもつ人間・生活・職業があることに気づく。
・人と関わり、人を援助するうえで大切にすべき姿勢や視点を体験的に学ぶ。
・誰もが自己実現や成長への欲求と可能性をもっていることを援助者は認め支援する。
・社会で働くうえでのルール等についての基本的事項を学ぶ。

3）体験参加年次

・日文・書道・英文・生デ・管理　　３年次
・児教　　２年次

4）体験先と体験日数及び体験時期

・特別支援学校 … ２日間（５月下旬～１月上旬までの指定された日に体験）
・社会福祉施設 … ５日間（８月上旬～１月上旬までの指定された日に体験）

5）介護等体験の内容

・特別支援学校（２日間）

指定された特別支援学校で、２日間の体験を行います。体験内容は、授業への参加や児童・生徒との交流、行事への参加等です。体験終了後、体験が終了したことを証明する証明書が発行されます。

・社会福祉施設（５日間）

指定された社会福祉施設で、５日間の体験を行います。体験内容は、施設利用者の介護および介助や施設利用者との交流等です。体験終了後、体験を終了したことを証明する証明書が発行されます。社会福祉施設には、次の種類があります。

・老人福祉施設　・児童福祉施設　・障害福祉施設　等

6）申し込み

介護等体験に参加する前年度の11月に行われる申込説明会に出席したうえ、定められた期日までに申込書を提出します。

7）事前指導

介護等体験に参加する前に、以下の説明会・事前指導を４回行います。原則として、これらの説明会・事前指導に全て出席しなければ介護等体験への参加は認められません。

体験前年度11月……介護等体験申込説明会
体験年度４月……第１回介護等体験事前指導（特別支援学校）
体験年度５月……介護等体験合同事前指導（特別支援学校）
体験年度６月……第２回介護等体験事前指導（社会福祉施設）

8）費用

社会福祉施設における体験に参加するには、費用が必要です。5日間の費用として11,250円（1日あたり2,250円）を体験参加前に納入してください。この費用は、1日当たり1,500円（体験受入経費）が体験施設、750円（受入調整経費）が広島県社会福祉協議会に分配されます（金額変更の可能性あり）。その他、社会福祉施設ごとに若干の費用が必要になる場合があります。

なお、特別支援学校での体験は、基本的に費用は不要です。

9）その他

・事前指導開催等の連絡は、「まほろばポータル」で行いますので、各自で確認してください。
・次の条件に該当する方は、体験の免除や体験の一部に充当することが可能になる場合があります。不明な点は、教務課へ問い合わせてください。

介護等体験の全て（7日間）が免除可能な者

●次の免許・資格を既に取得している者
保健師、助産師、看護師、准看護師、特別支援学校教諭免許、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士

●身体の障害により体験を行うことが困難な者
身体障害者手帳に記載された障害の程度が1級～6級に該当すること

介護等体験の一部に充当可能な者

●保育士資格取得者（取得希望者）

保育士資格取得者（取得希望者）は、資格科目である施設実習に参加すれば、介護等体験の一部（社会福祉施設での5日間分）に充当することができます。ただし、充当するには所定の証明書が必要となりますので、詳細は教務課に確認してください。

保育士資格取得を途中で断念する等の理由により、施設実習に参加しない場合は、小学校教諭免許状取得に係る社会福祉施設での5日間の体験への参加が必要になります。希望者は参加時期・方法等を教務課で確認して、参加漏れのないよう十分に注意してください。

●その他

「特別支援学校技能検定ボランティア」の活動に参加することで、この活動を介護等体験の一部（特別支援学校での2日間分）に充当できる場合があります。この場合、所定の証明書が必要となります。詳細は教務課へ問い合わせてください。

5. 教育実習

[1] 教育実習・養護実習履修の手続

教育実習・養護実習までには、その準備として約1年前から手続が進められます。実習前後の手続を滞りなく進めるために、自分は何をしないといけないかを十分に理解し、いかに多くの人の支援を必要とするかを認識しておきましょう。特に、学外の教育機関の方々と接して手続を進める機会が多くなります。手続に不備があると実習自体に支障が生じることになり、また周囲に多大な迷惑をかけることになります。実習に対しては、各自が責任をもって臨み、自覚ある行動をとることが大切です。

以下は、教育実習・養護実習履修の大きな流れを示したものです。実習校・実習園によっては手続の方法や実習時期等が異なる場合がありますので、実習担当者の説明や連絡等をよく確認して、間違いのないように注意しましょう。示したもの以外にも、教育委員会への依頼やお礼、実習研究連絡協議会との調整など実習に関わる事項はたくさんあります。

その他、詳細については教務課や学科によるガイダンスで説明されます。

実習希望校調査 内々諾依頼

＜実習前年度＞
実習参加資格の有無を確認したうえで、実習希望校調査に回答します。また、実習希望校へ連絡をとり、実習の受け入れについて内々諾を得ます。

実習希望校訪問（内諾依頼）

＜実習前年度＞
大学が準備する書類を持参して、各自で実習希望校へ実習受け入れのお願いに行きます。（訪問を不要とする場合、大学から郵送対応）

内諾通知 実習決定連絡

＜内諾依頼以降＞
実習希望校から内諾可否の通知が大学へ届きます。
内諾の可否を実習担当者から連絡します。

履修登録

＜実習年度・開講学期＞
実習参加資格を再度確認した上で、実習関係科目の履修登録を行います。

実習費用納入

＜実習期間以前＞
実習費用を納入します。実習校により金額が異なりますので、実習担当者に確認してください。納入方法・納入期間は実習担当者より連絡があります。

教育実習 養護実習	＜実習期間＞ 実習中は原則、制服を着用します。実習の打ち合わせ時や実習初日に「出勤簿」「成績報告書」等を実習校へ提出します。実習中に大学教員の巡回指導があります。
礼状送付	＜実習終了後＞ 実習校へ礼状を送付します。また、本学の訪問指導教員へ終了したことを報告してください。
実習記録提出	＜実習終了後＞ 実習の記録（実習日誌）を実習担当教員へ提出します。
実習校による評価	＜実習終了後＞ 実習校から「出勤簿」「成績報告書」が大学へ返送されます。
大学による評価 （単位認定）	＜実習終了後＞ 実習校評価に基づき、総合的に評価を判定します。

［2］教育実習要綱

1）教育実習履修資格

①教員としての適性があり、教員志望の意志が強固であること。

②実習協力校の正常な教育活動に支障を来すおそれのない者であること。

③本学における平素の履修状態が良好な者であること。したがって、正当な理由なく出席状況の悪い者及び履修態度の不良な者は、教育実習の履修を認めない。

④日本文学科・書道学科・英語英米文学科・生活デザイン学科・管理栄養学科において、教育実習を履修する場合は、特別な事情のない限り、３年次修了時までに次の要件を充足していなければならない。

- 共通教育科目のうち、教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- 専門教育科目３年次までに配当されているもののうち、卒業ならびに教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- 原則として教育職員免許状取得の必修単位をすべて修得していること（ただし、４年次に配当されている科目を除く）。
- その他、各学科の定める基準に達していること（なお、学科によっては、２年次修了時にも資格判定が行われることがある）。

⑤児童教育学科において、教育実習を履修する場合は、特別な事情のない限り、次の要件を充足していなければならない。

- ２年次の「教育実習Ⅰ」、２年次または３年次の「教育実習Ⅱ」を履修する場合
  共通教育科目：１年次修了時までに配当された教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
  専門教育科目：１年次修了時までに配当された卒業ならびに教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- ３年次の「教育実習Ⅲ」を履修する場合
  共通教育科目：２年次修了時までに配当された教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
  専門教育科目：２年次修了時までに配当された卒業ならびに教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- その他、学科の定める基準に達していること。

⑥幼児教育学科において、教育実習を履修する場合は、特別な事情のない限り、次の要件を充足していなければならない。

- ２年次の「教育実習（幼稚園Ⅰ）」を履修する場合
  共通教育科目：１年次修了時までに配当された教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
  専門教育科目：１年次修了時までに配当された卒業ならびに教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- ３年次の「教育実習（幼稚園Ⅱ）」を履修する場合
  共通教育科目：３年次前期修了時までに配当された教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
  専門教育科目：３年次前期修了時までに配当された卒業ならびに教育職員免許状取得に必要な所定の単位をすべて修得していること。
- その他、学科の定める基準に達していること。

⑦管理栄養学科において、「学校栄養教育実習」を履修する場合は、原則として３年次前期修了時までに配当された管理栄養士国家試験受験資格に必要な所定の単位をすべて修得していること。

⑧教育実習のために行われる特別講義ならびにガイダンスは必ず受講すること。

⑨教員採用試験受験の意志を有していること。

2）教育実習校（園）の選定

①教育実習校（園）は、出身学校（出身幼稚園）を原則とする。

②教育実習は、指定された期間に1校（園）で行うことを原則とする。

③児童教育学科2年次の「教育実習Ⅰ」は安田小学校で実施し、2年次または3年次の「教育実習Ⅱ」は安田幼稚園で実施することを原則とする。また、3年次の「教育実習Ⅲ」は出身小学校で実施することを原則とする。

④幼児教育学科2年次の「教育実習（幼稚園Ⅰ）」は安田幼稚園で実施し、3年次の「教育実習（幼稚園Ⅱ）」は出身幼稚園で実施することを原則とする。

⑤上記①～④にかかわらず、教職センター運営委員会あるいは各学科において、実習校（園）選定の調整を行う場合がある。

3）教育実習の時期・期間

①学科および取得希望の教育職員免許状に応じて、教育実習の時期・期間は下表のとおり実施することを原則とする。

学　科	免許状	時　期	期　間
日本文学科 書道学科 英語英米文学科 生活デザイン学科 管理栄養学科	中学校および高等学校	4年次	3週間以上
	中学校のみ	4年次	3週間以上
	高等学校のみ	4年次	2週間以上
児童教育学科	小学校	3年次	2週間以上
幼児教育学科	幼稚園	3年次	2週間以上
管理栄養学科	栄養教諭	4年次	1週間以上

②上記①にかかわらず、教育実習校(園)の都合等により、実施時期が変わることがある。

［3］養護実習要綱

養護実習要綱については、別途、学科より説明します。

6. 学校等支援活動

学校等支援活動とは、本学と学校等（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校）および保育所、ならびにその所管官庁との協定に基づき、本学の学生が行う保育・教育支援活動です。

活動に参加する学生は、学校等に大学から派遣され、学校等の校園長や指導教員等の指導・助言を受けて、教育活動の支援を行います。この活動を通して、教育活動が活性化することおよび、将来、教員や保育士を目指す学生の資質・能力の向上が期待されています。

この活動は、ボランティア活動ですが、本学の立場からは、教員や保育士を目指す学生に対する教育活動です。報酬も交通費の支給もありませんが、自分の学修のために、積極的に参加されることを望みます。

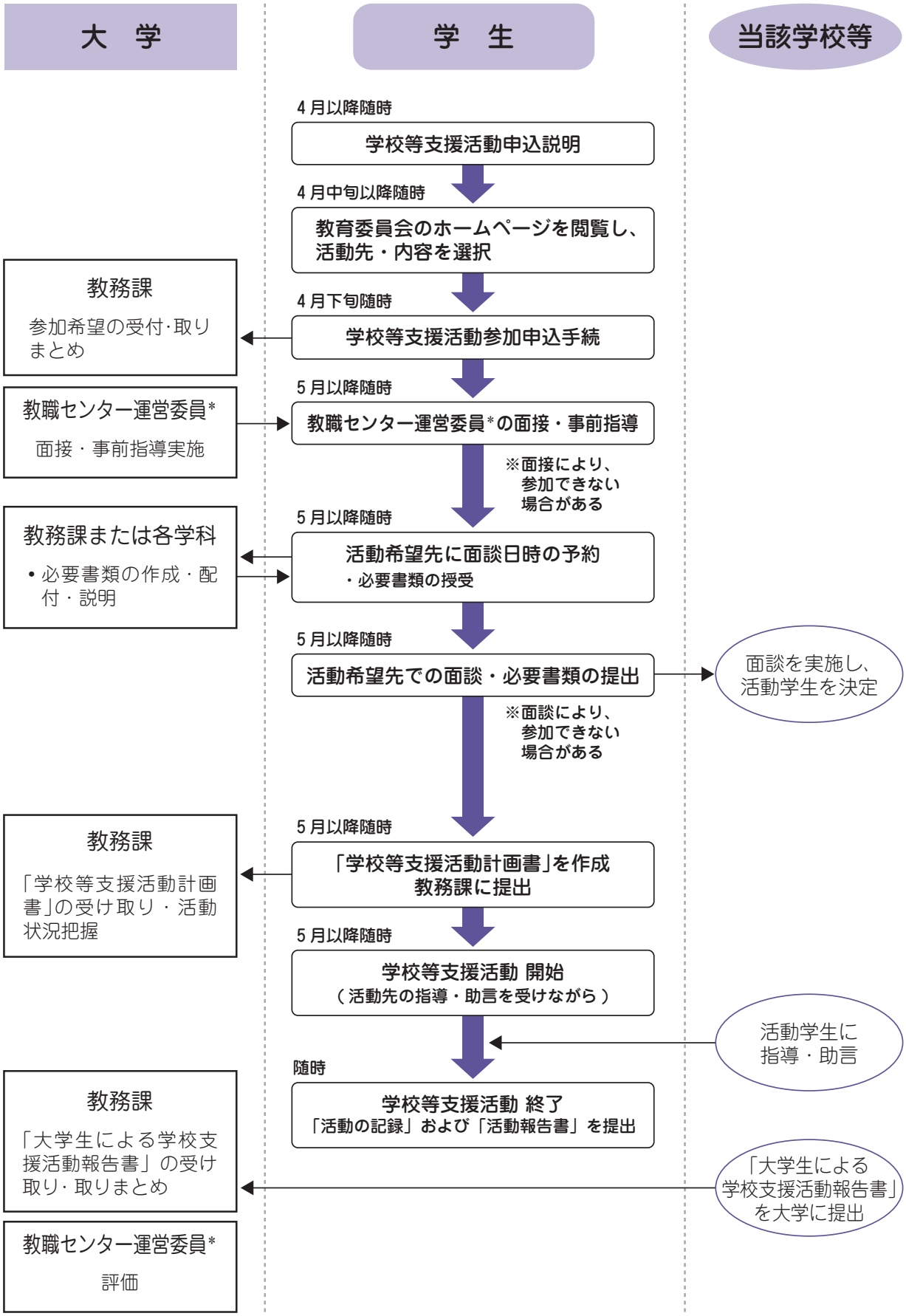
学校等支援活動は教育課程表に記載されていますが、授業時間割表には記載されません（履修登録は不要です）。

		児童教育学科・幼児教育学科	他　学　科
活動の時期		1年後期～4年後期	2年前期～4年後期
申込時期		活動当年度（随時）	
履修登録（申込方法）		通常の履修登録に代えて、別途「学校等支援活動」の申し込み手続を行う。	
単位認定	必要な時間数	30時間	
	認定時期	活動累計時間が30時間に達した年度または翌年度の後期末（通年科目とする）	
	対象期間（活動期間）	1月15日までの活動を当該年度の対象とする。 1月16日以降の活動時間は翌年度に繰り越す。	
	活動校（園）からの評価報告提出期日	原則、学生は活動の記録を1月末までに提出する。また、活動校（園）からの報告書も1月末までに郵送していただくようにお願いする。 ＊特に卒業学年（4年生）は、上記期日を厳守のこと。	
	単位認定者一覧	教職センターより、単位認定する学生の一覧が教務課に提出される。	
	成績処理	単位認定者一覧表に基づき、教務課が成績処理を行う。	
	成績評価	「合格」または「不合格」（GPAには算入しない）	
活動時間が30時間を超えた場合の扱い		30時間を超えた時間は単位認定の対象としない。ただし、活動時間は継続して記録するため、活動校（園）からの報告書は郵送していただく。	

※詳細については、Google Classroomで確認してください。

※次頁に学校等支援活動の流れを記載しています。

学校等支援活動の流れ



＊教職センター運営委員は在籍する学科の教員が担当します。

7. 教育職員免許状申請

教育職員免許状は、免許状取得のための所要資格を有する者が各都道府県の教育委員会に申請することにより授与されます。なお、授与された教育職員免許状は、すべての都道府県において効力を有します。

[1] 一括申請

一括申請とは、卒業時に教育職員免許状が授与されるように、大学が代行して教育委員会へ申請することです。本学は、広島県教育委員会に申請を行います。

＜対象学生＞

・本学を卒業見込みの者で、本学の規定に基づいて教育職員免許状取得に必要な単位を全て修得した者。

1）申請手続スケジュール（2025年度の場合）

時　期	項　　目	内　　容
卒業年次 4月上旬	『卒業、免許・資格に関する調査』	取得を希望する免許・資格の調査を実施
10月中旬 ～下旬	教育職員免許状申請説明会	申請書類の記入および提出
	申請費用納入	
11月下旬	教育職員免許状第1次申請	本学教務課から広島県教育委員会へ申請書類を提出
2月下旬	教育職員免許状第2次申請の可否判定	教育職員免許状に関する必要単位の修得状況を確認し、第2次申請の可否を判定
	教育職員免許状第2次申請	本学教務課から広島県教育委員会へ申請書類を提出
卒業式当日	教育職員免許状交付	卒業式終了後に配付

2）申請に必要な書類

・教育職員免許状授与申請書、宣誓書
・履歴書
・委任状
・学力に関する証明書
・介護等体験証明書（小学校、中学校の免許状取得希望者のみ）
・基礎となる免許状の写し（既に免許状を所持している場合のみ）

3）申請に伴う費用

＜免許状1種類につき＞

・申請手数料　　3,400円（2025年度の場合）
・学力に関する証明書　　400円（2025年度の場合）

4）その他

教育職員免許状申請説明会の日程等の詳細は、「まほろばポータル」等で連絡します。

［2］個人申請

卒業時までに本学の規定に基づく必要単位を修得できなかった者は、単位充足後、各自で教育職員免許状申請手続を行うことができます（個人申請を希望する場合は、別途教務課へ相談してください）。

※教育委員会によって手続方法が異なるため、申請の際には各自で申請手続を行う都道府県の教育委員会へ問い合わせて確認してください。

［3］その他

1）免許状授与証明書

免許状を交付した教育委員会が発行します。免許状取得後、授与証明書が必要になった場合は、教育委員会に直接申し込んでください（免許状の番号、授与年月日が必要になるため、免許状取得後必ず控えておいてください）。

2）免許状の書換

氏名または本籍地が変更になった場合、免許状の書換を申請することができます。免許状の交付を受けた都道府県の教育委員会へ直接願い出て、手続を行ってください（ただし、旧氏名や旧本籍地の免許状でも有効です）。

［問合せ先］
広島県教育委員会事務局 管理部 教職員課
〒730-8514
広島市中区基町９-42（広島県庁東館）
TEL：082-513-4921

8. 開設授業科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分に対応する本学の授業科目は、以下のとおりです。

[1] 文学部　日本文学科［中一種免（国語）、高一種免（国語）、高一種免（書道）］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（国語） 高一種免（国語）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	中一種免 28 高一種免 24	○日本語学概説Ⅰ ○日本語学概説Ⅱ 日本語史 ○日本語音声学 日本語学講読Ⅰ 日本語学講読Ⅱ 日本語文法論 ○日本語文章表現演習 日本語口頭表現演習	2 2 2 2 2 2 2 1 1	
			国文学（国文学史を含む。）		○日本文学概論Ⅰ ○日本文学概論Ⅱ 日本文学史Ⅰ 日本文学史Ⅱ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ 日本文学講義Ⅰ 日本文学講義Ⅱ 日本文学読解研究Ⅰ 日本文学読解研究Ⅱ	2 2 2 2 1 1 2 2 1 1	
			漢文学		○中国文学概論Ⅰ ○中国文学概論Ⅱ 中国文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学講読Ⅰ 中国文学講読Ⅱ	2 2 1 1 2 2	
			書道（書写を中心とする。） ＊中免のみ算入可		硬筆書写 ○書道概論 楷書Ⅰ 行・草書Ⅰ 仮名Ⅰ 漢字仮名交じりの書Ⅰ ○書写	2 2 2 2 2 2 2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語教育の理論と方法Ⅰ 国語教育の理論と方法Ⅱ	2 2 2 2	
高一種免（書道）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）		硬筆書写 ○書道概論 楷書Ⅰ 行・草書Ⅰ 仮名Ⅰ 漢字仮名交じりの書Ⅰ 書写	2 2 2 2 2 2 2	
			書道史		○書道史Ⅰ ○書道史Ⅱ	2 2	
			「書論、鑑賞」		○書論 鑑賞	2 2	
			「国文学、漢文学」		○日本文学概論Ⅰ ○日本文学概論Ⅱ 日本文学史Ⅰ 日本文学史Ⅱ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ 日本文学講義Ⅰ 日本文学講義Ⅱ 日本文学読解研究Ⅰ 日本文学読解研究Ⅱ ○中国文学概論Ⅰ ○中国文学概論Ⅱ 中国文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学講読Ⅰ 中国文学講読Ⅱ	2 2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			書道科教育法Ⅰ 書道科教育法Ⅱ 書写・書道教育の理論と方法	2 2 2	

※教科に関する専門的事項の○印は、一般的包括的な内容を含む授業科目を表す。

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（国語） 高一種免（国語） 高一種免（書道）	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10 高一種免 8	道徳教育論	2	中免のみ算入可
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5 高一種免 3	教育実習指導（中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高）	1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種（国語） 高一種（国語） 高一種（書道）	大学が独自に設定する科目	中一種免 4 高一種免 12	道徳教育論	2	高免のみ算入可 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中4、高12単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（国語） 高一種免（国語） 高一種免（書道）	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［2］文学部　書道学科［中一種免（国語）、高一種免（国語）、高一種免（書道）］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学の開設授業科目		
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	備考
中一種免（国語） 高一種免（国語）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	中一種免 28 高一種免 24	○日本語学概説Ⅰ ○日本語学概説Ⅱ 日本語史 ○日本語音声学 日本語学講読Ⅰ 日本語学講読Ⅱ ○日本語文章表現演習 日本語口頭表現演習	2 2 2 2 2 2 1 1	
			国文学（国文学史を含む。）		○日本文学概論Ⅰ ○日本文学概論Ⅱ 日本文学史Ⅰ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ	2 2 2 1 1	
			漢文学		○中国文学概論Ⅰ ○中国文学概論Ⅱ 中国文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学講読Ⅰ 中国文学講読Ⅱ	2 2 1 1 2 2	
			書道（書写を中心とする。） ＊中免のみ算入可		○書道概論 楷書Ⅰ 楷書Ⅱ 行・草書Ⅰ 行・草書Ⅱ 仮名Ⅰ 仮名Ⅱ 漢字仮名交じりの書 古典研究 作品研究 卒業作品研究 硬筆書写 ○書写 創作研究	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 国語教育の理論と方法Ⅰ 国語教育の理論と方法Ⅱ	2 2 2 2	
高一種免（書道）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）		○書道概論 楷書Ⅰ 楷書Ⅱ 行・草書Ⅰ 行・草書Ⅱ 行・草書Ⅲ 仮名Ⅰ 仮名Ⅱ 漢字仮名交じりの書 篆・隷書Ⅰ 篆・隷書Ⅱ 石碑と法帖 執筆理論 硬筆書写 篆刻・刻字 水墨画 表具と修復 古典研究 作品研究 卒業作品研究 書写 創作研究 書道特殊実習Ⅰ 書道特殊実習Ⅱ 書道特殊実習Ⅲ 書道特殊実習Ⅳ 書道特殊実習Ⅴ 書道特殊実習Ⅵ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	
			書道史		○書道史Ⅰ ○書道史Ⅱ	2 2	
			「書論、鑑賞」		○書論 鑑賞 書道実地研究	2 2 1	
			「国文学、漢文学」		○日本文学概論Ⅰ ○日本文学概論Ⅱ 日本文学史Ⅰ 日本文学演習Ⅰ 日本文学演習Ⅱ ○中国文学概論Ⅰ ○中国文学概論Ⅱ 中国文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅱ 中国文学講読Ⅰ 中国文学講読Ⅱ	2 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			書道科教育法Ⅰ 書道科教育法Ⅱ 書写・書道教育の理論と方法	2 2 2	

※教科に関する専門的事項の○印は、一般的包括的な内容を含む授業科目を表す。

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（国語） 高一種免（国語） 高一種免（書道）	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10 高一種免 8	道徳教育論	2	中免のみ算入可
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5 高一種免 3	教育実習指導（中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高）	1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種（国語） 高一種（国語） 高一種（書道）	大学が独自に設定する科目	中一種免 4 高一種免 12	道徳教育論	2	高免のみ算入可 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中4、高12単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（国語） 高一種免（国語） 高一種免（書道）	日本国憲法		2	21世紀の社会と法A（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学A 健康スポーツA 健康スポーツB 健康スポーツC	2 1 1 1	「からだの科学A」と併せて「健康スポーツA・B・C」のうち1科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習A 情報処理演習B 情報処理演習C 情報処理演習D	1 1 1 1 1 1 1 1	

［3］文学部　英語英米文学科［中一種免（英語）、高一種免（英語）］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（英語） 高一種免（英語）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	中一種免 28 高一種免 24	実用英文法Ⅰ 実用英文法Ⅱ 実用英文法Ⅲ 英語発音演習Ⅰ 英語発音演習Ⅱ 英語史 英語学文献講読 ○英語学概論Ⅰ ○英語学概論Ⅱ	2 2 2 1 1 2 2 2 2	
			英語文学		○英文学史 ○米文学史 インテンシブ・リーディング 英米児童文学講読 ○英米小説講読Ⅰ 英米小説講読Ⅱ 英米詩講読 英米演劇ワークショップ 翻訳ワークショップⅠ 翻訳ワークショップⅡ	2 2 1 2 2 2 2 2 2 2	
			英語コミュニケーション		○イングリッシュ・コミュニケーションⅠ イングリッシュ・コミュニケーションⅡ イングリッシュ・コミュニケーションⅢ アドバンスト・コミュニケーションⅠ アドバンスト・コミュニケーションⅡ ○エッセイ・ライティング ライティング・スキルズⅠ ライティング・スキルズⅡ	1 1 1 2 2 2 1 1	
			異文化理解		○異文化理解 異文化コミュニケーションⅠ 異文化コミュニケーションⅡ	2 2 2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語教育の理論と方法Ⅰ 英語教育の理論と方法Ⅱ 英語教育の理論と方法Ⅲ	2 2 2 2 2	

※教科に関する専門的事項の○印は、一般的包括的な内容を含む授業科目を表す。

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（英語） 高一種免（英語）	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10 高一種免 8	道徳教育論	2	中免のみ算入可
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5 高一種免 3	教育実習指導（中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高）	1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種（英語） 高一種（英語）	大学が独自に設定する科目	中一種免 4 高一種免 12	道徳教育論	2	高免のみ算入可 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中4、高12単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（英語） 高一種免（英語）	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［4］教育学部　児童教育学科［小一種免、幼一種免］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	領域に関する専門的事項	健康	16	子どもと健康	1	
		人間関係		子どもと人間関係	1	
		環境		子どもと環境	1	
		言葉		子どもと言葉	1	
		表現		子どもと表現	1	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			保育内容総論 保育内容の指導法（健康） 保育内容の指導法（人間関係） 保育内容の指導法（環境） 保育内容の指導法（言葉） 保育内容の指導法（表現）	2 2 2 2 2 2	

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
小一種免	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	初等国語Ⅰ 初等国語Ⅱ 基礎書道	2 1 1	
		社会		初等社会Ⅰ 初等社会Ⅱ	2 1	
		算数		初等数学Ⅰ 初等数学Ⅱ	2 1	
		理科		初等理科Ⅰ 初等理科Ⅱ	2 1	
		生活		生活環境論	2	
		音楽		音楽Ⅰ 音楽Ⅱ ピアノ演奏法Ⅰ ピアノ演奏法Ⅱ	1 1 1 1	
		図画工作		図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1 1	
		家庭		初等家政	1	
		体育		初等体育Ⅰ 初等体育Ⅱ	1 1	
		外国語		初等英語Ⅰ 初等英語Ⅱ	2 1	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			－		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		国語科教育法 国語科教育法演習	2 1	
		社会		社会科教育法 社会科教育法演習	2 1	
		算数		算数科教育法 算数科教育法演習	2 1	
		理科		理科教育法 理科教育法演習	2 1	
		生活		生活科教育法	2	
		音楽		音楽科教育法 音楽科教育法演習	2 1	
		図画工作		図画工作科教育法 図画工作科教育法演習	2 1	
		家庭		家庭科教育法	2	
		体育		体育科教育法 体育科教育法演習	2 1	
		外国語		英語科教育法 英語科教育法演習	2 1	

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論 幼児教育学	2 2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論 保育者論	2 2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育心理学演習	2 2 2 1	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論 幼児教育課程論	2 2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法論	2	
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	1	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	1 2 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	
小一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育心理学演習	2 2 2 1	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育論	2	
		総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ	1 2 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（幼・小）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	大学が独自に設定する科目	14	教職キャリアデザイン 野外活動演習 ピアノ演奏法Ⅰ ピアノ演奏法Ⅱ 生活環境論 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 初等体育Ⅰ 初等体育Ⅱ	1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1	必修科目を含め「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得
小一種免	大学が独自に設定する科目	2	教職キャリアデザイン 野外活動演習	1 2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免 小一種免	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［5］教育学部　幼児教育学科［幼一種免］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	領域に関する専門的事項	健康	16	子どもと健康	1	
		人間関係		子どもと人間関係	1	
		環境		子どもと環境	1	
		言葉		子どもと言葉	1	
		表現		子どもと表現	1	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			保育内容総論Ⅰ 保育内容総論Ⅱ 保育内容　健康Ⅰ 保育内容　健康Ⅱ 保育内容　人間関係Ⅰ 保育内容　人間関係Ⅱ 保育内容　環境Ⅰ 保育内容　環境Ⅱ 保育内容　言葉Ⅰ 保育内容　言葉Ⅱ 保育内容　表現Ⅰ 保育内容　表現Ⅱ	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論 幼児教育学	2 2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論 保育者論	2 2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育心理学演習	2 2 2 1	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論 幼児教育課程論	2 2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法論	2	
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	1	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 教育実習（幼稚園Ⅰ） 教育実習（幼稚園Ⅱ）	1 1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	大学が独自に設定する科目	14	運動遊びの基礎 音楽表現の基礎 造形表現の基礎 身体表現の基礎	1 1 1 1	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
幼一種免	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ･Ｂ･Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［6］心理学部　現代心理学科［養教一種免］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■養護に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
養教一種免	養護に関する科目	衛生学･公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	衛生学 公衆衛生学	2 2	
		学校保健	2	学校保健	2	
		養護概説	2	養護概説 養護実践論	2 2	
		健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	健康相談活動の理論と方法	2	
		栄養学（食品学を含む。）	2	栄養学・食品学	2	
		解剖学・生理学	2	解剖学・生理学	2	
		「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	微生物・免疫学	2	
		精神保健	2	精神保健	2	
		看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	基礎看護学概論 学校応急処置 看護救急処置 学校応急処置演習 看護学臨床実習指導 看護学臨床実習	2 2 2 1 1 2	

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
養教一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2 2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	2	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	
	教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習指導 養護実習	1 4	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（養護教諭）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
養教一種免	大学が独自に設定する科目	7	―		最低修得単位を超えて履修した「養護に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて7単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
養教一種免	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［7］家政学部　生活デザイン学科［中一種免（家庭）、高一種免（家庭）］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	中一種免 28 高一種免 24	○家族関係論 ○生活経営学	2 2	
			被服学（被服実習を含む。）		○衣生活論 服飾デザイン論 アパレル管理学 染色加工学実験 造形材料学 造形材料学実験 ○服飾構成実習Ⅰ 服飾構成実習Ⅱ アパレルＣＡＤ・ＣＧⅠ 衣環境学 服飾構成学	2 2 2 1 2 1 1 1 2 2 2	
			食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食生活論 ○食品学 食品学実験 ○栄養学 調理学 ○調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ コンフェクショナリー実習 食品加工学 食品衛生学	2 2 1 2 2 1 1 1 2 2	
			住居学		○住生活論 インテリアデザイン論 住宅構造学 住居材料学 住空間計画学 住宅設備 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ 住環境学 住居史	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
			保育学		○保育学	2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			－		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ 家庭科教育の理論と方法Ⅰ 家庭科教育の理論と方法Ⅱ	2 2 2 2	

※教科に関する専門的事項の○印は、一般的包括的な内容を含む授業科目を表す。

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10 高一種免 8	道徳教育論	2	中免のみ算入可
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5 高一種免 3	教育実習指導（中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高）	1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種（家庭） 高一種（家庭）	大学が独自に設定する科目	中一種免 4 高一種免 12	道徳教育論	2	高免のみ算入可 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中4、高12単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［8］家政学部　管理栄養学科［中一種免（家庭）、高一種免（家庭）］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■教科及び教科の指導法に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等				左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	中一種免 28 高一種免 24	○家族関係論 ○生活経営学	2 2	
			被服学（被服実習を含む。）		○衣生活論 ○服飾構成実習Ⅰ	2 1	
			食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食環境論 ○食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験 食品加工学 食品加工実習 調理学 ○調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 食品衛生学 食品衛生学実習 基礎栄養学 基礎栄養学実験 成長期栄養学 加齢期栄養学 応用栄養学実験 栄養教育総論 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ（カウンセリング論を含む） 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育実習Ⅱ 臨床栄養学 病態栄養学Ⅰ 病態栄養学Ⅱ 栄養管理学 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 臨床薬理学 公衆栄養学 公衆栄養活動 公衆栄養学実習 食品バイオテクノロジー 免疫・アレルギー概論	2 2 2 1 2 1 2 1 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 1 2 2	
			住居学		○住生活論	2	
			保育学		○保育学	2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			―		
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ 家庭科教育の理論と方法Ⅰ 家庭科教育の理論と方法Ⅱ	2 2 2 2	

※教科に関する専門的事項の○印は、一般的包括的な内容を含む授業科目を表す。

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種免 10 高一種免 8	道徳教育論	2	中免のみ算入可
		総合的な学習（探究）の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	
		特別活動の指導法				
		教育の方法及び技術		教育方法論	2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	教育実習	中一種免 5 高一種免 3	教育実習指導（中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高）	1 2 2	
		学校体験活動		―		
		教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	

■大学が独自に設定する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種（家庭） 高一種（家庭）	大学が独自に設定する科目	中一種免 4 高一種免 12	道徳教育論	2	高免のみ算入可 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中4、高12単位以上を修得

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
中一種免（家庭） 高一種免（家庭）	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

［栄教一種免］

※必修科目・選択科目の別および単位数は、必ず教育課程表で確認してください。

■栄養に係る教育に関する科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
栄教一種免	栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食生活に関する歴史的及び文化的事項	4	学校栄養指導論Ⅰ	2	
		食に関する指導の方法に関する事項		学校栄養指導論Ⅱ	2	

■教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目	各科目に含めることが必要な事項	最低必要単位数	授業科目	単位数	
栄教一種免	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育論 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2 2	
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	2	
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（中・高）	2	
	教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	学校栄養教育実習指導 学校栄養教育実習	1 1	
		教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	2	

■教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目

免許状の種類	施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学の開設授業科目		備考
	科目		最低必要単位数	授業科目	単位数	
栄教一種免	日本国憲法		2	21世紀の社会と法Ａ（日本国憲法）	2	
	体育		2	からだの科学Ａ 健康スポーツＡ 健康スポーツＢ 健康スポーツＣ	2 1 1 1	「からだの科学Ａ」と併せて「健康スポーツＡ・Ｂ・Ｃ」のうち１科目を履修すること。
	外国語コミュニケーション		2	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2			
		情報機器の操作		情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ 情報処理演習Ａ 情報処理演習Ｂ 情報処理演習Ｃ 情報処理演習Ｄ	1 1 1 1 1 1 1 1	

９．「教職実践演習」及び「教職履修カルテ」について

■「教職実践演習」とは

「教職実践演習」は、教育実習を履修した学生を対象に、４年次に開講される科目です。教職課程の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、教員としての最小限の資質能力が身についているかを確認するもので、教職課程の集大成として位置づけられている科目です。この科目の履修を通じて、自分の課題を自覚し、不足している部分を発見し補うことを目的とします。

この科目を履修するためには、教職課程の履修開始時から「教職履修カルテ」を作成することが義務付けられています。

■「教職履修カルテ」について

教職課程の履修開始時から教育職員免許状取得までの自分の学修状況をきめ細かく把握し、自分が教職課程の授業の中で学んだことを振り返るとともに、今後どのような学修が必要なのかを考えるための手がかりになるものです。

具体的な作成手順は、学科の担当教員から説明があります。

10. 専修免許状の取得について

本学の大学院文学研究科博士前期課程および家政学研究科修士課程では、専修免許状を取得することができます。専修免許状は、一種免許状（同校種・同教科）の取得を前提に取得できる上級免許です。各専攻において取得できる免許状は、以下のとおりです。

１）取得できる免許状の種類（2026年度現在）

研究科名	専攻名	免許状の種類	免許教科
文学研究科 博士前期課程	日本語学日本文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	書道
	英語学英米文学専攻	中学校教諭専修免許状	英語
		高等学校教諭専修免許状	英語
	教育学専攻	小学校教諭専修免許状	―
		幼稚園教諭専修免許状	―
家政学研究科 修士課程	健康生活学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭
		高等学校教諭専修免許状	家庭

２）基礎資格および最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数 大学が独自に設定する科目
中学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること。	24単位
高等学校教諭専修免許状		24単位
小学校教諭専修免許状		24単位
幼稚園教諭専修免許状		24単位

一種免許状を取得していない大学院生が専修免許状の取得を希望する場合は、大学院の教育研究に支障を来さない範囲で、研究指導教員の指導のもとに、学部の授業科目の履修を認められることがあります。ただし、年間の履修単位数の制限があるため、できる限り一種免許状取得に必要な単位は学部在学中に修得しておくようにしましょう。

2 各種免許・資格の取得について

1. 免許・資格の取得

各免許・資格の取得に関わる費用は、2025年度の場合です。目安としてください。

［1］学校図書館司書教諭　対象学科：日文、書道、英文、児教、生デ

学校図書館司書教諭とは、学校図書館の専門的職務に従事する者を指し、学校図書館法第５条によって小学校・中学校・高等学校への配置が規定されています。主に、児童・生徒への読書指導や学習教材の提供、教員への研究教材や情報の提供を行います。この資格を取得するためには、教育職員免許状（幼免を除く。）の取得に加えて、所定の科目を履修し単位を修得する必要があります。

学校図書館司書教諭に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目	単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	単位数
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2

資格の授与機関：文部科学省
取得に関わる費用：①３年次に所定の単位を全て修得した場合
単位修得証明書
在学証明書
成績証明書　　各200円
②４年次に所定の単位を全て修得した場合
単位修得証明書　　400円
教育職員免許状授与証明書　700円
送料

注意事項：１）教職科目と併せて履修してください。
２）本来は司書教諭講習を受講する必要がありますが、所定の単位の修得により免除されます。
３）上記①の場合、卒業と同時に取得でき、修了証書が授与されます。
上記②の場合、修了証書の授与は卒業から約１年後に郵送で行います。
したがって卒業から１年後の４月に取得（見込）となります。
４）申請手続の詳細等については、別途連絡します。

［2］司　書　対象学科：日文、書道

司書とは、図書館法第４条に規定する、図書館の「専門的事務に従事する」者を指します。主に、図書・記録・資料を収集し、それらを分類・配列して目録を整える等の業務が挙げられます。図書館職員の採用試験では図書館法第５条に規定する司書資格を持っている（もしくは受験年度に取得見込みである）ことが受験条件として求められる場合があります。

司書に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

図書館法施行規則第１条に定める科目		単位数	左記に対応する本学の開設授業科目		
				科目名	単位数
甲群（必修）	生涯学習概論	2	甲群（必修）	生涯学習概論	2
	図書館概論	2		図書館概論	2
	図書館制度・経営論	2		図書館制度・経営論	2
	図書館情報技術論	2		図書館情報技術論	2
	図書館サービス概論	2		図書館サービス概論	2
	情報サービス論	2		情報サービス論	2
	児童サービス論	2		児童サービス論	2
	情報サービス演習	2		情報サービス演習	2
	図書館情報資源概論	2		図書館情報資源概論	2
	情報資源組織論	2		情報資源組織論	2
	情報資源組織演習	2		情報資源組織演習	2
乙群（２科目以上選択）	図書館基礎特論	1	乙群（必修）	図書館基礎特論	1
	図書館サービス特論	1		—	—
	図書館情報資源特論	1		—	—
	図書・図書館史	1		—	—
	図書館施設論	1		—	—
	図書館総合演習	1		—	—
	図書館実習	1		図書館実習	1

資格の認定機関：安田女子大学
注意事項：１）在学中に所定の単位を全て修得した場合、卒業と同時に取得でき、司書資格証明書が交付されます。
２）実習の日程や詳細については別途連絡します。履修手続等については次頁以降を参照してください。

●図書館実習履修の手続

「図書館実習」は、本学で司書資格を取得するための必修科目です。図書館実習が実施されるまでには、その準備として約１年前から手続が進められます。実習図書館は多忙な中で実習生を受け入れてくださいますので、手続に不備がないよう、各自が責任をもって臨み、自覚ある行動をとるよう心掛けてください。

また、図書館業務に従事する上で、パソコン処理に関する基本的な知識・技術（Word、Excel等）が必要であるため、実習前までに修得しておいてください。

以下は、図書館実習履修の手続の流れを示したものです。実習図書館によっては手続の方法や実習時期等が異なる場合がありますので、図書館実習担当教員の説明や連絡等をよく確認して、間違いのないように注意してください。

図書館実習説明会

＜２年次前期＞
「図書館実習要綱」に基づき説明を行いますので、必ず出席してください。

図書館実習希望調査

＜３年次10月～11月＞
実習参加資格を確認した上で、実習希望調査に回答してください。

履修登録

＜４年次４月＞
「図書館実習要綱」に基づき、再度参加資格を確認した上で、「図書館実習」の履修登録を行ってください。

図書館実習事前説明会

＜４年次５月～６月＞
図書館実習の事前説明会を実施し、実習図書館を通知しますので、必ず出席してください。なお、実習図書館の都合等により、希望どおりの図書館にならない場合があります。

実習図書館へ挨拶

＜４年次７月～＞
代表者がアポイントメントを取り、実習図書館に訪問し、事前挨拶を行ってください。

図書館実習

＜４年次８月～＞
大学から実習図書館へ評価用紙を持参又は送付します。

実習図書館へ礼状送付	＜４年次実習終了後＞ 実習終了後２～３日以内に、実習図書館へ礼状を出してください。
実習記録・報告書提出	＜４年次実習終了後＞ 図書館実習の記録は教務課へ、実習報告書は実習担当教員へ提出してください。
館務実習の評価（実習内容評価）	＜４年次実習終了後＞ 実習図書館から教務課へ評価用紙が返送されます。
図書館実習の総合評価（単位認定）	＜４年次実習終了後＞ 実習図書館の評価に基づき、実習担当教員が総合的に評価（単位認定）を行います。 単位認定後、図書館実習の記録を返却します。

●図書館実習要綱

1）図書館実習参加資格

①図書館業務に強い意欲を持ち、図書館司書志望の意志が強固であること。

②実習協力図書館における通常の業務に支障を来すおそれのない者であること。

③パソコン処理に関する基本的な知識・技術（Word、Excel等）を修得していること。

④３年次終了までに、特別な事情のない限り、下表の科目をすべて履修し、かつ所定の単位を修得していること。

⑤３年次後期までの累計GPAが原則として2.20以上であること。

科目名	開講年次・学期	単位数
図書館概論	２年　前期	2
生涯学習概論	２年　後期	2
図書館サービス概論	２年　後期	2
図書館情報技術論	３年　前期	2
児童サービス論	３年　前期	2
図書館情報資源概論	２年　後期	2
情報資源組織論	３年　前期	2
情報サービス論	３年　後期	2
情報資源組織演習	３年　後期	2
計		18

2）実習図書館の選定

①実習図書館は、広島県立図書館、広島市立図書館、実習受入れが可能な公共図書館もしくは安田女子大学とする。

②実習先の希望については、３年次後期に実習希望調査を行う。

③実習先図書館の人数配分および配当は、教務センターの定める基準により決定する（希望どおりの図書館にならない場合がある）。

3）図書館実習の時期と期間

①図書館実習の時期は、４年次の夏季休業中とする。

②図書館実習の期間は、１週間（30時間相当）を原則とする。

4）図書館実習費

必要となる場合、教育実習・保育実習等に準拠して徴収する。

5）図書館実習履修の手続

この手引のP.160～161参照。

［3］学芸員　対象学科：日文、書道、生デ

学芸員とは、博物館法第２条に規定する博物館や美術館等において、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学に関する資料を収集、保管し、展示や調査を行う専門職を指します。研究者、教育者としての役割があり、高度な知識が必要とされます。

学芸員に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

博物館法施行規則第１条に定める科目	単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	
		科目名	単位数
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
博物館概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館実習 ※学科により関連科目が異なるので詳しくは教育課程表を参照してください。	3	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 古文書学実習 書道実地研究 博物館実習Ⅲ	1 1 1 1 1
任意設定科目 ※法定科目以外に本学の養成課程において履修を奨励する科目です。学科により関連科目や修得単位数が異なるので、詳しくは教育課程表を参照してください。		日本文化論Ⅰ 日本文化論Ⅱ 日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ 古文書学Ⅰ 古文書学Ⅱ 日本文化文学実地研究Ⅰ 日本文化文学実地研究Ⅱ 書道概論 書道史Ⅰ 書道史Ⅱ 表具と修復 鑑賞 石碑と法帖 色彩学 絵画・デッサンⅠ 絵画・デッサンⅡ デザイン基礎 造形表現	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 2 2 2 1 1 2 1

資格の認定機関：安田女子大学

注意事項：１）在学中に所定の単位を全て修得した場合、卒業と同時に取得でき、学芸員資格証明書が交付されます。

２）実習の日程や詳細については別途連絡します。履修手続等については次頁以降を参照してください。

●博物館実習Ⅱ（館園実習）履修の手続

「博物館実習Ⅱ」（以下「館園実習」）は、本学の学芸員資格取得のための必修科目です。館園実習が実施されるまでには、その準備として約１年前から手続が進められます。実習館園は多忙な中で実習生を受け入れてくださいますので、手続に不備がないよう、各自が責任をもって臨み、自覚ある行動をとるよう心掛けてください。

以下は、館園実習履修の大きな流れを示したものです。実習館園によっては手続の方法や実習時期等が異なる場合がありますので、館園実習担当教員の説明や連絡および各館園のウェブサイト等をよく確認して、間違いのないように注意してください。

館園実習説明会

＜２年次前期＞
「博物館実習Ⅱ（館園実習）要綱」に基づき説明を行いますので、必ず出席してください。

館園実習希望調査

＜３年次７月下旬～11月上旬＞
実習参加資格を確認した上で、実習要綱に沿って、希望する実習先館園を各自で第５希望まで選び（各館園のウェブサイト等を参照すること）、実習希望調査に回答してください。
教務課で調整し実習申込先館園を割り当てます。館園によっては実習参加に条件があったり、定員を設けているところがありますので、各自が希望する館園で実習を行うことができない場合があります。

博物館実習ガイダンス

＜３年次１月中旬＞
実習申込先館園の割当を発表し、博物館実習の申込み方法等を説明しますので、必ず出席してください。

実習館園への内諾依頼

＜３年次１月下旬～＞
割り当てられた申込先館園の実習実施要項等に基づき、実習の内諾依頼を行います。依頼方法は、館園によって異なります（学生が直接依頼手続を行う場合や、大学が一括して依頼手続を行う場合等があります。各自で館園のウェブサイト等を確認してください）。

実習館園の決定通知

＜内諾依頼以降＞
実習館園から内諾可否の通知が教務課または本人に届きます。教務課に届いた場合は「まほろばポータル」等で通知します。

内諾後の手続（「覚書」の提出等）

＜内諾後＞
「覚書」は、大学、実習館園、実習生の三者による、実習に関する約束事を文書化したものです。「覚書」の内容をよく読み、書かれたことを守るようにしてください。
またその他手続は、実習館園により異なります。実習館園および教務課の指示に従ってください。

実習館園への連絡

＜内諾後＞
実習期間等を確認するために、館園実習内諾のお礼を兼ねて連絡してください。

履修登録

＜４年次４月＞
「博物館実習Ⅱ（館園実習）要綱」に基づき、再度参加資格を確認した上で、「博物館実習Ⅱ」の履修登録を行ってください。

実習費用納入

＜４年次４月以降＞
実習先の館園によっては、実習費を納入する必要があります。実習費の納入は、実習館園により方法が異なりますので、実習館園の指示に従ってください。

館園実習

＜原則として４年次前期または夏季休業中＞
大学から実習館園へ評価用紙を持参又は送付します。

実習館園へ礼状送付

＜４年次館園実習終了後＞
実習終了後２～３日以内に、実習館園へ礼状を出してください。また、本学の訪問指導教員へ終了したことを報告してください。

実習記録提出

＜４年次館園実習終了後＞
実習終了後、博物館実習（館園実習）の記録を館園実習担当教員へ提出してください。

実習館園評価

＜４年次館園実習終了後＞
実習館園から教務課へ評価用紙が返送されます。

館園実習の総合評価（単位認定）

＜４年次館園実習終了後＞
実習先の評価に基づき、実習担当教員が総合的に評価（単位認定）を行います。

●博物館実習Ⅱ（館園実習）要綱

1）博物館実習Ⅱ（以下「館園実習」）参加資格

①博物館業務に強い意欲を持ち、博物館学芸員志望の意志が強固であること。

②実習先館園における通常の業務に支障を来すおそれのない者であること。

③3年次終了までに、特別な事情のない限り、下表の科目をすべて履修し、かつ所定の単位を修得していること。

④3年次後期までの累計GPAが原則として2.20以上であること。

科目名	開講年次・学期	単位数
博物館概論	2年　前期	2
生涯学習概論	2年　後期	2
博物館経営論	2年　後期	2
博物館資料論	3年　前期	2
博物館情報・メディア論	3年　前期	2
博物館教育論	3年　前期	2
博物館資料保存論	3年　後期	2
博物館展示論	3年　後期	2
博物館実習Ⅰ	3年　後期	1
古文書学実習（日本文学科のみ）	3年　前期	1
書道実地研究（書道学科のみ）	3年　後期	1
計		（日文･書道）18 （生デ）17

2）実習先館園の選定

①実習先の施設は、現在の居住地もしくは家族の居住地から困難なく通うことが可能な館園（居住市町村内が望ましい）とする。

②ただし、①以外の館園においても、実習可能と判断された場合、条件付きで実習を認めることがある。

③実習を希望する館園については、上記①②に沿って学生各自が調べ、3年次11月上旬に実習希望調査にて教務課へ回答すること。

④実習先館園の人数配分および配当は、教務センターの定める基準により決定する（希望の館園で実習できるとは限らない）。

3）館園実習の時期と期間

①館園実習の時期は、原則として4年次の前期または夏季休業中とする（館園によっては後期に実施する場合もある）。

②館園実習の期間は、1週間（30時間相当）を原則とする。

4）館園実習費

必要となる場合、教育実習・保育実習等に準拠して徴収する。

5）館園実習履修の手続

この手引のP.164～165参照。

［4］日本語教員　対象学科：日文、英文

日本語教員とは、日本語を外国語あるいは第二言語として学ぼうとする外国人等に、日本語の読み・書き・話せる能力を身に付けさせる教員を指します。日本語の知識・能力の他に、日本文化や異文化の事情についても学ぶ必要があります。日本語教員は専門学校の教員をはじめ、海外にも活躍の場があります。国家資格の登録日本語教員になるために、2026年度入学生は経過措置として、所定の科目を履修し単位を修得すれば、日本語教員試験の基礎試験が免除されます。そして、同試験の応用試験を受験し、合格することで登録日本語教員の資格を得ることができます。

日本語養成科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

日本語教員養成において必要とされる教育内容等	左記に対応する本学の開設授業科目	
	科目名	単位数
地域・社会・文化	日本文化論Ⅰ	2
	異文化理解	2
	日本語教育事情	2
言語と社会	社会言語学	2
言語と心理	心理言語学	2
言語と教育	日本語教授法Ⅰ	2
	日本語教授法Ⅱ	2
	日本語教育教材教具論	1
	日本語教育実習Ⅰ	2
	異文化コミュニケーションⅠ	2
	教育方法論	2
言語	言語学概論Ⅰ	2
	言語学概論Ⅱ	2
	日本語文法論	2
	日本語音声学	2
	日本語口頭表現演習	1
※日本語教員養成のための標準的な教育内容以外に、本学独自で履修を推奨する科目（選択科目）です。学科により対象科目が異なるので、詳しくは教育課程表を参照してください。	日本語学概説Ⅱ	2
	日本文学概論Ⅱ	2
	日本文学史Ⅱ	2
	日本文化論Ⅱ	2
	日本文化史Ⅱ	2
	日本語教育実習Ⅱ	2
	異文化コミュニケーションⅡ	2
	イギリスの社会と文化	2
	アジアの社会と文化	2

資格の認定機関：安田女子大学

注意事項：1）在学中に所定の単位を全て修得した場合、卒業と同時に取得でき、日本語教員養成課程修了証明書が交付されます。

2）日本語教員養成課程科目は、文化庁の「日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議」の報告書「日本語教育のための教員養成について」（2000年３月30日）に基づいて開講しています。

3）実習の日程や詳細については別途連絡します。

4）文部科学大臣の認定を受けた認定日本語教育機関において日本語教育課程を担当する場合は、登録日本語教員の資格が必要です。

［5］保育士　対象学科：幼教

保育士とは、専門的知識及び技術を持って、保護者に代わって子どもの年齢に応じた生活全般の指導・保護を行い、子どもの保護者に対する保育の指導を行う者を指します。保育所や児童福祉施設で働く場合に必要となる資格です。この資格を取得するためには、①本学を卒業し学士の学位を有すること、②児童福祉法施行規則（第６条の２の３第１項第３号）に基づく保育士養成のための所定の科目を履修し単位を修得することの２つの要件を満たす必要があります。

保育士に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

児童福祉法施行規則第６条の２の３第１項第３号による教科目・区分等			左記に対応する本学の開設授業科目	
系列	科　　目	単位数	授　業　科　目	単位数
教養科目	外国語、体育以外の科目	８単位以上（うち、体育に関する講義及び実技各１単位）	21世紀の社会と法A（日本国憲法）	2
			情報処理基礎Ⅰ	1
			情報処理基礎Ⅱ	1
			情報処理基礎Ⅲ	1
			情報処理基礎Ⅳ	1
	外国語		英語コミュニケーションⅠ	1
			英語コミュニケーションⅡ	1
			英語リーディングⅠ	1
			英語リーディングⅡ	1
	体育		からだの科学A	2
			健康スポーツA	1
			健康スポーツB	1
			健康スポーツC	1
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	51単位	幼児教育学	2
			教育原論	2
			子ども家庭福祉論	2
			社会福祉学	2
			子ども家庭支援論	2
			社会的養護Ⅰ	2
			保育者論	2
	保育の対象の理解に関する科目		発達心理学Ⅰ	2
			発達心理学Ⅱ	2
			教育心理学演習	1
			子どもの保健	2
			子どもの食と栄養Ⅰ	1
			子どもの食と栄養Ⅱ	1
	保育の内容・方法に関する科目		幼児教育課程論	2
			保育内容総論Ⅰ	2
			保育内容　健康Ⅰ	1
			保育内容　人間関係Ⅰ	1
			保育内容　環境Ⅰ	1
			保育内容　言葉Ⅰ	1
			保育内容　表現Ⅰ	1
			保育内容　表現Ⅱ	1
			子どもと健康	1
			子どもと人間関係	1
			子どもと環境	1
			子どもと言葉	1
			子どもと表現	1
			乳児保育Ⅰ	2
			乳児保育Ⅱ	1
			子どもの健康と安全	1
			障害児保育	2
			社会的養護Ⅱ	1
			子育て支援	1
	保育実習		保育実習Ⅰ	4
			保育実習指導Ⅰ	2
	総合演習		保育・教職実践演習（幼）	2

＜次頁につづく＞

児童福祉法施行規則第６条の２の３第１項第３号による教科目・区分等			左記に対応する本学の開設授業科目	
系列	科　　目	単位数	授　業　科　目	単位数
選択必修科目	保育の対象の理解に関する科目	９単位以上（うち、保育実習３単位以上）	教育心理学	2
	保育の内容・方法に関する科目		保育内容総論Ⅱ　＊ 保育内容　健康Ⅱ 保育内容　人間関係Ⅱ 保育内容　環境Ⅱ 保育内容　言葉Ⅱ 演奏表現と子どもの音楽Ⅰ　＊ 演奏表現と子どもの音楽Ⅱ　＊ 運動遊びの基礎 音楽表現の基礎 造形表現の基礎 身体表現の基礎 保育におけるケアと倫理	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2
	保育実習		保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	2 2 1 1

注意事項
必修科目：本学では、法規に基づき開設する上表右欄授業科目54単位を修得しなければなりません。
選択必修科目：本学では、法規に基づき開設する上表右欄授業科目のうち、必修としている科目（＊）を含め９単位以上を修得しなければなりません。（＊は、法規上は選択必修科目であるが、本学では必修科目であること示す。）

資格の授与権者：都道府県知事
取得に関わる費用：

諸費用納入時期	内　　容	金　　額	備　　考
１年次	―	―	
２年次10月	保育実習Ⅰ（施設見学）	2,000円程度	
３年次６月	保育実習Ⅰ（保育所）	11,000円程度	
３年次10月	保育実習Ⅰ（施設）	11,000円程度	その他実習施設ごとに必要経費を求められる場合
４年次５月	（選択）保育実習Ⅱ（保育所）	11,000円程度	
４年次９月	（選択）保育実習Ⅲ（施設）	11,000円程度	その他実習施設ごとに必要経費を求められる場合
４年次10月	登録手数料	4,200円	
	証明書	600円	

注意事項：１）卒業と同時に取得できますが、保育士証の交付は卒業から約３か月後に郵送で行われます。
２）児童福祉施設勤務を希望する場合には、「保育実習Ⅲ」を修得することが望ましい。
３）登録申請手続等の詳細については、別途連絡します。

［6］准学校心理士　対象学科：児教、幼教、現心

「准学校心理士」は、学校心理士認定運営機構が認定する「学校心理士」に準ずる資格です。「学校心理士」は、学校生活におけるさまざまな問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングなどを通して、子ども、保護者や教師、学校に対して心理教育的援助サービスを行います。「准学校心理士」の資格を有していれば、「学校心理士」用の研修を受講でき、通常より短い実務経験（通常５年のところ３年）で「学校心理士」を受験することができます。この「准学校心理士」の資格を取得するためには、次の２タイプの基礎資格と取得要件があります。なお、いずれのタイプでも、取得できる「准学校心理士」の資格は同一ですが、「学校心理士」申請時の類型が異なります。

【Aタイプ】（学校教員・保育士類型）※児童教育学科、幼児教育学科、現代心理学科対象

１条校（学校教育法）の教員免許または保育士資格を有するもの（取得見込みを含む）が対象で、下表【Aタイプ】に示す所定の科目を履修し単位を修得すること。

【Bタイプ】（相談支援機関専門職類型）※現代心理学科のみ対象

文部科学省及び厚生労働省が確認する公認心理師資格カリキュラム対応大学学部を卒業するもの（見込みを含む）が対象で、下表【Bタイプ】に示す所定の科目を履修し単位を修得すること。

「准学校心理士」に関する科目、単位数は下表および教育課程表を参照してください。

【Aタイプ】（学校教員・保育士類型）

准学校心理士資格認定要項による領域		左記に対応する本学の開設授業科目					
		児童教育学科		幼児教育学科		現代心理学科	
領域	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数
教育心理学	3領域6単位以上	教育・学校心理学	2	教育心理学	2	教育・学校心理学	2
発達心理学		発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ	2 2	発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ	2 2	発達心理学	2
教育相談 （幼児理解や保育相談支援等の関連科目）		教育相談の理論と方法	2	教育相談の理論と方法	2	教育相談の理論と方法	2
特別支援教育 （障害児保育等の関連科目）				障害児保育	2	障害者・障害児心理学	2

【Bタイプ】（相談支援機関専門職類型）

准学校心理士資格認定要項による領域		左記に対応する本学の開設授業科目	
		現代心理学科	
領域	単位数	授業科目	単位数
教育・学校心理学	6領域12単位	教育・学校心理学	2
発達心理学		発達心理学	2
障害者・障害児心理学		障害者・障害児心理学	2
福祉心理学		福祉心理学	2
心理学的アセスメント		心理的アセスメント	2
心理学的支援法		心理学的支援法	2

資格の授与機関：一般社団法人　学校心理士認定運営機構
取得に関わる費用：審査事務手数料：3,000円（申請時）
登録事務手数料：3,000円（合格後）
年会費３年分：年3,000円で、合計9,000円（合格後）

注意事項：１）資格の申請や手続は、大学がとりまとめて行います。
２）「准学校心理士」資格の有効期間は３年で、一度に限り更新ができます。資格有効期間を経過した後３年間は、日本学校心理士会や学校心理士認定運営機構等の主催する研修会に参加することができ、そこで得られたポイントは累積加算できます。
３）「准学校心理士」資格保有者への「学校心理士」受験資格付与や申請類型については、学校心理士認定運営機構・日本学校心理士会のホームページを参照してください。
４）学校心理士受験資格取得のための実務経験としては、１条校（学校教育法）または幼稚園・保育所等の保育施設、教育委員会、教育研究所・教育センター、教育相談所、あるいは児童相談所・児童センター・保健センター、養護施設などの専門機関における職員・相談員・支援員などの実務経験が挙げられます（学校心理士の申請類型により求められる実務経験が異なります。詳しくは学校心理士認定運営機構・日本学校心理士会のホームページを参照してください）。
５）授業内容等の審査結果により、認定を受ける科目が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、別途お知らせします。

［7］日本心理学会認定心理士　対象学科：現心、ビ心

日本心理学会認定心理士とは、日本心理学会が心理学の標準的な基礎知識と基礎技術を習得していることを認定する資格です。心理学関係の仕事に就くことを希望する者や、心理学系大学院に進学して心理学の様々な資格を取得しようとする者にとっては、目標に向かって進むための基礎資格としての意味を持ちます。この資格を取得するためには、所定の科目を履修し単位を修得して日本心理学会に申請する必要があります。

認定心理士資格に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

認定心理士認定資格細則別表による領域			左記に対応する本学の開設授業科目			
			現代心理学科		ビジネス心理学科	
系列	領　域	単位数	授業科目	認定心理士認定単位数	授業科目	認定心理士認定単位数
基礎科目	a. 心理学概論	・a領域は4単位以上 ・b、c領域は合わせて8単位以上	心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ	2 2	心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ	2 2
	b. 心理学研究法		心理学研究法 心理学統計法Ⅰ	2 2	心理と統計Ⅰ 心理と統計Ⅱ	2 2
	c. 心理学実験・実習 （実験・実習リストが必要）		心理学基礎演習Ⅰ（心理学実験） 心理学基礎演習Ⅲ	2 2	心理学演習 心理調査法	2 2
選択科目	d. 知覚心理学・学習心理学	・5領域のうち3領域で、各4単位以上 ・合計16単位以上	学習・言語心理学 知覚・認知心理学Ⅰ	2 2	認知心理学Ⅰ 認知心理学Ⅱ 学習心理学 感情心理学 行動分析学	2 2 2 2 2
	e. 生理心理学・比較心理学		神経・生理心理学	2	生理心理学	2
	f. 教育心理学・発達心理学		発達心理学 乳幼児・児童心理学 青年・成人心理学 教育・学校心理学 高齢者心理学	2 2 2 2 2	発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ	2 2
	g. 臨床心理学・人格心理学		臨床心理学概論Ⅰ 臨床心理学概論Ⅱ 心理学的支援法 心理療法 認知行動療法論 心理的アセスメント 家族心理学 健康・医療心理学 教育相談の理論と方法 パーソナリティ心理学 発達臨床演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ 臨床心理学演習 健康心理学 カウンセリング心理学 パーソナリティ心理学 家族心理学	2 2 2 2 2 2 2
	h. 社会心理学・産業心理学		社会心理学 社会・集団・家族心理学 環境心理学 対人関係演習	2 2 2 2	社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 経済心理学 コミュニケーション心理学 集団心理学 産業・組織心理学 消費者行動学 マスメディア心理学 対人関係論 進化心理学	2 2 1 2 2 2 2 2 2 2

※授業内容等の審査結果により、認定を受ける科目が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、別途お知らせします。
※①ａ領域において４単位以上、ｂ，ｃ領域合わせて８単位以上あり、これらの小計が合計12単位以上あること。そのうちｃ領域が４単位以上となること。
②ｄ，ｅ，ｆ，ｇ，ｈの５領域中３領域以上で各領域それぞれ４単位以上あり、かつ５領域の合計が16単位以上あること。
③総計36単位以上であること。
④各領域に属する科目は「基本主題」と「副次主題」に区分されます。
「副次主題」科目の単位は、原則として本来の単位の１／２しか認定されません。
⑤ｃ領域に関しては、実験・実習リストが必要となります。

資格の授与機関：公益社団法人　日本心理学会
取得に関わる費用：審査料11,000円（申請時）
認定料33,000円（認定後）
成績証明書200円、卒業見込証明書200円
注意事項：資格の認定申請は学科が一括して日本心理学会に行うので、学科からの指示に従ってください。

［8］認定心理士（心理調査）　対象学科：現心、ビ心

認定心理士（心理調査）は、日本心理学会が心理調査に関連する専門科目を履修し、心理調査についての知識と技術を習得したことを認定する資格です。将来、社会において人々の感性やニーズなどを測定する心理調査を求められるような仕事に就くことを希望する者にとっては、基本的な心理調査の知識や技能を持つことを証明します。この資格を取得するためには、「日本心理学会認定心理士」の資格を取得する必要があります。

認定心理士（心理調査）に関する科目、単位数は下表および教育課程表を参照してください。

認定心理士(心理調査) カリキュラムによる領域		左記に対応する本学の開設授業科目			
		現代心理学科		ビジネス心理学科	
領　域	単位数	授業科目	認定心理士 (心理調査) 認定単位数	授業科目	認定心理士 (心理調査) 認定単位数
心理調査概論・心理調査法	2	調査概論	2	調査概論	2
心理学統計	2	心理学統計法Ⅱ	2	心理と統計Ⅱ	2
発展／展開研究（実習）	6	心理学基礎演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 ＊	2 4	心理調査法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 卒業論文 ＊ ビジネス心理学演習Ⅰ ビジネス心理学演習Ⅱ	2 4 2 2

※授業内容等の審査結果により、認定を受ける科目が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、別途お知らせします。
　心理学・行動科学領域を専門とする教員のゼミに所属し、調査・実験等を通して得られたデータを多変量解析し、卒業論文としてまとめた場合に単位が認められます。
＊全て単位修得をしても認定心理士（心理調査）の認定単位は４単位です。

資格の授与機関：公益社団法人　日本心理学会
取得に関わる費用：審査料16,500円（申請時）
　　認定料38,500円（認定後）
注意事項：認定心理士（心理調査）取得には、日本心理学会認定心理士の取得に必要な単位（P.171）を修得している必要があります。

［9］社会調査士　対象学科：現心、ビ心、現ビ、観光、公共

社会調査士とは、社会調査協会が社会調査の基礎能力を有する専門家であることを認定する資格です。調査企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘することができることを証明します。

社会調査士資格に関する科目、単位数は下表および教育課程表を参照してください。

社会調査士認定資格細則別表による領域		左記に対応する本学の開設授業科目	
領　域	単位数	授業科目	社会調査士認定単位数
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	2	調査概論	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	2	心理学基礎演習Ⅲ 心理調査法	2 2
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	2	心理学統計法Ⅰ 心理と統計Ⅰ データサイエンス演習Ⅰ	2 2 2
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	2	統計学 データサイエンスⅠ	2 2
【E】多変量解析の方法に関する科目	2＊	心理学統計法Ⅱ 心理と統計Ⅱ データサイエンス演習Ⅱ	2 2 2
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	2＊	―	―
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	4	ビジネス心理学演習Ⅰ ビジネス心理学演習Ⅱ	2 2

※授業内容等の審査結果により、認定を受ける科目が変更になる場合があります。変更が生じた場合は、別途お知らせします。
＊【E】と【F】は、どちらかを選択できるが、本学の場合は【E】を必ず単位修得すること。その他の科目は資格必修科目。

○「社会調査士（キャンディデイト）」制度

社会調査士（キャンディデイト）とは、卒業時に社会調査士資格を取得予定であることを証明するもので、下記の条件を満たすことで在学中に申請できます。

1．在籍期間が１年以上であること。
2．社会調査士科目を設置している大学（機関）で、申請時までに、標準カリキュラムＡ～Ｇに対応した科目を３科目以上単位取得していること。
3．２の単位取得済み科目と申請年度に履修中の科目の合計が５科目以上であること。
（ただしＥ／Ｆ科目は選択制のため１科目と数える。）

資格の授与機関：一般社団法人　社会調査協会
取得に関わる費用：社会調査士（キャンディデイト）申請手数料14,300円
社会調査士申請手数料　社会調査士（キャンディデイト）取得者の場合5,500円
無取得者の場合16,500円

[10] 公認心理師（国家試験受験資格）　対象学科：現心

「公認心理師」は2017年９月15日に施行された国家資格です。保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人に、心理学の専門的知識および技術による心理的援助を行います。具体的には、次の⑴～⑷の業務を行います。

⑴心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
⑵心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
⑶心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
⑷心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

資格取得のためには、大学在学中に下表25科目をすべて単位修得して卒業し、さらに公認心理師養成カリキュラムのある大学院に進学し修了すること、または公認心理師法第７条第２号に規定する認定施設での２年以上の実務経験をへて、国家試験に合格する必要があります。また、公認心理師登録簿への登録を受ける必要があります。つまり、国家試験に合格し、登録が完了して初めて登録証が交付されて「公認心理師」となることができます。

公認心理師法第７条第１号及び第２号に規定される必要な科目			左記に対応する本学の開講授業科目	
			授業科目名	単位数
職責に関する科目		①公認心理師の職責	公認心理師の職責	2
心理学基礎科目		②心理学概論	心理学概論Ⅰ	2
		③臨床心理学概論	臨床心理学概論Ⅰ	2
		④心理学研究法	心理学研究法	2
		⑤心理学統計法	心理学統計法Ⅰ	2
		⑥心理学実験	心理学基礎演習Ⅰ（心理学実験）	2
心理学発展科目	基礎心理学	⑦知覚・認知心理学	知覚・認知心理学Ⅰ	2
		⑧学習・言語心理学	学習・言語心理学	2
		⑨感情・人格心理学	感情・人格心理学	2
		⑩神経・生理心理学	神経・生理心理学	2
		⑪社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2
		⑫発達心理学	発達心理学	2
		⑬障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2
		⑭心理的アセスメント	心理的アセスメント	2
		⑮心理学的支援法	心理学的支援法	2
	実践心理学	⑯健康・医療心理学	健康・医療心理学	2
		⑰福祉心理学	福祉心理学	2
		⑱教育・学校心理学	教育・学校心理学	2
		⑲司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2
		⑳産業・組織心理学	産業・組織心理学	2
	心理学関連科目	㉑人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2
		㉒精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2
		㉓関係行政論	関係行政論	2
演習科目		㉔心理演習	心理演習	2
実習科目		㉕心理実習（80時間以上）	心理実習	2

※すべての科目を大学在学中に単位修得する必要があります。
※「心理演習」の定員は75名、「心理実習」の定員は60名です。

資格の授与機関：厚生労働省
取得に関わる費用：「心理実習」において実習費用、交通費が別途かかります。

[11] 上級ビジネス実務士　対象学科：現ビ

上級ビジネス実務士とは、実務の専門知識・スキルと社会人基礎力、自己管理力を備え、他のスタッフと協働で業務を遂行し、課題発見・解決力を発揮し、さらに自分の課題に気づき、能力を高める行動がとれる者に対して全国大学実務教育協会が認定する資格であり、次の①～③を備えた者に対して認定されます。①ビジネス（事業）に関する知識・スキルの基本を修得し、社会人基礎力と自己管理力を発揮して個人・協働業務においてビジネス実務を実践し、学びを継続することができる。②専門知識・スキル（ビジネス実務力）を修得し、専門的実務実践力を活用して変化するビジネス環境に対応して成果を出すことができる。③ビジネス実務知識・スキルを活用して取組む総合的学修活動を通して、多様な職業能力の基盤となる課題発見・解決力と学びの継続力の重要性を理解している。必修科目と選択科目があり、それぞれ所定の科目を履修し単位を修得する必要があります。

上級ビジネス実務士に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

上級ビジネス実務士資格認定規程に定められた区分	左記に対応する本学の開設授業科目	
	授業科目	単位数
領域Ⅰ	現代ビジネス概論	2＊
	経営学	2
	簿記・会計学Ⅰ	2
	簿記・会計学Ⅱ	2
	ＩＣＴビジネス論	2
	情報社会論	2
	地域経済学	2
	産業組織論	2
	国際経済論	2
	マーケティング論Ⅰ	2
	データサイエンスⅠ	2
	ビジネス情報処理演習	2
	情報処理基礎Ⅰ	1
	情報処理基礎Ⅱ	1
	情報処理基礎Ⅲ	1
	情報処理基礎Ⅳ	1
	情報処理演習Ａ	1
	情報処理演習Ｂ	1
	情報処理演習Ｃ	1
	情報処理演習Ｄ	1
領域Ⅱ	ビジネススキル演習	1＊
	ビジネススキル実践演習	1＊
	ビジネスマネジメント論	2＊
	管理会計論	2
	財務会計論	2
	経営管理論	2
	人的資源論	2
	経営組織論	2
	社会学	2
領域Ⅲ	ビジネス実践入門Ⅰ	2＊
	プレゼンテーション演習	1
	ビジネス実践入門Ⅱ	2
	人間行動学	2
	ボランティア論	2
	インターンシップ	2
	ビジネス実践演習Ⅰ	4
	ビジネス実践演習Ⅱ	4

単位数欄の＊は、必修科目です。
資格の授与機関：一般財団法人　全国大学実務教育協会
取得に関わる費用：申請費用7,700円
注意事項：１）所定の科目を履修し単位を修得した者には、所定の手続を経て「上級ビジネス実務士認定証」が授与されます。
２）資格取得に必要な単位数は、必修科目および選択科目合わせて24単位以上です。
（必修科目を８単位、選択科目を領域Ⅰ～Ⅲにわたり16単位以上、合計24単位以上修得しなければなりません。）
３）単位不足により資格取得ができない場合でも、全国大学実務教育協会に納入した申請費用は返金されません。申請手続等の詳細は、別途連絡します。

[12] 社会福祉主事（任用資格）　対象学科：公共

社会福祉主事は、「社会福祉法」に基づいて、各地方自治体の福祉事務所などに従事する公務員に任用される際に必要とされる資格（任用資格）です。

社会福祉主事任用資格は、大学で厚生労働大臣が指定する科目のうち３科目以上を履修して単位を修得して卒業した場合に取得することができます。社会福祉主事に関する科目・単位数は下表を参照してください。

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目	左記に対応する本学の開設授業科目	
科　目　名	授業科目	単位数
民法	民法	2
経済学	経済学	2
社会学	社会学	2

注意事項：「社会福祉主事任用資格」の取得については、「卒業証明書」及び「成績・単位修得証明書」により証明できます。資格証明書は発行しておりません。

[13] 一級建築士（国家試験受験資格）　対象学科：建築

一級建築士とは、建築士法第２条に規定され、国土交通大臣の免許を受けて、建築物に関する設計・工事監理、建築工事契約に関する事務手続、建築工事の指導監督、建築関連法や条例に基づく手続の代行等を行う者を指します。一級建築士は、複雑・高度な技術を要する建築物を含むすべての施設の設計および工事監理を行うことができます。（建築士法第３条）

一級建築士国家試験受験資格に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

建築士法第14条第１号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目		左記に対応する本学の開設授業科目	
指定科目の分類	単位数	授業科目名	単位数
建築設計製図	７単位以上	建築基礎製図 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ 建築設計演習Ⅴ スタジオ設計演習 建築設計特別演習 建築ＣＡＤⅠ 建築ＣＡＤⅡ 建築ＣＡＤⅢ	3 3 3 3 3 3 3 3 2 2 2
建築計画	７単位以上	建築計画学 住空間計画学 西洋建築史 日本建築史 近現代建築史	2 2 2 2 2
建築環境工学	２単位以上	建築環境学 建築環境学演習	2 2
建築設備	２単位以上	建築設備 建築設備演習	2 2
構造力学	４単位以上	建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ	2 2 2 2
建築一般構造	３単位以上	建築構法 建築一般構造学	2 2
建築材料	２単位以上	建築材料学 建築材料学実験	2 1
建築生産	２単位以上	建築施工 建築施工演習 建築積算 建築積算演習	2 2 2 2
建築法規	１単位以上	建築法規 建築法規演習	2 2

建築士法第14条第１号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目				左記に対応する本学の開設授業科目	
指定科目の分類	単位数			授業科目名	単位数
複合・関連科目	適　宜			建築概論 建築デザイン論 建築キャリアデザイン 建築倫理 空間デザイン論 建築基礎数学 建築基礎物理 建築プレゼンテーション 建築CG 建築思想作品論 建築設計デザイン演習 海外建築研修 国内建築研修A 国内建築研修B インテリアデザイン論 インテリアデザイン演習Ⅰ インテリアデザイン演習Ⅱ ランドスケープデザイン論 ランドスケープデザイン演習 アーバンデザイン 福祉環境論 福祉環境演習 商空間デザイン論 商空間デザイン演習Ⅰ 商空間デザイン演習Ⅱ 建築リノベーション論 建築リノベーション演習 建築フィールドワーク 住居史 建築マネジメント 住生活論 人間工学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
修得単位数	60単位	50単位	40単位	合　　計	139
必要な実務経験年数（試験時）	０年				
必要な実務経験年数（登録時）	２年	３年	４年		

免許の授与機関：国土交通省
取得に関わる費用：受験料17,000円（卒業後国家試験を受験する際に必要）
（2025年度の場合）免許申請費用28,400円（国家試験に合格し免許申請する際に必要）
指定科目修得単位証明書・卒業証明書　400円
注意事項：１）一定の指定科目を修得し卒業することで、一級建築士国家試験受験資格が得られます。
２）免許登録までに、所定の実務経験が必要です。なお、修得した指定科目の単位数により、建築実務の経験年数が異なります。
３）国家試験受験に必要な「指定科目修得証明書・卒業証明書」は、受験時に本学に申し込みをしてください。
４）国家試験の実施に関する事務は、公益財団法人建築技術教育普及センターが行います。

[14] 二級建築士（国家試験受験資格）・木造建築士（国家試験受験資格）　対象学科：建築、生デ

二級建築士とは、建築士法第２条に規定され、都道府県知事の免許を受けて、建築物に関する設計・工事監理、建築工事契約に関する事務手続、建築工事の指導監督、建築関連法や条例に基づく手続の代行等を行う者を指します。建設会社や建築設計事務所等で働きたい場合には、特に効力を発揮します。二級建築士の業務は、延べ面積30㎡を超えて、300㎡以下で高さが13m以下の鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造建築が対象となり、単に建築物を作るだけでなく、その建築物によって生じる周囲の環境への影響にも責任を持つ使命も負っています。

木造建築士とは、建築士法第２条によって規定され、都道府県知事の免許を受けて、二級建築士と同様の業務にあたりますが、業務の対象が100㎡を超えて、300㎡以下で２階建以下の木造建築物に限られます。

二級建築士・木造建築士国家試験受験資格に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

建築士法第15条第１号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目		左記に対応する本学の開設授業科目			
		建築学科		生活デザイン学科	
指定科目の分類	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
建築設計製図	３単位以上	建築基礎製図 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ 建築設計演習Ⅴ スタジオ設計演習 建築設計特別演習 建築ＣＡＤⅠ 建築ＣＡＤⅡ 建築ＣＡＤⅢ	3 3 3 3 3 3 3 3 2 2 2	設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ 建築ＣＡＤ・ＣＧⅠ 建築ＣＡＤ・ＣＧⅡ	2 2 2 2
建築計画 建築環境工学 建築設備	２単位以上	建築計画学 住空間計画学 西洋建築史 日本建築史 近現代建築史 建築環境学 建築環境学演習 建築設備 建築設備演習	2 2 2 2 2 2 2 2 2	住空間計画学 住環境学 住宅設備	2 2 2
構造力学 建築一般構造 建築材料	３単位以上	建築構造力学Ⅰ 建築構造力学Ⅱ 建築構造力学演習Ⅰ 建築構造力学演習Ⅱ 建築構法 建築一般構造学 建築材料学 建築材料学実験	2 2 2 2 2 2 2 1	住宅構造学 住居材料学	2 2
建築生産	１単位以上	建築施工 建築施工演習 建築積算 建築積算演習	2 2 2 2	住宅施工・積算	2
建築法規	１単位以上	建築法規 建築法規演習	2 2	建築法規	2

建築士法第15条第１号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目				左記に対応する本学の開設授業科目			
指定科目の分類	単位数			建築学科		生活デザイン学科	
				授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
複合・関連科目	適宜			建築概論	2	住生活論	2
				建築デザイン論	2	デザイン基礎	2
				建築キャリアデザイン	2	住居史	2
				建築倫理	2	インテリアデザイン論	2
				空間デザイン論	2	人間工学	2
				建築基礎数学	2	リビングデザイン	2
				建築基礎物理	2	エクステリアデザイン	2
				建築プレゼンテーション	2	環境デザイン論	2
				建築CG	2	色彩学	2
				建築思想作品論	2		
				建築設計デザイン演習	2		
				海外建築研修	2		
				国内建築研修A	2		
				国内建築研修B	2		
				インテリアデザイン論	2		
				インテリアデザイン演習Ⅰ	2		
				インテリアデザイン演習Ⅱ	2		
				ランドスケープデザイン論	2		
				ランドスケープデザイン演習	2		
				アーバンデザイン	2		
				福祉環境論	2		
				福祉環境演習	2		
				商空間デザイン論	2		
				商空間デザイン演習Ⅰ	2		
				商空間デザイン演習Ⅱ	2		
				建築リノベーション論	2		
				建築リノベーション演習	2		
				建築フィールドワーク	2		
				住居史	2		
				建築マネジメント	2		
				住生活論	2		
				人間工学	2		
修得単位数	40単位	30単位	20単位	合　　計	139	合　　計	40
必要な実務経験年数（試験時）	0年						
必要な実務経験年数（登録時）	0年	1年	2年				

免許の授与権者：都道府県知事
取得に関わる費用：受験料18,500円（卒業後国家試験を受験する際に必要）
（2025年度の場合）各免許申請費用24,400円（国家試験に合格し免許申請する際に必要）
指定科目修得単位証明書・卒業証明書　400円
注意事項：１）一定の指定科目を修得し卒業することで、二級建築士及び木造建築士国家試験受験資格が得られます。
２）免許登録までに、所定の実務経験が必要です。なお、修得した指定科目の単位数により、建築実務の経験年数が異なります。
３）国家試験受験に必要な「指定科目修得証明書・卒業証明書」は、受験時に本学に申し込みをしてください。
４）国家試験の実施に関する事務は、公益財団法人建築技術教育普及センターが行います。

[15] インテリアプランナー（登録資格）　対象学科：生デ

インテリアプランナーは、インテリアデザイン事務所や建築設計事務所、建設会社などで、オフィスや公共施設、店舗、住宅等のインテリア企画、設計、工事管理等を行う専門家です。この称号は、公益財団法人建築技術普及センターが付与します。所定の科目を履修し単位を修得して卒業すると、資格登録時の必要実務経験が不要になります。なお、登録にはインテリアプランナー試験の合格が必要です。

インテリアプランナーの「学科試験」に合格し登録すると、アソシエイト・インテリアプランナーの称号が付与されます。アソシエイト・インテリアプランナーは、基礎的な知識を持ち、建築士やインテリアプランナーの指導の下で補助業務を行う者を指します。

インテリアプランナー登録資格に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

個別認定課程に定められた授業科目					左記に対応する本学の開設授業科目	
区分		科目の種別		必要単位数	授業科目	単位数
A	インテリア関連科目	美術基礎	歴史	Aの必要単位数は、36単位からBの修得単位を差し引いた単位数とする。	―	―
			意匠		色彩学	2
			基礎技法		絵画・デッサンⅠ	1
					絵画・デッサンⅡ	1
					造形表現	1
		関連デザイン			環境デザイン論	2
					エクステリアデザイン	2
		デザイン基礎	歴史		住居史	2
			意匠		デザイン基礎	2
		生活			住生活論	2
					生活デザイン論	2
B	インテリア専門科目	インテリア（建築）計画	計画基礎・概論	24単位以上、インテリア（建築）設計［実技］を必ず履修。	インテリアデザイン論	2
			人間工学		人間工学	2
			室内環境		住環境学	2
			設備設計		住宅設備	2
			防災・安全計画		―	―
			インテリア演出計画		―	―
		インテリア（建築）の装備・施工	材料		住居材料学	2
			構法		住宅構造学	2
			施工		住宅施工・積算	2
			エレメント		―	―
		インテリア（建築）法規			建築法規	2
		インテリア（建築）設計［講義］	製図技法		建築ＣＡＤ・ＣＧⅠ	2
					建築ＣＡＤ・ＣＧⅡ	2
			計画～監理全般		―	―
			各種インテリア		住空間計画学	2
					リビングデザイン	2
		インテリア（建築）設計［実技］（必修）			設計製図Ⅰ	2
					設計製図Ⅱ	2
合　　計				36	合　　計	45

※Ａ＋Ｂ＝36単位以上、Ｂは24単位以上修得しなければなりません。また、Ａの必要単位数は36単位からＢの修得単位を差し引いた単位数とします。インテリア（建築）設計［実技］のうち「設計製図Ⅰ」を必ず履修してください。

称号の授与機関：公益財団法人建築技術教育普及センター

取得に関わる費用：受験手数料　「学科試験のみ」 9,900円
（2025年度の場合）　「設計製図試験」16,500円
登録手数料　「インテリアプランナー（新規）」11,000円
「アソシエイト・インテリアプランナー（新規）」2,200円
「インテリアプランナー登録資格に係る単位取得証明書」400円

注意事項：１）インテリアプランナー試験は「学科試験」と「設計製図試験」から構成され、「学科試験」を合格した者が「設計製図試験」を受験することができます。年齢制限はなく「学科試験」は誰でも受験することができます。
２）インテリアプランナー登録を行うためには、①インテリアプランナー試験（学科試験と設計製図試験）に合格②所定の授業科目の必要単位を修得して卒業　の要件を満たすことが必要となります。
３）インテリアプランナー試験に合格した後、登録申請を行う場合は、「インテリアプランナー登録資格に係る単位取得証明書」を本学に申し込んでください。

インテリアプランナー（登録資格）　対象学科：建築

建築学科を卒業すると、インテリアプランナー登録時の必要実務経験が不要になります。インテリアプランナーの概要については、前頁を参照してください。

なお、建築学科を卒業した場合でも、登録のためには「インテリアプランナー試験」に合格する必要があります。

取得に関わる費用：受験手数料　「学科試験のみ」 9,900円
（2025年度の場合）　「設計製図試験」16,500円
登録手数料　「インテリアプランナー（新規）」11,000円
「アソシエイト・インテリアプランナー（新規）」2,200円

注意事項：1）インテリアプランナー試験は「学科試験」と「設計製図試験」から構成され、「学科試験」に合格した者が「設計製図試験」を受験することができます。年齢制限はなく「学科試験」は誰でも受験することができます。
2）一級建築士・二級建築士・木造建築士の資格を取得（国家試験に合格し、免許申請を行い名簿に登録）した場合は、学科試験が免除されます。一級建築士・二級建築士・木造建築士国家試験受験資格取得に関してはP.177~180を参照してください。

[16] フードスペシャリスト（受験資格）
専門フードスペシャリスト（食品開発）（受験資格）
専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）（受験資格）

対象学科：生デ

フードスペシャリストとは、食の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあることをしっかり学び、食に関する幅広い知識と技術を身につけた食の専門家です。

フードスペシャリストは、食品の開発製造、流通、販売、外食などを担う食品産業をはじめ、食関係の広範な分野で活躍しています(日本フードスペシャリスト協会ウエブサイトより)。

フードスペシャリスト・専門フードスペシャリスト受験資格に関する科目は、全て資格必修科目です。詳細は、下表および教育課程表を参照してください。

フードスペシャリスト養成のための教育課程に規定された授業科目		本学の開設授業必修科目	単位数
必修科目	フードスペシャリスト論	フードスペシャリスト論	2
	食品の官能評価・鑑別論	食品評価・鑑別論	2
		食品評価・鑑別論演習	2
	食物学に関する科目	食品加工学	2
		食品学	2
		食品学実験	1
	食品の安全性に関する科目	食品衛生学	2
	調理学に関する科目	調理学	2
		調理学実習Ⅰ	1
		調理学実習Ⅱ	1
	栄養と健康に関する科目	栄養学	2
	食品流通・消費に関する科目	食品流通・消費論	2
	フードコーディネート論	フードコーディネート論	2
選択科目	フードスペシャリスト資格に適当とされる科目	食生活論	2

資格の授与機関：公益社団法人　日本フードスペシャリスト協会
取得に関わる費用：＜フードスペシャリスト＞認定試験受験料5,500円　資格認定証交付手数料5,500円
＜専門フードスペシャリスト＞認定試験受験料3,300円　資格認定証交付手数料3,300円

注意事項：1）受験資格とは、日本フードスペシャリスト協会が実施する「フードスペシャリスト資格認定試験」および「専門フードスペシャリスト資格認定試験」を受験できる資格であり、これらの資格を得ようとする者は各認定試験に合格する必要があります。
試験は、３年次または４年次の12月第３日曜日に本学で行われます。（予定）

2）専門性・実用性の高い「専門フードスペシャリスト(食品開発)」又は「専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)」資格認定試験を受験するためには、フードスペシャリスト資格認定試験に既に合格している、またはフードスペシャリスト資格認定試験を同時に受験する必要があります。

3）「専門フードスペシャリスト資格認定試験」は共通科目と専門選択科目の２区分で構成されています。
２区分それぞれの合格水準を２年かけて満たすことで、合格となる採点方法があります。
詳細については、別途お知らせします。

4）認定試験に合格した者には、所定の申請手続を経て卒業時に「フードスペシャリスト資格認定証」「専門フードスペシャリスト資格認定証」が授与されます。申請手続等の詳細については、別途連絡します。

5）在学中に認定試験を受験し不合格であっても、受験資格に必要な上記単位を修得している場合は、卒業後でも年１回行われる認定試験を受験することができます。

[17] 栄養士　対象学科：管理

栄養士とは、都道府県知事が授与する免許を受け、学校・病院・給食センター・社会福祉施設・食品会社等で、栄養学に基づいた理想的な栄養バランスの献立作成や調理方法の改善・指導等を行う者を指します。本学では、所定の科目を履修し単位を修得すれば、卒業と同時に栄養士免許が取得できます。

栄養士に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

栄養士法施行規則第９条別表第１による教育内容	講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数
社会生活と健康	4	4	食環境論	2	
			公衆衛生学（環境を含む）	2	
			保健福祉論	2	
人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	2	
			解剖生理学Ⅱ	2	
			解剖生理学実習Ⅰ		1
			生化学Ⅰ	2	
			生化学Ⅱ	2	
			基礎生化学実験		1
			栄養生化学実験		1
			疾病論Ⅰ	2	
			疾病論Ⅱ	2	
食品と衛生	6		食品学Ⅰ	2	
			食品学実験		1
			食品加工学	2	
			食品衛生学	2	
栄養と健康	8	10	基礎栄養学	2	
			基礎栄養学実験		1
			成長期栄養学	2	
			加齢期栄養学	2	
			応用栄養学実験		1
			臨床栄養学	2	
			病態栄養学Ⅰ	2	
			病態栄養学Ⅱ	2	
			臨床栄養学実習Ⅰ		1
			臨床栄養学実習Ⅱ		1
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2	
			栄養教育論Ⅱ（カウンセリング論を含む）	2	
			栄養教育実習Ⅰ		1
			栄養教育実習Ⅱ		1
			公衆栄養学	2	
			公衆栄養学実習		1
給食の運営	4		調理学	2	
			調理学実習Ⅰ		1
			調理学実習Ⅱ		1
			給食管理学	2	
			給食経営学	2	
			給食経営管理実習		1
			給食経営管理臨地実習		1
小　　計	36	14	小　　計	48	15
合　　計	50		合　　計	63	

※必修単位は50単位となっていますが、本学では栄養士法施行規則第９条別表第１に基づき開設する授業科目63単位を修得しなければなりません。

免許の授与権者：都道府県知事
取得に関わる費用：学外での実習は学生１人につき１週間あたり10,000円程度を該当年次の全実習終了後に徴収します。（2025年度の場合）
申請費用5,600円
証明書２通600円
注意事項：免許の申請手続等の詳細については、別途連絡します。

[18] 管理栄養士（国家試験受験資格）　対象学科：管理

管理栄養士とは、厚生労働大臣が授与する免許を受け、栄養士が行う業務に加えて①傷病者に対する治療のために必要な栄養指導、②個人の身体の状況、栄養状態に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康保持増進のための栄養指導、③特定多数の人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体状況、栄養状態、利用の状況等に応じた特別の配慮を必要とする給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導を行う者を指します。本学では、所定の科目を履修し単位を修得すれば、卒業と同時に栄養士免許が取得でき、卒業後に必要な実務経験が免除されて、管理栄養士国家試験を受験できる資格を得ることができます。

管理栄養士に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

管理栄養士学校指定規則第２条第１号別表第１による教育内容		講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	健康科学概論	2	
				食環境論	2	
				公衆衛生学（環境を含む）	2	
				保健福祉論	2	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学Ⅰ	2	
				解剖生理学Ⅱ	2	
				解剖生理学実習Ⅰ		1
				解剖生理学実習Ⅱ		1
				生化学Ⅰ	2	
				生化学Ⅱ	2	
				基礎生化学実験		1
				栄養生化学実験		1
				運動生理学	2	
				病理病態学	2	
				疾病論Ⅰ	2	
				疾病論Ⅱ	2	
				微生物学	2	
				微生物学実験		1
	食べ物と健康	8		食品学Ⅰ	2	
				食品学Ⅱ	2	
				基礎分析実験		1
				食品学実験		1
				食品加工学	2	
				食品加工実習		1
				調理学	2	
				調理学実習Ⅰ		1
				調理学実習Ⅱ		1
				食品衛生学	2	
				食品衛生学実習		1
	小　　計	28	10	小　　計	36	11

<次頁につづく>

管理栄養士学校指定規則第２条第１号別表第１による教育内容		講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	講義又は演習の単位数	実験又は実習の単位数
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学 基礎栄養学実験	2 	 1
	応用栄養学	6		成長期栄養学 加齢期栄養学 栄養アセスメント 応用栄養学実験	2 2 2 	 1
	栄養教育論	6		栄養教育総論 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ（カウンセリング論を含む） 栄養教育実習Ⅰ 栄養教育実習Ⅱ	2 2 2 	 1 1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学 病態栄養学Ⅰ 病態栄養学Ⅱ 栄養管理学 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 臨床薬理学	2 2 2 2 2	 1 1
	公衆栄養学	4		公衆栄養学 公衆栄養活動 公衆栄養学実習	2 2 	 1
	給食経営管理論	4		給食管理学 給食経営学 給食経営管理実習	2 2 	 1
	総合演習	2		栄養管理総合演習	2	
	臨地実習		4	臨床栄養学臨地実習Ⅰ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ 臨床栄養学臨地実習Ⅲ 給食経営管理臨地実習 公衆栄養学臨地実習		1 1 1 ＊ 1 1 ＊
	小　　計	32	12	小　　計	34	12
累　　計		60	22	累　　計	70	23
合　　計		82		合　　計	93	

※この表の他に基礎分野（人文科学・社会科学・自然科学・外国語・保健体育）42単位が必要です。基礎分野とは本学の共通教育科目にあたります。上表の法律に定められた必修単位は82単位ですが、本学では管理栄養士学校指定規則第２条第１号別表第１による教育内容に基づき開設する授業科目93単位を修得しなければなりません。共通教育科目32単位を修得して、なお足りない基礎分野の10単位は、専門基礎分野及び専門分野の単位を持って代えることができます。
※実験又は実習の単位数欄の＊は、選択必修科目であり、これらのうち１単位以上を修得すること。

免許の授与機関：厚生労働省
取得に関わる費用：学外での実習は学生１人につき１週間あたり11,500円程度（４週間で46,000円程度）を該当年次の全実習終了後に徴収します。（2025年度の場合）
受験手数料6,800円（国家試験を受験する際に必要）
申請費用15,000円（合格後、申請する際に必要）
注意事項：管理栄養士国家試験に合格して初めて管理栄養士の免許が取得できますので、管理栄養士を目指す者は必ず所定の科目を履修し単位を修得してください。
国家試験は例年２～３月に実施されます。

[19] 食品衛生管理者（任用資格）・食品衛生監視員（任用資格）　対象学科：管理、生物

食品衛生管理者とは、食品衛生法第48条に規定され、乳製品・食品添加物等の食品を製造又は加工する過程において、食品衛生法及び関連法規やその他の規制に対して違反が行われないように、製造又は加工に従事する者の監督をする者を指します。食品衛生法施行令で定めるもの（食品製造・放射線照射食品・食品油脂等）の製造又は加工を行う営業者は、必ず食品衛生管理者を配置することとなっています。

食品衛生監視員とは、食品衛生法第30条に規定され、販売あるいは使用される食品、添加物、器具、容器包装、施設等の衛生を確保するため、国や地方自治体の公務員として、食品関連の施設や病院、学校、寄宿舎等の給食施設に対して食品衛生の監視・指導・検査を行う者を指します。これらの任用資格を取得しようとする者は、所定の科目を履修し単位を修得する必要があります。

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

食品衛生法及び同法施行令・同法施行規則に定める科目		左記に対応する本学の開設授業科目					
		管理栄養学科			生物科学科		
別表区分	別表科目	授　業　科　目	単位数	備　考	授　業　科　目	単位数	備　考
A群 化学関係	分析化学	基礎化学	2		基礎化学	2	
	有機化学	―		基礎化学に含む	化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ	1 1	
	無機化学	―		基礎化学に含む	―		化学実験ⅠⅡに含む
B群 生物化学 関係	生物化学	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 基礎生化学実験 栄養生化学実験	2 2 1 1		生物化学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習 生物学実験Ⅰ 生物学実験Ⅱ 基礎生物学 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 分子生物学実習	2 2 2 1 1 1 2 2 2 1	
	食品化学	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験	2 2 1		食品化学 食品化学実習	2 1	
	生理学	解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実習Ⅱ	2 1		動物生理学	2	
	食品分析学	―		食品学Ⅱ、食品学実験に含む	―		
	毒性学	―			―		
C群 微生物学 関係	微生物学	微生物学 微生物学実験	2 1		微生物学 微生物学実習	2 1	
	食品微生物学	―		食品衛生学に含む	―		
	食品保存学	食品加工学 食品加工実習	2 1		食品加工学	2	
	食品製造学	―		食品加工学に含む	―		食品加工学に含む
D群 公衆衛生学 関係	公衆衛生学	公衆衛生学（環境を含む）	2		環境科学実習	1	
	食品衛生学	食品衛生学 食品衛生学実習	2 1		フードセイフティ論	2	
	環境衛生学	―		公衆衛生学に含む	―		
	衛生行政学	―		公衆衛生学に含む	―		
	疫学	―		公衆衛生学に含む	―		
A群からD群までそれぞれ1科目以上22単位以上		小計	27		小計	33	

<次頁につづく>

食品衛生法及び同法施行令・同法施行規則に定める科目		左記に対応する本学の開設授業科目					
		管理栄養学科			生物科学科		
別表区分	別表科目	授　業　科　目	単位数	備　考	授　業　科　目	単位数	備　考
E群 その他 関連科目	病理学	病理病態学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 免疫・アレルギー概論	2 2 2 2		―		
	解剖学	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学実習Ⅰ	2 1		―		
	医学概論	―			―		
	栄養化学	成長期栄養学 加齢期栄養学 応用栄養学実験	2 2 1		―		
	栄養学	基礎栄養学 基礎栄養学実験	2 1		―		
	衛生統計学	―		公衆衛生学に含む	―		
	酵素化学	―			酵素化学	2	
	植物生理学	―			植物生理学 植物生理学実習 生理学演習	2 1 1	
	環境生物学	―			環境生物学	2	
	応用微生物学	―			応用微生物学 微生物利用学 微生物工学演習 発酵化学 発酵工学 発酵・醸造学演習	2 2 1 2 2 1	
	遺伝学	―			遺伝子工学	2	
	栄養化学	―			食品の機能	2	
	醸造調味食品製造学	―			醸造科学	2	
E群を含めて総単位数が40単位以上		小計 総単位数	19 46		小計 総単位数	24 57	

資格の認定機関：安田女子大学

注意事項：１）資格取得に必要な授業科目や単位数は、各学科の教育課程表を参照してください。

２）卒業時に食品衛生管理者と食品衛生監視員の資格取得証明書が交付されます。

３）この資格は任用資格です。任用資格とは、その職種に任用される資格を持つとみなされる資格であり、公務員試験等に合格して採用され、特定の業務に任用される時にその効力を発揮します。食品衛生管理者は、その職種に就いて、営業者が都道府県知事に届け出を行うことにより資格名称を使用できます。食品衛生監視員は公務員として採用され、食品衛生の部局に配属された時に資格名称を使用できます。

[20] ウェブデザイン実務士　対象学科：造形

ウェブデザイン実務士とは、インターネットに関する専門的な知識やウェブサイトを構築・運営する技術を有する者に対して、全国大学実務教育協会が認定する資格であり、インターネットの総括的な理解、ウェブサイトの規格や言語、情報の関連付けや視覚化、サイト運営における著作権問題等を学んだ者に対し認定されます。

必修科目と選択科目があり、それぞれ所定の科目を履修し単位を修得する必要があります。

ウェブデザイン実務士に関する科目、単位数は、下表および教育課程表を参照してください。

ウェブデザイン実務士資格認定規程に定められた区分	左記に対応する本学の開設授業科目	
	授業科目	単位数
領域Ⅰ	情報処理演習C	1＊
	デジタルデザインⅡ	1＊
	WebデザインⅠ	1＊
	デザインと知的財産	2
	プログラミング総論	2
	プログラミングⅠ	1
	プログラミングⅡ	1
	プログラミングⅢ	1
	プログラミングⅣ	1
	デジタルデザインⅠ	1
領域Ⅱ	生活美学論	2＊
	色彩学	2＊
	映像表現Ⅰ	1＊
	映像表現Ⅱ	1＊
	コンピュータグラフィックスⅠ	1
	コンピュータグラフィックスⅡ	1
領域Ⅲ	WebデザインⅡ	1＊
	データ分析Ⅰ	2

単位数欄の＊は、必修科目である。

資格の授与機関：一般財団法人　全国大学実務教育協会
取得に関わる費用：申請費用5,500円
注意事項：1）所定の科目を履修し単位を修得した者には、所定の手続を経て「ウェブデザイン実務士認定証」が授与されます。
2）資格取得に必要な単位数は、必修科目および選択科目合わせて22単位以上です。（必修科目を10単位、選択科目を領域Ⅰ～Ⅲにわたり12単位以上、合計22単位以上修得しなければなりません。）
3）必修科目「映像表現Ⅰ」「映像表現Ⅱ」については、作品のWeb上の公開とともに、100点満点で70点以上、もしくは、70点以上に相当する評価点を得たものでなければなりません。
4）単位不足により資格取得ができない場合でも、全国大学実務教育協会に納入した申請費用は返金されません。申請手続等の詳細は、別途連絡します。

[21] 薬剤師（国家試験受験資格）　対象学科：薬

薬学部を卒業すると薬剤師国家試験受験資格が付与されます（試験が行われる年度内に卒業する見込みがある者にも付与される）。薬剤師になるためには、毎年２月または３月に行われる薬剤師国家試験に合格することが必要です。その後、厚生労働省の薬剤師名簿への登録を申請すれば、厚生労働大臣から薬剤師免状が与えられます。薬剤師国家試験は１）必須問題、２）理論問題、３）実践問題の３区分について２日にわたり行われます。

薬剤師は、１．調剤業務（薬剤師法19条）、２．薬局の管理者「医薬品の管理をする」（薬機法８条）、３．店舗販売業、配置販売業の管理者「医薬品販売業の管理をする」（薬機法27条）、４．医薬品製造（輸入販売）業の管理者「医薬品製造所の管理をする（動物用医薬品の製造所管理も含む）」（薬機法17条）、５．保険薬剤師「保険薬局において健康保険等の処方箋による調剤をする」（健康保険法64条）、６．学校薬剤師「学校において保健計画の立案、環境衛生、保健管理に関する技術および指導に従事する」（学校保健安全法23条）等の業務に従事することができます。

〜〜

薬剤師免状を取得すると、申請、届け出、講習等によって取得できる資格が多くあります。また、薬学部を卒業後に試験、講習を受けて取得できる資格もあります。

○薬学部を卒業すると取得することができる主な資格等

口腔ケア学会認定受験資格＊

口腔ケアの知識、技術の普及、質の向上を通じて国民の福祉のために貢献することを目的としています。薬剤師国家資格を有し、日本口腔ケア学会会員であることが４級・５級の受験資格となっています。

４級（薬剤師）：口腔ケアの疾患別、症状別の一般的知識を有する者を認定します。

５級（薬剤師）：口腔ケアに関する初歩的な用語、手技の知識を有する者を認定します。

＊口腔ケア学会認定資格の下位資格として「口腔ケアアンバサダー」があります。在学中に資格を取得することができ、申請により検定料免除で受験できます。

甲種危険物取扱者受験資格＊

一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設には、危険物を取り扱うために必ず危険物取扱者を置かなければならないことになっており、甲種危険物取扱者は、全種類の危険物について、その取扱いと定期点検、保安の監督を行います。

＊指定の単位修得により、在学中に受験資格を取得することができます。指定の単位は学科に確認してください。

食品衛生管理者

食品衛生法により食品衛生法施行令に指定のある食肉製品製造業等、製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とする、一定の食品又は食品添加物の製造又は加工を行う営業者が、その施設ごとに必置の義務がある有資格者です。

毒物劇物取扱責任者

毒物又は劇物の製造業、輸入業又は販売業が置く専任の「毒物劇物取扱責任者」は、毒物又は劇物による保健衛生上の危害を防止します。

食品衛生監視員

検疫所における輸入食品の監視指導等や、地方厚生局における総合衛生管理製造過程の承認等を行います。

厚生労働省検疫所食品衛生監視員（専門行政職）採用試験に合格することが必要です。

向精神薬取扱責任者

向精神薬の取扱の責任者です。病気治療に使用する向精神薬の保管・管理を行います。

○薬剤師であれば取得することができる主な資格等

第一種、第二種衛生管理者

衛生に係る技術的事項を管理するための国家資格です。

常時50人以上の労働者を使用する一定の事業場において選任が義務付けられています。

麻薬取締員（地方公務員）

麻薬の取締、薬物の不正ルートの解明等の薬物犯罪の捜査や、正規麻薬（医療目的で許可を受けて合法的に使用される麻薬）の不正使用・横流し・盗難等の監視・捜査を行います。

麻薬取締官（国家公務員）

麻薬の取締、薬物の不正ルートの解明等の薬物犯罪の捜査や、正規麻薬（医療目的で許可を受けて合法的に使用される麻薬）の不正使用・横流し・盗難等の監視・捜査を行います。

麻薬管理者

麻薬を使用している病院等の施設で、麻薬の管理全般を行う国家資格者です。

薬事監視員

保健所に勤務する薬剤師は、医薬品等を取り扱う施設に立入検査等を行い、薬事法に違反していないかどうかを監視・指導します。

○薬剤師であれば取得が有利になる主な資格等

作業環境測定士

作業環境測定法に基づいて職場環境に存在する有害物質を調査するため、調査計画（デザイン）、試料採取（サンプリング）、分析（簡易測定および測定機器を用いる）を行い、労働作業者の健康を守ります。

薬剤師は、国家試験が免除されますが、登録講習の受講が必要です。

公害防止管理者

特定の工場で、燃料や原材料の検査、騒音や振動の発生施設の配置の改善、排出水や地下浸透水の汚染状態の測定の実施、煤煙の量や特定粉塵の濃度の測定、排出ガスや排出水に含まれるダイオキシン類の量の測定といった業務を管理します。

資格認定講習を受講することにより、「大気関係第 2 種」および「水質関係第 1 ～ 4 種」の公害防止管理者の資格を得ることができます。

環境計量士

大気、水（工場排水・河川等）、土壌等に含まれる有害物質の濃度や、環境中の振動・騒音の計測を行います。環境計量士は、経済産業省大臣認定の国家資格です。

受験資格は特にありません。ただし、薬剤師の免状を取得していれば、計量士としての登録に必要な 1 年の実務経験が免除されます。

労働衛生コンサルタント

事業所における労働衛生の水準の向上を図るための指導を行う国家資格です。試験は（財）安全衛生技術試験協会が行います。

受験資格は大学の理系卒業者で、労働衛生実務 5 年以上の者ですが、薬剤師試験合格者は労働衛生実務の必要がありません。

介護支援専門員

介護保険において要支援・要介護と認定された人に対するアセスメントを行い、それに基づくケアプランの作成と対象サービスの調整を行い、介護保険の給付管理を実施します。介護支援専門員として任用されるには、都道府県の実施する「介護支援専門員実務研修」を受講して登録する必要がありますが、研修を受講するには「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格しなければなりません。

5 年以上の実務経験がある薬剤師には、この受験資格があります。

放射線取扱主任者

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律に基づき、放射性同位元素あるいは放射線発生装置を取り扱う場合に、放射線障害の防止を監督します。文部科学大臣が許可する国家資格です。財団法人原子力安全技術センターが試験を行います。

事業所が一定の条件内で、薬剤師を放射線取扱主任者として選任できます。しかし薬剤師が、申請のみで放射線取扱主任者資格を取得することはできません。

その他：配置販売業者、医薬部外品、化粧品又は医療用具の製造（輸入販売）所の責任技術者、建築物環境衛生管理技術者、水道技術管理者、ごみ処理施設の技術管理者、外国製造医薬品等の国内管理者、飼料製造管理者、学校薬剤師等。

[22] 看護師（国家試験受験資格）　対象学科：看護

看護師とは厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくは褥婦（じょくふ）に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者を指します。

看護師の就業先は、医療機関だけでなく福祉施設、在宅等活躍する場が広がっています。

看護師国家試験受験資格は、所定の科目を履修し単位を修得すれば得ることができます。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則第４条別表３による教育内容			単位数		左記に対応する本学の開設授業科目	単位数		
基礎分野	科学的思考の基盤		14		特別科目	4単位		
					共通教育科目 キャリア科目 教養科目 人間理解 社会理解 国際理解 科学技術理解	32単位 （うち、情報処理科目４単位以上、外国語科目６単位以上。基礎養成科目は４単位を上限として共通教育科目32単位に算入することが出来る。）		
	人間と生活・社会の理解				基礎科目 情報処理科目 健康スポーツ科目 外国語科目 基礎養成科目			
専門基礎分野	人体の構造と機能		16		機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 機能形態学Ⅲ	2 2 2		必修89単位＋選択必修３単位以上必修
					生化学・栄養学 微生物・免疫学	2 2	２単位以上	
	疾病の成り立ちと回復の促進				薬理学 病理病態学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅲ 疾病論Ⅳ	1 2 2 2 2 2		
	健康支援と社会保障制度		6		保健医療福祉行政論 疫学 保健統計学	2 2 2		
専門分野	基礎看護学		11		基礎看護学概論Ⅰ 基礎看護学概論Ⅱ 看護過程論 看護管理学 生活援助方法論Ⅰ 生活援助方法論Ⅱ カウンセリング論 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 発達心理学Ⅲ 医療心理学	2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2		
	地域・在宅看護論		6		在宅看護学 在宅看護方法論 公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理・活動論Ⅰ 公衆衛生看護管理・活動論Ⅱ	2 2 2 2 2		
	成人看護学		6		成人看護学 成人看護方法論Ⅰ（慢性期） 成人看護方法論Ⅱ（急性期）	2 2 2		
	老年看護学		4		高齢者看護学 高齢者看護方法論	2 2		
	小児看護学		4		小児看護学 小児看護方法論	2 2		
	母性看護学		4		母性看護学 母性看護方法論	2 2		
	精神看護学		4		精神看護学 精神看護方法論	2 2		
	看護の統合と実践		4		救命救急看護論 リハビリテーション看護論 エンド・オブ・ライフケア論 公衆衛生看護管理論 地域母子保健論	1 1 1 1 1	１単位以上	
					医療・看護倫理学 国際看護論 国際交流・実践 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	1 1 2 1 1		
	臨地実習	基礎看護学	3	23	基礎看護学臨地実習Ⅰ 基礎看護学臨地実習Ⅱ	1 2		
		地域・在宅看護論	2		地域・在宅看護学臨地実習	3		
		成人看護学	4		成人看護学臨地実習Ⅰ（慢性期） 成人看護学臨地実習Ⅱ（急性期） 成人看護学臨地実習Ⅲ（高度急性期）	2 2 1		
		老年看護学			高齢者看護学臨地実習Ⅰ（慢性期） 高齢者看護学臨地実習Ⅱ（回復・リハビリ期）	2 2		
		小児看護学	2		小児看護学臨地実習	2		
		母性看護学	2		母性看護学臨地実習	2		
		精神看護学	2		精神看護学臨地実習	2		
		看護の統合と実践	2		看護の統合と実践臨地実習	2		

免許の授与機関：厚生労働省

資格取得に関わる費用：１）実習費用　臨地実習は学生１人につき１日2,000円程度とし、実習によっては遠隔地旅費一律負担金を当該年次（金額未確定）に徴収します。併せて別途交通費実費が必要です。（予定）

２）国家試験受験費用　受験手数料5,400円（国家試験を受験する際に必要）
申請費用　9,000円（合格後、申請する際に必要）

注意事項：１）看護師国家試験に合格して初めて看護師の免許が取得できるので、看護師を目指す者は必ず所定の科目を履修し単位を修得してください。

２）国家試験は例年２月中旬に実施されるため、卒業見込みで受験します。

●臨地実習要綱

1．臨地実習の単位認定資格は、出席時間数が授業時間数の５分の４以上に達していなければならない。

2．追実習及び再実習については、次のとおり定める。

①病気、その他やむを得ない事由により出席時間数が当該実習時間数の５分の４に達しない者に対して、所定の手続を行い、許可された場合に追実習を行うことができる。

②追実習の実施は１回限りとし、追実習の不合格者に対する再実習は実施しない。

③実習施設の受入が可能でなければならない。

④追実習の手続は学科と実習先とで別日程で時間数を満たすように調整を図る。

⑤追実習を願い出ることができる欠席理由は、追試験に準ずる。

⑥原則、臨地実習科目の再実習は、行わない。

3．成績評価基準及び単位の認定

①成績評価はP. 22の［１］成績評価 に準ずる。

②成績評価は、所定の期日までに行う。

③単位の認定は基本的知識の理解、基本的実践技術・技能の修得、実習態度、出席状況、自己洞察（実習記録・課題レポートなど）の評価項目に基づき総合的に評価する。

④成績の通知は、期末に実習が実施されるため成績が決定次第通知する。

⑤成績評価について疑義があるときは、成績発表後１週間以内に授業担当教員に直接問い合わせることができる。

[23] 保健師（国家試験受験資格）　対象学科：看護

保健師とは、厚生労働大臣の免許を受けて、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者を指します。健康相談・健康教育を通して、健康の保持増進・疾病予防等の保健指導の仕事に従事します。

保健師は、主に都道府県・市町村等の保健所・保健センターや、地域包括支援センター等で保健・医療・福祉行政に従事したり、企業の産業保健師として勤務します。また小・中・高等学校等で児童・生徒と教職員の心身の健康保持に努める養護教諭（二種）の資格も取得できます。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 第２条別表１による教育内容 ＼ 対応する本学の開設授業科目			単位数		公衆衛生看護学	在宅看護学	在宅看護方法論	公衆衛生看護管理・活動論Ⅰ	公衆衛生看護管理・活動論Ⅱ	成人看護方法論Ⅰ（慢性期）	高齢者看護方法論	小児看護方法論	母性看護方法論	精神看護方法論	国際看護論	医療・看護倫理学	疫学	保健統計学	保健医療福祉行政論	公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ
			単位数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	1	2	3
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論		2	23	○																	
	個人・家族・集団・組織の支援		14			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	公衆衛生看護活動展開論					○		○	○													
	公衆衛生看護管理論							○	○							○						
疫学			2														○					
保健統計学			2															○				
保健医療福祉行政論			3																○	○		
臨地実習	公衆衛生看護学実習	個人・家族・集団・組織の支援実習	2	5																	○	○
		公衆衛生看護活動展開論実習	3																		○	○
		公衆衛生看護管理論実習																			○	○

※この表の他に看護師国家試験受験資格に関わる所定の科目の単位を修得しなければなりません。

免許の授与機関：厚生労働省
資格取得に関わる費用：１）実習費用　保健師養成課程科目の臨地実習は選択希望者選考後のガイダンスで説明します。
２）国家試験受験費用　受験手数料5,400円（国家試験を受験する際に必要）
申請費用　9,000円（合格後、申請する際に必要）
注意事項：１）保健師国家試験に合格して初めて保健師の免許が取得できるので、保健師を目指す者は必ず所定の科目を履修し単位を修得してください。
２）国家試験は例年２月中旬に実施されるため、卒業見込みで受験します。

●保健師養成課程の選択希望者　選考要件
1．保健師養成課程と助産師養成課程どちらかのみの選択を前提とする。
2．保健師養成課程は定員15名とする。
3．選考試験は３年次12月に実施する。
4．受験要件として、看護師養成課程３年前期までの必修科目を修得していること。
なお、保健師養成課程においては２科目が追加となる。（下表参照）
5．入学時オリエンテーションにおいて、保健師養成課程の選考について説明する。

項目	保健師養成課程
受験要件科目	看護師養成課程必修科目
	公衆衛生看護管理・活動論Ⅰ
	公衆衛生看護管理・活動論Ⅱ
選考時期	３年後期　12月
選考方法	受験要件科目のGPA得点の総合点
	小論文（800字程度）
	面接（個人・15分程度）
	総合得点
選考結果	３年後期　12月下旬

保健師の免許取得後、申請により取得できる免許・資格があります。

○保健師であれば取得することができる主な免許・資格

養護教諭二種免許状

小・中・高等学校の保健室において、怪我や病気の救急処置、保健指導、健康相談、悩みを持った児童・生徒の心のケア、学校保健計画、保健室の管理運営等を行います。

公立の学校に教員として勤務する場合は、公立学校教員採用候補者選考試験に合格することが必要です。

なお、「保健師の免許を持っていること」を基礎資格として、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の科目について、各２単位を修得している必要があります（共通教育科目教育課程表の備考欄にある、教職必修に関する注記を参照）。

第一種衛生管理者

衛生に係る技術的事項を管理するための国家資格です。常時50人以上の労働者を使用する一定の事業場において選任が義務付けられています。

[24] 助産師（国家試験受験資格）　対象学科：看護

助産師とは厚生労働大臣の免許を受けて、助産又は妊婦、褥婦（じょくふ）もしくは新生児の保健指導を行うことを業とする女子を指します。妊娠、出産、産褥（さんじょく）の各時期において、その一生の性と生殖に関わる健康問題を中心にケアおよび指導助言を行います。助産師の責任において出産を円滑に進め正常分娩をより生理的な状態になるように、女性とパートナーシップを持って活動します。この業務は、産前教育、親になる準備を含み、さらに、女性の健康、性と生殖に関する保健指導・育児支援に及びます。

助産師国家試験受験資格は、所定の科目を履修し単位を修得すれば得ることができます。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則第３条別表２による教育内容	単位数	左記に対応する本学の開設授業科目	
		授業科目	単位数
基礎助産学	5	母性看護学 助産学概論 周産母子看護論	2 2 1
助産診断・技術学	10	母性看護方法論 助産診断技術学Ⅰ 助産診断技術学Ⅱ 助産診断技術学Ⅲ 助産診断技術学演習	2 2 2 2 2
地域母子保健	2	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学 地域母子保健論	2 2 1
助産管理	2	看護管理学 助産管理	1 1
助産学実習	11	母性看護学臨地実習 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ	2 2 5 2

※この表の他に看護師国家試験受験資格に関わる所定の科目の単位を修得しなければなりません。

免許の授与機関：厚生労働省
資格取得に関わる費用：１）実習費用　助産師養成課程科目の実習は選択希望者選考後のガイダンスで説明します。
２）国家試験受験費用　受験手数料5,400円（国家試験を受験する際に必要）
申請費用　9,000円（合格後、申請する際に必要）
注意事項：１）助産師国家試験に合格して初めて助産師の免許が取得できるので、助産師を目指す者は必ず所定の科目を履修し単位を修得してください。
２）国家試験は例年２月中旬に実施されるため、卒業見込みで受験します。

●助産師養成課程の選択希望者　選考要件
1．保健師養成課程と助産師養成課程どちらかのみの選択を前提とする。
2．助産師養成課程は定員10名とする。
3．選考試験は３年次12月に実施する。
4．受験要件として、看護師養成課程３年前期までの必修科目を修得していること。
5．入学時オリエンテーションにおいて、助産師養成課程の選考について説明する。

項目	助産師養成課程
受験要件科目	看護師養成課程必修科目
選考時期	３年後期　12月
選考方法	受験要件科目のGPA得点の総合点
	小論文（800字程度）
	面接（個人・15分程度）
	総合得点
選考結果	３年後期　12月下旬

★免許・資格の取得に関すること（ガイダンス・説明会での確認事項）の記録に活用してください。

★免許・資格の取得に関すること（ガイダンス・説明会での確認事項）の記録に活用してください。

★免許・資格の取得に関すること（ガイダンス・説明会での確認事項）の記録に活用してください。

★免許・資格の取得に関すること（ガイダンス・説明会での確認事項）の記録に活用してください。

★免許・資格の取得に関すること（ガイダンス・説明会での確認事項）の記録に活用してください。

安田女子大学

〒731-0153　広島市安佐南区安東6丁目13-1
TEL.(082)878-8111
FAX.(082)872-2896

安田女子大学

〒731-0153 広島市安佐南区安東6丁目13番1号 TEL.082-878-8111